



ピープル・  
アンド・  
プラネット・  
ポジティブ

# イケアのサステナビリティ レポートFY18



# 目次

## ピープル・アンド・ プラネット・ポジティブ

- はじめに 3
- FY18のイケアのビジネス 4
- FY18のサステナビリティのハイライトと取り組み 5
- トルビヨーン・ルーフからのレター 7
- レナ・プリップ・コバックからのレター 8
- イケアについて 9
- ピープル・アンド・プラネット・ポジティブになる 10
- サステナビリティのガバナンス 11

## 健康的で サステナブルな 暮らし 12

- 人々がより健康的でサステナブルな暮らしを送れるようインスピレーションを与える 13
- 循環型（サーキュラー）の持続可能な消費を促進する 16
- より快適な暮らしの実現を目指すムーブメントを社会に生み出す 18

## サーキュラー & クライメット ポジティブ 21

- 循環型のビジネスへの転換 22
- クライメットポジティブになる 27
- 資源の再生、エコシステムの保護、多様性の向上 37

## 公正& 平等 44

- バリューチェーン全体を通じて、適切かつ有意義な労働の提供と支援に取り組む 46
- インクルーシブな企業になる 51
- 平等を推進する 57

## SDGインデックス 58



イケアのベジドッグ。クライメットフトプリントを、肉を使用した通常のホットドッグの約7分の1未満にカット。[15ページをご覧ください。](#)

# はじめに

現代の人々のニーズを満たすとともに、未来の世代の人々のニーズも満たせるように、イケアは常に長期的な考え方のもとに革新を行っています。そのためには、ライフスタイルや消費方法の変化について考え直し、変化へのインスピレーションを与えることが必要です。またイケアの業務スタイルを直線型から循環型へ、資源の消費から再生へと転換する必要があります。イケアカルチャーとイケアバリューを指針として、私たちはイケアのバリューチェーン全体において、よりインクルーシブになり、多様性を尊重・奨励し、平等と、適切で有意義な労働を促進できます。

コワーカーやお客様、サプライヤーやパートナーと協力し、イケアの規模と影響力を活かしてポジティブな変化をもたらそうと心に決めています。持続可能な未来の実現に力を尽くしながら、イケアのビジネスが確実な成功を収められるように、私たちは全力で取り組んでいます。

現在、約60万人がイケアと直接取引を行うサプライヤーに勤務しており、バリューチェーン全体では数百万人の人々が働いています。私たちは皆、「より快適な毎日を、より多くの方々に」というイケアのビジョンに基づいた、持続可能なビジネスの実現に貢献する、という共通の目標を掲げています。



# FY18のイケアのビジネス



# FY18のサステナビリティのハイライト

## 健康的で サステナブルな 暮らし

### 新商品の開発

**MISTELN/ミステルン ミストノズル<sup>1</sup>**は、家庭での90%以上の節水を可能にする、スタートアップ企業のAlteredとの共同開発製品です。

**GUNRID/グンリード 空気清浄カーテン<sup>1</sup>**は、アジアやヨーロッパの大学、イケアのサプライヤー、イノベーターとの共同開発製品であり、室内の大気汚染物質を減らす布地を素材としています。

### LUSTIGT/ルースティグト



### より健康的な植物性の食品を提供

ヨーロッパでは、販売開始から2ヶ月で**100万本のベジドッグ**を売り上げました。

### 循環型の製品をデザイン

初期の段階から、転用、修理、再利用、再販売、リサイクルを考慮して製品をデザインします。

### 遊び心をかき立てる

ぬり絵やなわとびなどの製品をそろえたコレクションの**LUSTIGT/ルースティグト**と、**Real Play Coalition**の立ち上げにより、子どもと大人の両方の遊び心をかき立てます。

## サーキュラー & クライメット ポジティブ

### 再生可能素材とリサイクル素材をさらに取り入れる

イケアの商品展開の**60%**以上が再生可能素材を使用しているほか、**10%**にリサイクル素材が使われています。**2030年までに、再生可能素材とリサイクル素材の使用を100%**にすることが目標です。



### クライメットポジティブになる

**1万8240枚のソーラーパネル**をポルトガルのバス・デ・フェレイラにあるIKEA Industryの生産ユニットに設置しました。住宅2,700戸分の電力を供給できます。



### 食品ロスの削減

2016年後半の「Food is Precious（食料は貴重なもの）」イニシアティブの発足以降、300万食分にあたる**1,400トン分の食品**を廃棄せずにすみました。

### 責任ある資源調達

綿花の**100%**と木材の**85%**をより持続可能な仕入先から調達

魚介類とシーフードの**94%**がMSCまたはASCの認証を取得済み



**JOFRID/ヨフリード**  
農業廃棄物からできる染料を使用

## 公正&平等

### 平等の推進とディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）の支援

約**20年前**に導入された**IWAY**（イケアのサプライヤーの行動規範）により、サプライチェーン全体で良好な労働条件を確保しています。

フランチャイズ加盟企業向けのIConductを導入します。



### 社会起業家との連携

社会起業家と連携して**3つの新しいコレクション**を立ち上げました。25カ国で提供するホワイトナイル地域の豆だけを使用したシングルオリジンオリジンコーヒー、PÅTÅR/ポートールもその1つです。

### 運転手の社会的立場を向上

イケアのサプライチェーンのドライバーにとって誠実で公正な労働条件の確保を徹底しています。

### 若年労働者のインクルージョン

東南アジアのサプライヤーと協力し、若年労働者のスキル習得を支援しています。

<sup>1</sup> FY20に販売開始。

# FY18のサステナビリティへの取り組み

## 持続不可能な消費への対処

10億人以上の人々にインスピレーションを与え、限りあるこの地球での持続可能な選択肢を提供します（[13～15ページ参照](#)）。

## 手ごろな価格を保つ

イケアは多くの人々の味方です。だから、予算が限られた人も利用しやすい存在であり続けなくてはなりません。

## 気候変動への取り組み

温室効果ガス（GHG）排出とビジネスの成長を切り離すには時間がかかります。イケアのバリューチェーンのクライメットフットプリントは、FY16からFY18の間に2.8%増加しました。排出量自体が減少し始めるまでには、さらに数年かかる見込みです（[27～36ページ参照](#)）。

## リサイクル素材の調達

クリーンなリサイクル素材が不足しているため、グローバルな供給力の増加に取り組んでいます。[38ページをご覧ください](#)。たとえば、パッケージ用の再生紙を調達するために、インドのWWFと提携しています。

## 労働条件の改善

適切な労働条件は健全な事業を行うための基本であり、サプライチェーン全体を通して、イケアはさらなる努力をしています（[46～57ページ参照](#)）。

## 社会的弱者への機会を提供する

イケアは、世界中でインクルージョンをもっとも必要とする地域にその可能性を生み出せるように、女性や、社会から取り残された人々を雇用するパートナーと協力しています（[51～56ページ参照](#)）。

## イケアのバリューチェーンに関するレポート

イケアのピープル・アンド・プラネット・ポジティブ戦略では、イケアのバリューチェーンとフランチャイズシステムのコミットメントを定めています。このレポートは、最新の戦略に関する取り組みの進捗や、この戦略をイケアのビジネス全体に広めるために何から始めたかを報告する最初のレポートです。私たちは今、パフォーマンスフレームワークを開発しています。これは、バリューチェーンとフランチャイズシステム全体に関する、透明性のある一貫した報告を実現するためです。





**「イケアは、人や社会、環境に  
ポジティブな影響を生み出すために  
力を尽くしたいと考えています」**

イケアのビジョンは、より快適な毎日を、より多くの方々に提供することです。

このビジョンが私たちの毎日の指針となっています。手ごろな価格の持続可能な商品とソリューションで、イケアは世界中の人々にインスピレーションを与える努力を続けています。イケアは人や社会、環境にポジティブな影響を生み出すために力を尽くしたいと考えています。

イケアのサステナビリティ戦略であるピープル・アンド・プラネット・ポジティブでは、このコミットメントを具現化しています。イケアは、限りあるこの地球で、より多くの人々がサステナブルな暮らしを送れるようにしたいと考えています。イケアは大気中の温室効果ガス排出量削減を目指しています。さらに、イケアはそれぞれの家族やコミュニティにおいて、自分自身とお互いを思いやる機会を増やすことを目標としています。

FY18には、イケアのウェブサイトへの訪問者数は25億人となり、50以上の市場の422のイケアストアに9億5700万人が来店しました。これには、新しいイケアの市場であるインドとラトビアのイケアストアが含まれています。さらに、新たにパートナーとなつたFalabellaが、まもなくチリ、コロンビア、ペルーでイケアの商品の販売を開始します。

イケアが成長と拡大を続けるにつれて、さらに多くの人々に快適な暮らしを届けられる可能性があります。これを実現するために、ピープル・アンド・プラネット・ポジティブでは、イケアのバリューチェーン全体で意欲的な目標を設定しています。たとえば、2030年までに、イケアのバリューチェーン全体の排出量を上回る量の温室効果ガスの削減を目指します。イケアが使用する原材料から、家庭での製品の使用方法、さらに素材の将来的な再利用の方法に至るまで、バリューチェーン全体にわたって革新に取り組みます。

また、廃棄物の削減、エネルギーの節約、天然資源の保護が簡単にできる商品やソリューションを通じて、人々がよりサステナブルな暮らしを実現できるように、インスピレーションを与えます。たとえば、スタートアップ企業のAlteredとの共同開発製品であるMISTELN/ミステルン ミストノズルは、家庭での90%以上の節水を可能にします。

イケアは製品をより修理可能、再利用可能、リサイクル可能にすることで、循環型のビジネスへと転換しています。商品の販売にとどまらず、イケアとお客さまとの関係を広げるサービスを提供して、お客さまがあらゆる方法で商品を購入できるようサポートを行い、お客さまが購入した商品の寿命を延ばします。

イケアのビジョンにおける「多くの人々」には、イケアのバリューチェーンで働く人々およびバリューチェーンに関連するコミュニティが含まれています。イケアはよりインクルーシブなビジネスを目指しています。FY18には、社会起業家とのパートナーシップを拡大し、1万5600人以上の人々の雇用を生むと同時に、イケアストアで販売するための独自の商品コレクションを開発しました。

イケアは巨大な企業ですが、私たちだけでイケアのビジョンを実現することはできません。お客さまやサプライヤー、他社、スタートアップ企業、政府、NGO、その他の利害関係者の皆さんに、引き続きイケアのジャーニーへの参加を呼びかけます。人や社会、環境にポジティブな変化を可能にするソリューションをともに創造し続けます。

私たちの取り組みはまだ始まったばかりで、やるべきことはまだまだありますが、私は未来を前向きに捉えています。みんなで協力して、世界をより暮らしやすい場所にしていきましょう。

Inter IKEAグループ、CEO  
トルビヨーン・ルーフ



世界が直面するサステナビリティの課題は、年々誰の目にも明らかになっています。

FY18は重要な1年となりました。IPCC特別報告書では、地球温暖化による気温の上昇を $1.5^{\circ}\text{C}$ に抑えるための迅速な対策が必要であることが強調されています。また、使い捨てプラスチックへの意識が高まる中で、私たちは資源の浪費と汚染による悪影響への取り組みとして重要なステップを踏んできました。その1つが、2020年までにイケアの商品展開から使い捨てプラスチックを段階的に廃止するというコミットメントです。

イケアの未来に対する見方は楽観的で、イケアのビジョンの達成に力を尽くし、ポジティブな変化を起こそうとしています。これまでよりも多くの人々が、限りあるこの地球で自分たちの生活を向上させようとしています。イケアはその規模を活かして、より多くの人々がより快適な暮らしを送れるよう、インスピレーションや商品、ソリューション、サービスを提供します。

大気汚染や水不足などの地球規模の問題を解決するためには、イケアの枠にとどまらず、共創と革新を推進し、アイデアとインスピレーションを共有して、イケアのビジネスをさらにインクルーシブにする必要があります。力を合わせることでのみ、地球とイケアのビジネスが直面する、もっとも大きな問題に取り組めます。

循環型のビジネスへの転換の一環として、イケア製品に使用する素材は、2030年までにすべて再生可能素材またはリサイクル素材にするという目標を掲げています。すでに、イケアの商品展開の60%以上は木材や、より持続可能な栽培による綿花などの再生可能素材が使用されており、約10%はリサイクル素材が使われています。しかし、今のところイケアの目標を達成できる量のリサイクル素材を調達することができません。イケアのビジネス全体で、そしてその枠を超えてみんなで協力しながら、イケアの目標を達成するためのインフラを構築します。

同様に、気候への影響を減らすというイケアのコミットメントは、ホームファニッシングの生産の枠をはるかに超えています。目標の達成にはさまざまな種類の素材を調達し、サプライヤーと密に協力し、イケアのお客さまのライフスタイルや消費の方法を変える必要があります。取り組みへの成果が出るまでには、時間がかかります。

取り組みのすべてを通じて、より多くの人々にとつてイケアのビジネスがアクセスしやすく、より手ごろなものになるよう努力していきます。私たちは、現在、持続可能な選択肢の多くが、一部の人間にしか手の届かない贅沢だということを理解しています。イケアは、少ないもので多くの人をなし、限られた人ではなく多くの人々にリーチし、より快適な暮らしへのインスピレーションを与えるという考えから生まれました。その考えが今も、ピープル・アンド・プラネット・ポジティブといいイケアの目標となっています。

私たちが望む未来に向けて力を合わせることでのみ、この目標を達成できます。イケアには、多くの人に利益をもたらす、公正で平等な社会をつくるリーダーになるという目標もあります。強い起業家精神を持ち、情熱と才能にあふれた、たくさんのコワーカーとともに仕事ができることをうれしく思っています。これからどんなすばらしいことを達成できるだろかとワクワクしています。

Inter IKEAグループ、サステナビリティマネジャー  
レナ・プリップ・コバック

# イケアについて

## イケア：1つのブランド - 多くの企業

イケアのビジネスはフランチャイズシステムにより運営されています。つまり、イケアという1つのブランドのもと、オーナーが異なるさまざまな企業で多くの人々が働いているということです。

FY18末時点で、イケアストアは50を超える市場で11のフランチャイズ加盟企業により運営されています。FY18には、チリ、コロンビア、ペルーのフランチャイズ権に関する契約を Falabella と交わしました。最初の店舗は2020年にオープンする予定です。Ingkaグループ（旧イケアグループ）は、最大のフランチャイズ加盟企業で、30の市場に367のイケアストアを所有する戦略的パートナーです。コワーカー数は15万8500人にのぼります。Ingkaという名前は、創業者であるIngvar Kamprad（英格ヴァル・カンプラード）に由来します。

イケアのフランチャイズシステムへの加盟企業は、力を合わせて、人々がイケアやイケアの商品・ソリューションとかかわっていく手段を開発し、改善しています。

Inter IKEA Systems B.V.はイケアのフランチャイズ本部として、イケアコンセプトの継続的な発展と、すべての市場への展開に責任を負っています。イケアのフランチャイズ加盟企業が実際に接客をして、質の高いカスタマーエクスペリエンスを提供します。

イケアのフランチャイズシステムについて詳しくは、[こちら](#)をご覧ください。

## Inter IKEAグループ

Inter IKEAグループは、イケアのフランチャイズ加盟企業を、商品展開の開発やサプライヤーと結び付ける企業グループです。より快適な毎日を、より多くの人々に届けるために、イケアの全体的な戦略的方向性を調整します。Inter IKEAグループは、3つの主要な事業で構成されています。

- **Inter IKEA Systems B.V.**は、イケアコンセプトの所有者であり、世界中に広がるイケアのフランチャイズ本部です。
- **IKEA Range & Supply**は、イケアの商品展開の開発と供給に責任を負います。
- **IKEA Industry**は、イケアのホームファニッシング製品全体の10~12%を生産しています。

詳しくは[こちら](#)をご覧ください。



## このレポートについて

イケアのサステナビリティレポートは、IKEA Holding B.V.とその関連会社からなる、Inter IKEAグループが発行しています。このレポートには、イケアのサステナビリティ戦略であるピープル・アンド・プラネット・ポジティブのFY18中のアプローチと実績がまとめられており、「イケア」または「私たち」という言葉は、イケアのビジネス全体を示しています。

このレポートは、Inter IKEAグループが発行するサステナビリティレポートとしては2つ目であり、イケアのバリューチェーンとフランチャイズシステム全体をカバーするものとしては初めてのレポートです。フランチャイズシステム全体の包括的なレポートを完成させるには時間がかかります。FY18から始まり、3年をかけてこれを完成させます。このレポートには、未来への強固な基盤を築くことを目的として、できるだけ多くのフランチャイズ加盟企業からの情報を含みます。

イケアの2018事業年度（FY18）は、2017年9月1日から2018年8月31日までです。

イケアのビジネスについて詳しくは、[IKEA facts & figures](#)をご覧ください。フランチャイズ加盟企業であるIngkaグループのイケアアリテール事業について詳しくは、[Ingkaグループの年次サステナビリティサマリーレポート](#)をご覧ください。このレポートに記載された情報の一部は、イケアのサステナビリティレポートFY18にも含まれています。

# ピープル・アンド・プラネット・ポジティブになる

イケアのビジョンは、より快適な毎日を、より多くの方々に提供することです。このビジョンは、イケアが創業した75年前から変わっていません。75年の間にたくさんの変化がありました。これからも、世界中の多くの人々のニーズや夢をより一層かなえられる存在になるために努力を続けていきます。

IKEA Directionでは、手ごろな価格とアクセスのしやすさ、サステナビリティの3つを、事業全体における主要な要素として挙げています。ピープル・アンド・プラネット・ポジティブが、イケアのサステナビリティ戦略です。この戦略によりイケアのビジネスは持続可能になり、成長を続けながらイケアのバリューチェーン全体と地球にポジティブな影響を与えることができます。

イケアのビジョンとイケアバリューは、イケアの業務の指針となっています。その指針には環境と社会への配慮も含まれます。少ないもので多くの資源で多くのことを、限りある資源で対処するための新しく創造的な方法を見つけることは、イケアウェイの働き方の一部です。現代においては、こうした働き方がこれまで以上に重要です。社会は気候変動、不平等の拡大、持続不可能な消費といった大きな課題に直面しているからです。

## イケアのサステナビリティ戦略の開発

ピープル・アンド・プラネット・ポジティブはまず2012年に、フランチャイズ加盟企業であるIngkaグループによって立ち上げられました。これは、Inter IKEAグループが2016年8月にIngkaグループからイケア製品の開発、供給、製造部門を買収するよりも前のことです。この戦略には、イケアのビジネスや、イケアのバリューチェーンを支える産業、世界中の人々の家の暮らしを変革するという意欲的な目標が含まれていました。それ以降、イケアは大きな進歩を遂げました。しかし、世界は急速に変化しており、現在は、より意欲的な目標と迅速な行動が求められています。

FY18には、イケアのピープル・アンド・プラネット・ポジティブ戦略を見直し、イケアのバリューチェーンおよびフランチャイズシステム全体を対象とした2030年までの目標を掲げています。新しい戦略では、イケアのフランチャイズシステムおよびバリューチェーンで働くすべての人々が共有するサステナビリティのアジェンダと各種の目標を定義しています。これまでのイケアのビジネスの成功、利害関係者からの意見、国連の持続可能な開発目標の達成に貢献するという意思を反映させたものです。

私たちはイケアのバリューチェーン内外の利害関係者と密に連携し、この戦略の開発にあたっては、彼らの意見やアドバイスを取り入れました。このレポート全体にわたり、イケアのさらなる成長を期待する、利害関係者の意見をご覧いただけます。利害関係者との話し合いに基づき、課題をマッピングして優先順位をつけ、もっとも大きな影響をもたらすことができる手段とエリアを特定しました。

## 重点分野：

イケアのビジネスにとって重要な3つの主要な課題を協力して特定しました。それが、気候変動、持続不可能な消費、不平等です。イケアのビジョンを実現し、ピープル・アンド・プラネット・ポジティブになるために、この3つの重点分野に取り組みます。

- 1. 健康的でサステナブルな暮らし :** 2030年に向けたイケアの目標は、限りあるこの地球で10億人以上の人々がより快適に暮らせるようにインスピレーションを与えることです。[12ページ](#)をご覧ください。
- 2. サーキュラー＆クライメットポジティブ :** 2030年に向けたイケアの目標は、ビジネスを成長させながら、クライメットポジティブになり、資源を再生することです。[21ページ](#)をご覧ください。
- 3. 公正＆平等 :** 2030年に向けたイケアの目標は、イケアのバリューチェーンにかかわる人々全員に対して、ポジティブな社会的影響をもたらすことです。[44ページ](#)をご覧ください。

いずれも大きな目標です。イケアはこうした取り組みをリードするために、コミットメントの設定にとどまらず、イケアが直面する課題やその過程における成功と失敗についてオープンにします。イケアが何でも解決できるわけではありません。そこで、ほかの人たちと協力し、幅広い対話をやって、新しい解決策を見つけます。

イケアのピープル・アンド・プラネット・ポジティブ戦略について詳しくは、[こちら](#)をご覧ください。



ピープル・アンド・プラネット・ポジティブ

# サステナビリティのガバナンス

## イケアのバリューチェーン全体のサステナビリティ

Inter IKEA Systems B.V.はイケアコンセプトの所有権者であり、世界中に広がるイケアのフランチャイズ本部です。イケアのフランチャイズシステムの中だけでなく、その枠を超えて協力して働くことを目指し、学んだことをシェアして、常に改善を続けています。

すべてのフランチャイズ加盟企業は、イケアブランドとイケアコンセプトを取り扱うために、ICconduct（フランチャイズ加盟企業のためのイケアの行動規範）に記されている一般的なビジネス要件に従う義務があります。イケアのサステナビリティ戦略であるピープル・アンド・プラネット・ポジティブでは、サステナビリティの目標とコミットメントをまとめ、イケアのフランチャイズシステムのための2030年までの共通アジェンダを作成しています。

イケアのビジネスの各部門では、この戦略を実行するための目標、ターゲット、ロードマップを設定しています。これにより、各地域に合わせた適切な推進と活動が可能になり、サステナビリティが日常業務の一部となるように努めることができます。

## 戦略的サステナビリティ協議会

2017年2月に設立された戦略的サステナビリティ協議会では、イケアのフランチャイズシステムにおける各企業の独立性を尊重しながら、イケアのフランチャイズシステム全体で誰もが同じ立場となるよう、また今後の発展とコミットメントにばらつきが出ないようにします。

主な取り組み：

- 社会におけるイケアブランドの役割
- フランチャイズシステム全体のサステナビリティ戦略と目標。たとえば、人権を尊重するサーキュラー＆クライメットポジティブな企業になること

- IWAY（イケアのサプライヤーの行動規範）を通じた、サステナビリティの目標のコンプライアンスおよび要件

戦略的サステナビリティ協議会は年に2回開催され、Inter IKEAグループとフランチャイズ加盟企業の代表者が集まり、全員が共有するサステナビリティの目標の説明とフォローアップを行います。各企業の代表取締役は協議会のメンバーです。

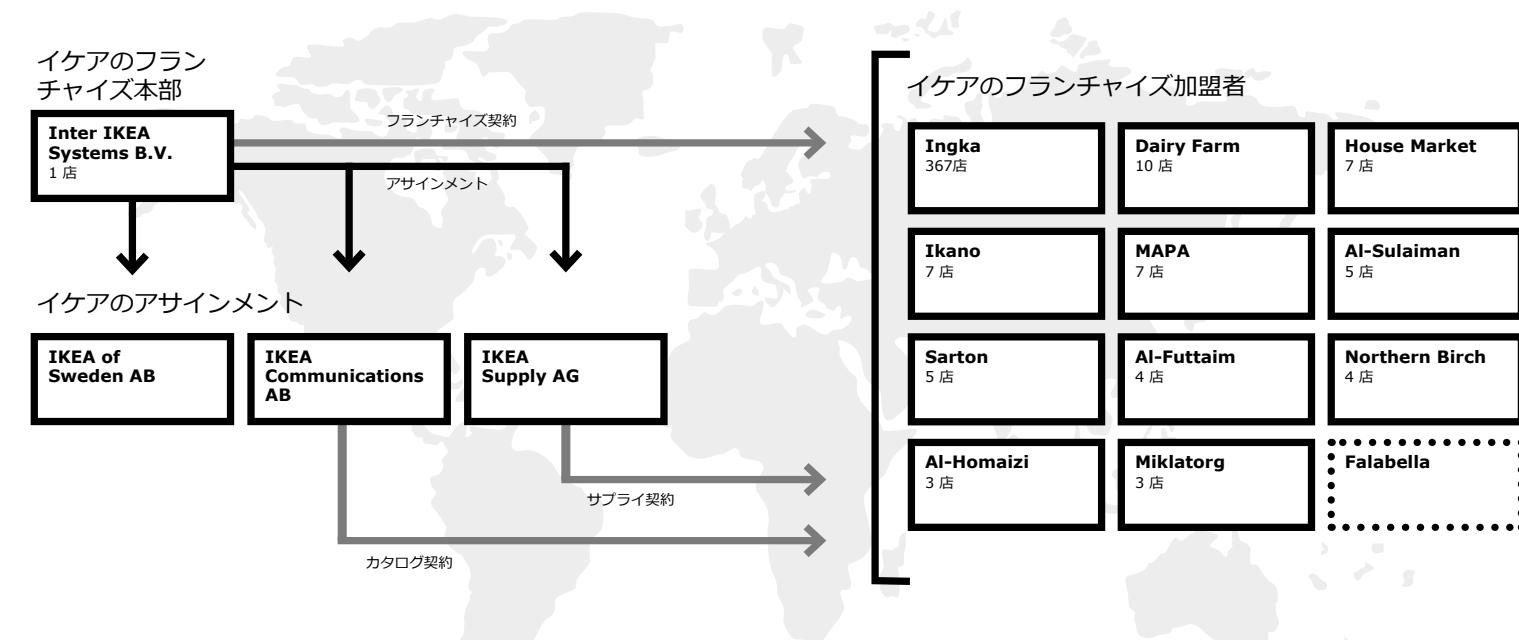
## サステナビリティのワーキンググループ

Inter IKEAとフランチャイズ加盟企業から特定分野の専門家が集まってワーキンググループをつくり、ベストプラクティスを共有して、イケアのバリューチェーンに知識を構築します。このワーキンググループでは、イケアのサステナビリティ戦略の実現のために、戦略的イニシアチブと計画について話し合い、意見をまとめます。

## FY18におけるInter IKEAグループのサステナビリティ

Inter IKEAのサステナビリティマネジメントグループには、Inter IKEAグループのさまざまな関連会社のサステナビリティマネジャーが含まれます。このグループは、イケアのサステナビリティ戦略の開発、成果の報告、環境や社会に影響を与える戦略的な経営判断に関する提言の提供、戦略的サステナビリティ協議会の招集に対する責任を負います。FY18のInter IKEAのサステナビリティマネジメントグループのメンバーは次のとおりです。Inter IKEAグループのポリシー＆コンプライアンスマネジャー、Inter IKEA Systems B.V.のサステナビリティマネジャー、IKEA Industryのサステナビリティマネジャー、IKEA Foodのサステナビリティ＆ヘルスマネジャー、Transportのサステナビリティマネジャー、IKEA Range & Supplyのサステナビリティマネジャー（議長）。

## IKEA®のフランチャイズシステムの概要



イケアのビジネスはフランチャイズシステムにより運営されています。Inter IKEA Systems B.V.はイケアコンセプトの所有権者であり、世界中に広がるイケアのフランチャイズ本部です。

上のリストは、1つ以上の市場でイケアのリテール事業を行う企業やグループ企業をわかりやすく示したものです。リストに記載された企業名は、Inter IKEA Systems B.V.とフランチャイズ契約を結んだフランチャイズ加盟企業の法的な会社名とは異なります。



# 健康的で サステナブルな 暮らし

イケアのコミットメント

人々がより健康的でサステナブルな暮らしを送れるようインスピレーションを与える 13

循環型（サーキュラー）の持続可能な消費を促進する 16

より快適な暮らしの実現を目指すムーブメントを社会に生み出す 18

イケアのビジネスにとって最大の機会は、多くの人々がより健康的でサステナブルな暮らしを送れるようにすることです。イケアの目標は、2030年までに、限りあるこの地球で10億人以上の人々がより快適な暮らしを実現できるようにインスピレーションを与えることです。

多くの人々が健康的でサステナブルな暮らしをするためには、その暮らしが魅力的で、簡単で、快適で、手ごろでなくてはなりません。

イケアはポジティブな違いを生み出すことができる、独自の立場にあります。イケアのコワーカーは世界中で何百万人ものお客さまに接しています。そこで、私たちは家の暮らしに関する知識を活用して、お客さまにインスピレーションを与え、ライフスタイルにポジティブな変化を起こしたり、より持続可能な方法で消費したりできるようにサポートすることができます。この中には、循環型で、持続可能で、健康的な暮らしを促進するイケアの製品とサービスの開発も含まれます。

## イケアのコミットメント

# 人々がより健康的でサステナブルな暮らしを送れるようインスピレーションを与える

イケアの目標は、地球の限られた資源の中で、多くの人々が快適な毎日を送ることです。イケアには、ポジティブな変化を生み出す大きな機会があります。FY18には、50以上の市場にある422のイケアストアに9億5700万人が来店し、イケアのウェブサイトへの訪問者数は25億人になりました。

人々にインスピレーションを与え、より快適な毎日をお届けするために、イケアは人々の暮らしについて理解するところから始めました。イケアは家の暮らしに大きな関心があり、毎年何千人の人々への家庭訪問やアンケートを通じて、世界中の家の暮らしについて学んでいます。詳しくは、[IKEA Life at Home report 2018](#)をご覧ください。

私たちは、健康的でサステナブルな暮らしのための、より手ごろで、よりよい製品を開発するジャーニーを続けます。この中には、イケアの食品も含まれます。金銭的に余裕のない人にも、より健康的で持続可能なメニューをおいしく手ごろな価格で提供します。さらに、イケアは製品の枠を超えて、サステナブルな暮らしを実現するサービスやインスピレーション、知識を提供します。



## デモクラティックデザイン

すべての製品は、デモクラティックデザインの5つの要素に基づいて設計されています。

### 形

世界をより美しい場所にしながら、お客様がハッピーな気分になる製品。

### 機能性

機能的で、日常生活をラクで、有意義なものにする製品。

### 品質

日常生活の使用や消耗に耐え、高品質で長持ちする製品。

### サステナビリティ

より健康的でよりサステナブルな暮らしを送るよう、人と地球に優しい方法でつくられた製品。

### 低価格

手ごろな価格で多くの人が購入しやすい製品。

デモクラティックデザインについて詳しくは、[IKEA Today](#)マイクロサイトをご覧ください。

## 健康的でサステナブルな暮らし

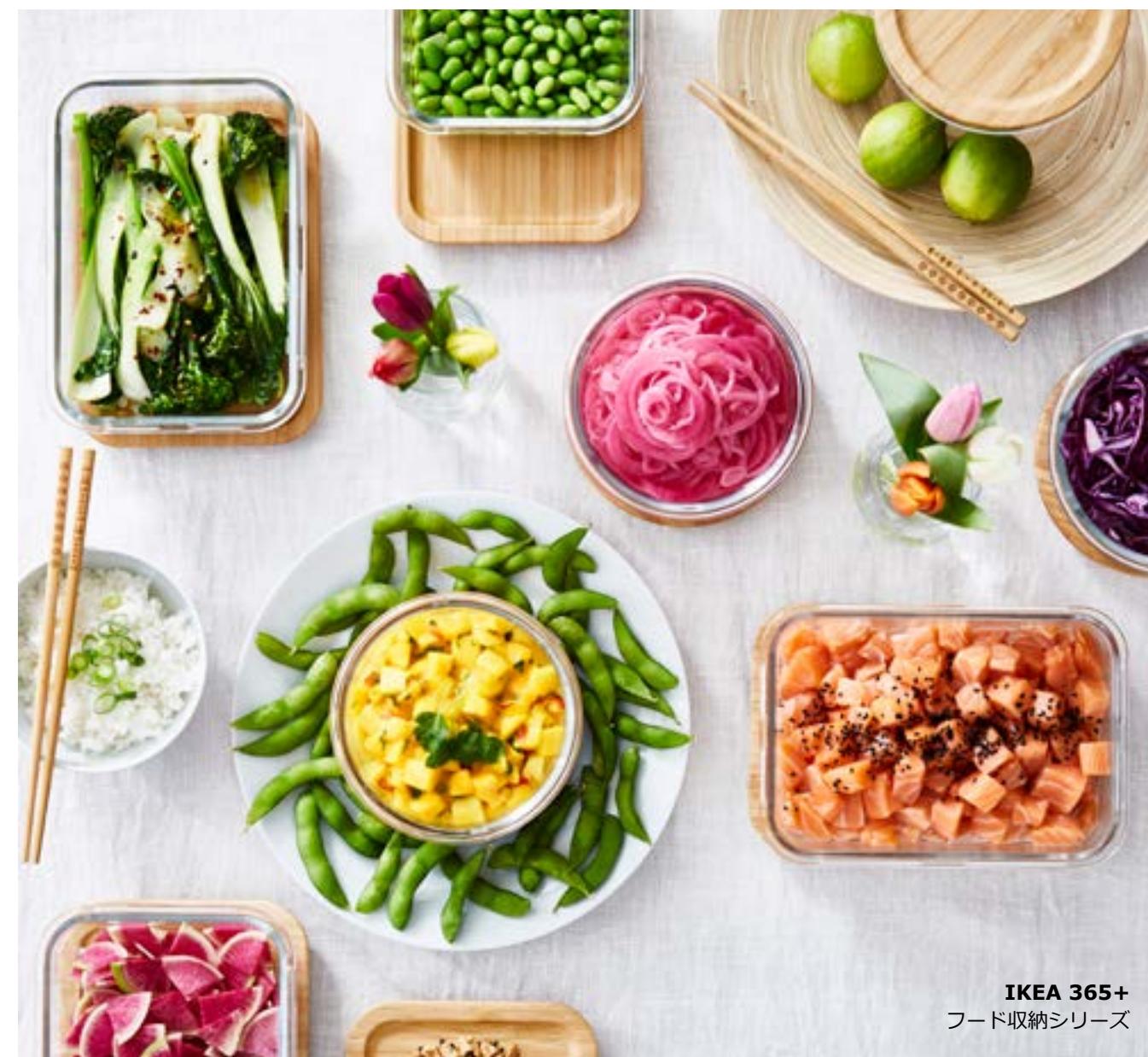
毎年、イケアは約2,000の新商品を発売し、合計で9,500以上の商品を販売しています。すべてのイケア製品とソリューションは、サステナビリティを考慮して開発されています。たとえば、製品にどんな素材を使うか、どんな機能を持たせるか（節水や省エネ機能など）をふまえて、製品の開発を行います。製品の開発は、形、機能性、品質、サステナビリティ、低価格を組み合わせたイケアのデザインアプローチである、デモクラティックデザインの5つの要素に基づいています。

サステナビリティを意識した機能を備えたイケア製品は、人々のより健康的でサステナブルな暮らしを後押しします。こうした製品は、お客様が再生可能エネルギーの生成や省エネ・節水、自宅での空気の浄化、ごみの削減を行うことを可能にし、お客様のより健康的な行動（ヘルシーな食生活、遊び、運動、休息）を促進します。

ここからは、健康的でサステナブルな暮らしを応援する商品を紹介します。

### フードロスの削減

人間の食用目的で生産される食料全体の約3分の1が消費されずに廃棄されています<sup>1</sup>。イケアは、家庭での食品保存と外出時に食事や軽食を携帯するソリューションの開発に取り組んでいます。イケアの調査によると、冷蔵庫の中身がひと目で確認でき



**IKEA 365+**  
フード収納シリーズ

<sup>1</sup> <http://www.fao.org/save-food/resources/keyfindings/en/>



て、柔軟に使える食品保存容器があれば、食べ物のムダを減らせることがわかっています。このような情報をふまえ、FY18に新しいフード収納シリーズのIKEA 365+の販売を開始しました。このシリーズには容器もふたも複数そろっているので、自由に組み合わせて使ったり、あとから追加したりできます。フードロスの削減において、イケアがどのように手本となる行動で取り組んでいるか詳しくは、[25ページをご覧ください](#)。

#### 空気の浄化

10人中9人が、大気汚染が安全限界値を上回る地域で暮らしており<sup>2</sup>、屋外よりも屋内の空気が汚れている場合が多くあります。きれいな空気に関するイケアの調査については[20ページをご覧ください](#)。イケアは、汚染物質を減らし、家庭の空気をきれいにする製品の開発に取り組んでいます。たとえば、FY20には空気清浄カーテンGUNRID/グンリッドの販売を開始します。



#### 節水

世界で消費される水の約10分の1は家庭で消費されています<sup>3</sup>。FY20に販売開始されるMISTELN/ミステルン ミストノズルはスタートアップ企業のAlteredとの共同開発製品です。既存の蛇口に取り付けるだけで、90%以上の節水を可能にします<sup>4</sup>。

#### 再生可能エネルギーの生成

住宅用太陽光発電があれば、お客様は自宅の屋根で再生可能エネルギーを生み出せます。現在、住宅用太陽光発電は6つの市場で販売されています<sup>5</sup>。2025年までに、市場を30に拡大することを目標としています<sup>5</sup>。FY18には、フランチャイズ加盟企業のIngkaグループがクリーンエネルギーの商品展開を拡大しました。自宅で発電した電気をもっと使えるようにできる蓄電池もその1つです。

余剰電力を送電網に送らずに貯めておくことで、お客様は電気料金をさらに節約できます。さらに、Ingkaグループはスイスで太陽光パネルとヒートポンプの混合システムをテストしており、住宅用太陽光発電を所有していないイギリスの人々もBig Clean Switchで100%再生可能電力に切り替えられるようにします。イケアの小さな支援により、できるだけ多くの人々がクリーンエネルギーのムーブメントに参加できる未来を目指しています。

#### 遊び

イケアは遊ぶことの大切さについて、世界最大規模の複数の研究調査を実施しました。詳しくは[52ページをご覧ください](#)。イケアの新しいコレクションのLUSTIGT/ルースティグト（スウェーデン語で「楽しい」という意味）の開発には、これらの研究結果が役立ちました。LUSTIGT/ルースティグトは子どもと大人の両方を、純粋に楽しませてくれる製品です。誰もが楽しめるアイテムがきっと見つかります。ぬり絵、パズル、なわとび、はたおり機、柔らかいボールを使ったボールゲームなど、豊富な商品がそろっています。これらのおもちゃはさまざまな方法で使用でき、想像力を刺激します。

#### 健康的で持続可能な商品の定義

環境と社会により大きくポジティブな影響をもたらす革新的な商品とソリューションの開発を促進するために、イケアは健康的でサステナブルな暮らしを可能にする製品の基準を強化しました。これにより、すでに市場にある商品と比べ、より持続可能で、より手ごろな価格の商品を提供できます。

#### イケアの取り組みの進捗をはかる

イケアは、クリーンエネルギーの節約および生成、資源と水の使用の効率化、廃棄物の削減、より健康的な暮らしを可能にする、手ごろな価格の商品とソリューションの開発および提供に長年取り組んできました。そのような商品の販売数に基づき、業績を評価しました。イケアはこれらの商品とその販売実績を誇りに思い、開発と販売を継続していきます。たとえば、FY18には9100万個のLED電球と、1070万個の充電式電池を販売しました。

そして現在は、販売数で実績を評価するだけでなく、イケアが人々の暮らしや環境に与える影響を理解しようとしています。そのため、イケア製品の家庭での使用方法、製品の素材、人々が健康的でサステナブルな暮らしを送るためのインスピレーションや新しい考え方の提供方法を考慮します。このような取り組みにより、社会とイケアのビジネス全体を大きく変革できます。

イケアは進捗を確認するためのパフォーマンスマネジメントフレームワークを開発しています。そのフレームワークは、イケアの商品展開、提供するサービス、世界中の家庭への影響、イケアブランドに対する人々の認識に基づいています。

2 <https://www.who.int/news-room/detail/02-05-2018-9-out-of-10-people-worldwide-breathe-polluted-air-but-more-countries-are-taking-action>

3 國際連合食糧農業機関、The State of the World's Land and Water Resources for Food and Agriculture (SOLAW)、<http://www.fao.org/nr/solaw/solaw-home/en/>

4 家庭の流水量、地域の水圧、ノズルの使用方法に応じて異なります。

5 IngkaグループのIKEA Retailの事業によるものです。6つの市場とは、IKEA Retailペルギー、IKEA Retailオランダ、IKEA Retailドイツ、IKEA Retailイタリア、IKEA Retailポーランド、IKEA Retailスイスを指します。

## 健康的で持続可能な食品

FY18には、イケアレストランやスウェーデンフードマーケット、ビストロで、6億8000万人の人々がイケアの食品を購入しました。イケアは環境と社会により影響をもたらす食品の選択を推進しています。すでに成果はありますが、まだ始まりにすぎません。

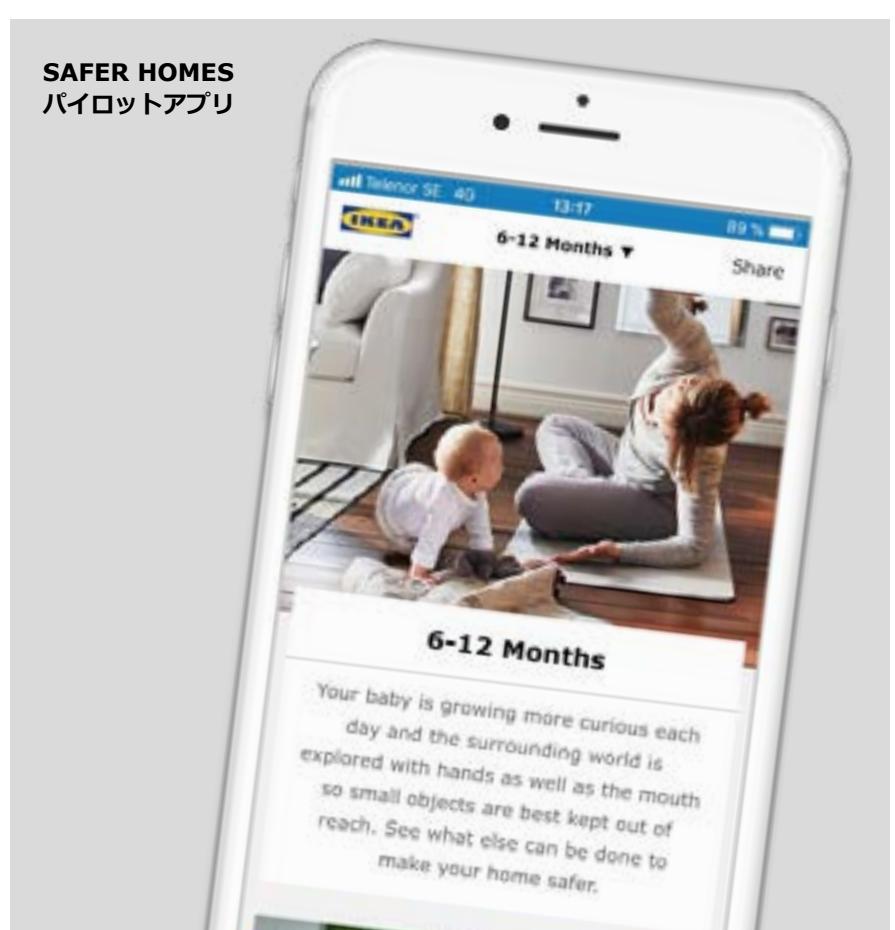
### 食品の提供

IKEA Foodの商品展開も、デモクラティックデザインの5つの要素に基づいて開発されています（[13ページをご覧ください](#)）。イケアの「バランスの取れた食事の基準」に従うことで、栄養価の高いバランスの取れた食事や軽食を開発できます。IKEA Foodの商品開発者と各市場のシェフは、このツールを使って食品や食事の材料を評価し、その栄養価を理解しています。

イケアはおいしく手ごろな食品を多くの人に届けることで、より健康的で持続可能な食生活が魅力的だと思ってもらえるようにしたいと考えています。FY18には、イケアビストロでベジドッグを販売開始しました。ベジドッグは、ニンジン、ショウガ、ケール、赤レンズ豆などの植物性の材料でできており、そのクライメットフットプリントは、肉を使用した通常のホットドッグの約7分の1ほどです。ヨーロッパのイケアストアでは、ベジドッグの販売開始から2ヶ月で100万本を売り上げました。ベジドッグのように、味にこだわった植物性食品の選択肢を増やして、肉を食べない人や、植物性の食品に興味を持っている人など、より多くの人々に提供したいと考えています。さらに、植物性のソフトクリームの販売も計画しています。将来的には植物性食品の選択肢がさらに増えるでしょう。

### 調達

IKEA Foodの商品展開の材料は、動物福祉を徹底し、環境と社会の基準を満たし、関連する第三者機関の認定を得た、責任のある、より持続可能な調達先から仕入れています。詳しくは[42~43ページ](#)をご覧ください。



## より安全な家での暮らし

### より安全な家庭

イケアのホームファニッシングの知識を用いて、お客さまが自宅をより安全にするためのインスピレーションを提供し、そのお手伝いをします。イケアのSafer Homesパイロットプロジェクトは、そのために立ち上げられました。アプリやイケアストアでのワークショップ、ウェブサイトの情報をを利用して、7歳までの子どもを持つ親を対象に、家庭での安全性を高める取り組みを行います。アプリでは、子どもの成長に関する情報と、子どもの年齢に応じた安全に関する注意点を部屋ごとに提供しています。このプロジェクトはFY18にアイスランドで開始され、FY19にはオーストラリアでも試験的に導入されます。この取り組みで得たデータは、近い将来、ほかの市場でのプロジェクト開発および展開に利用されます。

### イケア製品

製品の安全性は、常にイケアの最優先事項です。製品の開発時には、製品がイケアの高い基準を満たしていることを確認するために、リスク評価およびテストを実施します。既存の製品に安全上のリスクが発覚した場合は、製品の自主回収を含む是正措置を講じます。各市場における製品リコールについて詳しくは、イケアのウェブサイトをご覧ください。

家具の転倒事故は、業界全体にわたる問題です。イケアは家具の転倒防止に対するお客さまの意識の向上に努めています。家具を壁に固定することが重要です。イケアの商品には、転倒防止器具が付属しています。転倒防止器具を紛失してしまった場合は、お近くのイケアストアで新しいものを無料で受け取ることができます。家具の転倒防止に対するお客さまの意識を向上させるため、組み立て説明書をよく見て家具を組み立ててもらうよう、継続してお客さまに呼びかけていきます。

### 化学物質

化学物質には、素材への着色、質感を出す、部品の接着、製品に保護層をつくり長持ちさせるなど、さまざまな用途があります。化学物質を使用するときは、常に安全性が優先されます。イケアの製品やその製造に使用されるすべての化学物質は、お客さまやコワーカー、環境にとって安全なものでなければならず、その使用にあたっては製品のライフサイク

ルを考慮します。長年にわたり、イケアは化学物質の安全性に関する研究に取り組んできました。イケアの化学物質基準は、法的要件を上回る場合が多く、有害性が疑われる化学物質の使用は法律に先立って段階的に廃止しています。たとえば、FY18には、イケア製品の表面コーティングおよびプラスチック（ポリマー）素材に使用されていたベンジフェノンを段階的に廃止しました。

イケアの化学物質管理戦略は、変化する需要と新たなエビデンスを反映させるために、定期的に更新されます。イケアは5つの戦略目標を通して、安全で健康的な製品を生み出すことを目指しています。

- 製品中の化学物質含有に関する情報を増やす。
- イケア製品すべての化学物質の安全性を評価する。
- 有害性が疑われる化学物質を段階的に廃止する。
- 化学物質の安全性とコンプライアンスに関するイケアバリューをサプライヤーと適切に共有する。
- コワーカー、消費者、主な利害関係者の意識を高める。

FY18には、化学物質の安全性に対する透明性が向上しました。特定の商品（米国イケアのクロムフリー革製ソファなど）の化学物質に関する情報を、一部の国のイケアのウェブサイトでご覧いただけるようになりました。

循環型のビジネスへの転換およびイケア製品へのリサイクル素材や二次原料の使用の増加にともない、化学物質の安全性が重要になっています。イケアでは、化学物質の安全性を犠牲にしたリサイクルは行わず、害のない化学物質の循環に努めています。これを達成するため、リサイクル素材を含む製品を商品展開に採用する前に、化学物質のリスク評価を実施しています。

## イケアのコミットメント

# 循環型（サーキュラー）の持続可能な消費を促進する

ものを所有することに対するお客様の考え方には変わりつつあります。居住スペースが小さくなり、消費が環境に及ぼす影響への知識も深まったためです。人々は、ごみを出さず、持ち物を減らし、すでに持っているものを大切にできるような、新しい消費方法に関心を持っています。イケアの製品とサービスは、このように変わりゆくニーズに応えて、手ごろで、便利で、人と地球にやさしいものになります。

私たちの目標は、将来的にすべてのイケア製品を原材料として考え、製品寿命の長期化に役立つ循環型の製品をデザインすることです。製品の使用開始から廃棄までの全期間でお客さまと長期的な関係を築き、お客様がイケア製品の修理や再利用、再販売、リサイクルができるようにします。イケアは循環型で持続可能な消費を実現するため、家具引き取りサービスなどのサービスや、ソリューション、知識を提供していきます。

循環型のビジネスへの転換は、大きなチャンスであると同時に、とてつもない挑戦もあります。この挑戦は始まったばかりで、まだすべての答えは出ていません。イケアは専門的知識を持つパートナー企業やお客様と一緒に協力して、目標達成に向けて力を尽くしています。

循環型のビジネスへの転換に対するイケアのアプローチについては、[22ページをご覧ください。](#)

## デザインで循環を実現する

循環型のビジネスへの転換は、イケアのバリューチェーンのあらゆる部分に影響します。そこには製品の開発方法も含まれます。循環型製品は、再利用、修理、再製造、リサイクルを初めから念頭においてデザインされているため、製品寿命をできる限り長くできます。また、循環型製品は将来の「原材料バンク」にもなります。壊れた場合や不要になった場合には、商品を解体すれば原材料を再利用できます。イケアは、循環型の製品のデザインの指針となる循環型デザインの9つの原則（以下を参照）を開発しました。

FY18には、プラスチックやテキスタイル、木材といったリサイクル素材が地球上にどれだけあるかを評価し、循環型への目標を達成するための原材料ロードマップを作成しまし

た。リサイクル率は国や素材によって異なり、紙と金属がもっともリサイクル率の高いことがわかりました。廃棄物の3分の2は都市から出るもので、4分の1は米国と中国の2カ国からです。

新しい原材料から新製品を開発するには時間がかかります。9つの原則に従って、すべての製品をすぐにはデザインできないことをイケアは理解しています。イケアは試行錯誤を重ねて前進しており、一部の製品のデザインにはこの原則をすでに取り入れています。右の2つの例をご覧ください。

### 循環型デザインの9つの原則

#### 1.想定寿命に合わせたデザイン

お客様が定期的に買い替えたいと思う製品があれば、美しくデザインされたソファのように、長く使い続けたいと思う製品もあります。製品の耐久性と原材料は想定される寿命に合わせます。

#### 2.再生可能素材やリサイクル素材を使用できるデザイン

持続可能な素材は持続可能な製品を生み出します。そのため、始めから再生可能素材やリサイクル素材を使うようにデザインします。

#### 3.リサイクルできるデザイン

多くの場合、製品に使用される素材は、お客様が製品を使用する期間よりも長持ちします。イケア製品は、素材を簡単に回収して、2回目（3回目、4回目……）の再利用ができるようにデザインします。

#### 4.製造方法を考慮したデザイン

製品のデザインは、原材料や化学物質、水、エネルギーなどの製造段階のムダを最小限に抑えられるようなものにします。

#### 5.標準化と互換性のためのデザイン

イケア製品には、標準的な寸法を採用します。これにより、よりよい生産及び再生産が可能になり、ほかのブランドとの互換性も生まれます。

**PLATSA/プラツツア**は、暮らしの変化に対応できる、柔軟な収納システムです。パーツは簡単に追加したり取り外したりできます。サイズが規格化されているため、別な形に組み立て直すことも可能です。



## 循環型のサービス

私たちはフランチャイズ加盟企業と協力して、循環型経済への移行をイケアのビジネスがどのようにサポートできるか、また、お客さまがイケア製品をより長く使用して、不要になったときには便利な方法で譲渡できる新しいサービスを提供するにはどうすればよいかを模索しています。



### メンテナンスや修理を行って製品寿命を長くする

イケアの修理サービスでは、すべての製品に対して、ネジや固定具などのスペアパーツを用意し、お客さまが製品を長く使用できるようにしています。FY18には、100万点以上のスペアパーツをお客さまに提供しました。

### 製品の譲渡と再販売

お客さまが不要になった商品を下取りして、再販売を行い、その商品に第二の人生を与えます。いくつかの店舗では、必要に応じて修理や調整を行った中古品をすでに販売しています。このサービスには大きな可能性があると見込んで、世界規模のサービスに育てる方法を模索しています。同時に、中古品を資源として活用するためにサプライチェーンを発展させています。

たとえば、イケア・ジャパン<sup>6</sup>では、まだ良好な状態であるにもかかわらず不要になったイケアの家具の下取り・還元サービスを提供しています。お客さまは不要になった家具と引き換えに、店舗で使用できるリターンカードを受け取ります。下取りした家具は修理を施してから、割引価格で別のお客さまに販売されます。イケア・ジャパンでは、FY18に3,400点以上の家具の下取りを行いました。2018年6月には、赤ちゃんが生まれたばかりのご家族を対象に、ベビー用製品を購入する際に将来の下取り価格があらかじめわかるサービスを導入しました。FY18には、オーストラリア、カナダ、ノルウェー、スウェーデン、イスなど、ほかの多くの市場でも、同様のサービスのテストを行いました。



イケア・ジャパン  
家具下取り・還元サービス

### 再生可能素材とリサイクル素材への移行

イケアは製品に使用する素材を2030年までに再生可能素材またはリサイクル素材のみにするという目標を掲げています。現在、イケアの商品展開の60%以上が再生可能素材を使用しているほか、約10%にリサイクル素材が使われています。

目標達成に向け、イケア製品に使用する素材は何にすべきかを再検討しているところです。たとえばプラスチックは、私たちが現在直面するもっとも大きな課題の1つです。イケアは、再生可能素材またはリサイクル素材からつくるプラスチックを開発して、この革新的な技術を世界に広める取り組みを行っています。イケアはパートナーと協力して、プラスチックが海に流れ込む前に回収し、製品に有効活用する取り組みも行っています。詳しくは[41ページ](#)をご覧ください。[23ページ](#)では、イケアが使い捨てプラスチックを段階的に廃止し、製品に再生可能素材を用いる取り組みについてご紹介しています。



## イケアのコミットメント

# より快適な暮らしの実現を目指すムーブメントを社会に生み出す

イケアの目標は、「より快適な暮らし」の新しい定義を推進することです。より快適な暮らしとは、健康と幸せをサポートし、多くの人々にとって手ごろで、地球の限りある資源に配慮したものです。イケアは、世界中の人々にとってよりよい暮らしとは何か、イケアのリソースと知識をもっとも活用できる方法は何かの理解に努めています。そのために、イケアのお客さまや専門的知識を持つパートナーと協力して、ソリューションを生み出し、変化を提唱します。

## 協力して世界をよくする

人々に持続可能で健康的な暮らしのインスピレーションを与えるには、誰かと協力して取り組む必要があります。イケアは独自の視点と考えを持つ新しいパートナーを探し出し、力を合わせてアイデアと創造的なソリューションを世界に広め、ポジティブな変化を生み出します。イケアはすでに、IKEA BootcampとCo-create IKEAの2つのイニシアチブで成果を収めています。

### IKEA Bootcamp

人と地球にとって大きな問題を解決するために、イケアは起業家と協力することに機会を見出しています。IKEA Bootcampは3ヶ月間のスタートアップアクセラレータープログラムです。イケアは、起業家のための世界的なコミュニティのRainmakingと共にこのプログラムを開催しました。プログラムでは、ポジティブな影響を与えるアイデアを持つスタートアップ企業を募集しました。2017年9月に、1300社の応募の中から10社のスタートアップ企業が選ばれました。これらの企業の指導にあたったのは、イケアのコワーカーや、Rainmaking、すでに成功した起業家です。イケアは現在、プログラムに参加した数社との協力を検討しています。

FY19には、再度IKEA Bootcampを開催する予定です。詳しくは[こちら](#)をご覧ください。



### Co-create IKEA

Co-create IKEAの狙いは、多くの人々にデモクラティックデザインのプロセスと商品開発に参加してもらうことです（デモクラティックデザインについて詳しくは、[13ページ](#)をご覧ください）。力を合わせて、これまでとは違うやり方に挑み、持続可能な未来と循環型経済の実現に取り組みます。

多様性のある大規模なグループから情報を得ることで、人々のニーズや夢に近づくことができます。イケア製品も、これまで以上に人々のニーズを満たすものになります。FY18には、6,000人のコワーカーから開発中の製品に対する意見を聞きました。現在イケアは、コワーカーだけでなく、世界中の人々をこのグループに招き、家での毎日の暮らしを向上させる方法についてのアイデアをシェアしてもらうことを計画しています。

Co-create IKEAのラボにより、イケアとコミュニティのつながりが強化され、そこで得られる洞察から相互利益が生まれ出されます。FY19には、Co-create IKEAの最初のラボがスウェーデンのエルムフルトにオープンします。このラボでは、コミュニティと協力して、初期の製品プロトタイプにアイデアを取り入れます。

詳しくは[Co-create IKEAマイクロサイト](#)をご覧ください。

「イケアのお客さまやデザイナー、エンジニア、その他の方々に、新しく生まれるCo-create IKEAのコミュニティへの参加を呼びかけています。みんなで力を合わせ、イケアの商品展開の日常的な開発と長期的な革新に取り組みましょう」

Inter IKEAグループ、CEO  
トルビヨーン・ルーフ



## 活動の推進

サステナブルな暮らしの実現を目指すムーブメントを生み出すために、イケアのプログラムや取り組みの枠を超えて、グローバルな活動を推進します。FY18には、次のような取り組みを行いました。

### 子どもたちの遊ぶ権利

FY18に、イケアのビジネス<sup>7</sup>はレゴ財団、ユニリーバ、ナショナルジオグラフィックとともにReal Play Coalitionを立ち上げ、遊ぶことの大切さを提唱し、人々の関心を高める取り組みを始めました。

イケアの遊びの調査について詳しくは52ページを、遊び心をかき立てる商品については14ページをご覧ください。

### デモクラティックデザインデー

イケアでは毎年、イケアのビジネスの舞台裏を紹介するイベントを開催し人々を招待しています。FY18年には、300人のジャーナリストをイケア発祥の地であるエルムフルトに招待し、限りあるこの地球により快適な暮らしを送るために、より多くの人々がイケアの活動へ参加してくれるよう呼びかけてほしいとお願いしました。イケアの新しいピープル・アンド・プラネット・ポジティブ戦略の説明も行いました。その中には、イケアストアでの使い捨てプラスチックの段階的な廃止や循環型ビジネスへの転換が含まれます。詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

### 国際連合

FY18年の7月には、ニューヨークで開催された国連ハイレベル政治フォーラムに、Inter IKEAグループが参加しました。イケアは、持続可能な開発目標12の達成に努めるコミュニティや企業、学界の代表者と協力して、持続可能な消費と生産パターンを実現するために、このプラットフォームを利用しました。そこで、サステナブルな暮らしを誰でも簡単に送れる方法、若者を動員する方法についての話し合いを行いました。また、化学物質の安全性と社会的影響についても話し合いました。



### 利害関係者からのメッセージ：

持続可能な開発のための世界経済人会議（WBCSD）、Julian Hill-Landolt氏

**10億人の人々にインスピレーションを与え、より健康的で持続可能な選択肢を提供するという**イケアの目標を達成するためには、イケアのビジネスの枠を超えて、多くの人々と力を合わせ、彼らの意見を聞いて学ぶ必要があります。持続可能な開発のための世界経済人会議（WBCSD）の持続可能なライフスタイル部門のディレクター、Julian Hill-Landolt氏に、イケアのビジネスが持続可能な消費とライフスタイルの選択肢を提供するための最良の方法は何かを尋ねました。

「人口増加や都市化、社会的および環境的圧力、労働内容、新しい技術などの要素がすべてが組み合わさることで、人々の日常の暮らしやニーズ、希望、夢は変化しています。世界中の社会経済的領域の人々が、現在『よい暮らし』と考えられているものに疑問を抱いています。

より快適に。それが未来への目標です。『より多く』でも『より少なく』ではなく、より快適な暮らしを目指します。イケアの広告でも、それは示されています。この目標はもちろん、『より快適な暮らしの実現を目指すムーブメントを社会に生み出す』という、新しいイケアの戦略の重要な軸にもなっています。より快適（持続可能）なライフスタイルを実現し、魅力的なものにすることは、大きなビジネスチャンスです。

人々の理想が変われば、サステナブルな暮らしへの認識も変わっていきます。そのためには、人々に『サステナブルな（持続可能な）』選択肢を提供するための新しいアプローチが必要です。どうすれば本当に人々の暮らしを快適にできるのかを理解するには、まずは、ライフスタイルが与える影響ではなく、人々がどのような暮らしを送っているかを知る必要があります。ライフスタイルの影響を減らすことに力を入れすぎると、何かをあきらめることになります。私たちは、アプローチの方法を変える必要があります。そして、理想的なクオリティ・オブ・ライフを提供する製品と



サービスを提供しなければなりません。それは、暮らしを大きく変えずにすむものです。ビジネスの観点からいうと、より持続可能なライフスタイルのための市場と、それを可能にする製品やサービスをつくる必要があります。

人々は、家族や友人と一緒に、理想的で幸せなライフスタイルを楽しむことができる『より快適な』選択肢を探し始めています。この新たなビジネスチャンスを育むことで、現在の需要を満たすだけでなく、より快適な未来を形づくることができます。

イケアはその実現のために『より快適な暮らしの実現を目指すムーブメントを生み出し、人々にインスピレーションを与え、より健康的で持続可能で、資源効率の高い暮らしを実現する』という意欲的な目標を設定しました。人々ができないことではなく、できることを探します。

成功には、ゆるぎない集中が必要です。人々が求めるものを提供するほうが簡単です。ただし、長期的な成功は、人々が求めるものを形づくることで実現します。イケアと、イケアがインスピレーションを与えてリードする人々が、私たちの未来をより健康的で、持続可能で、魅力的なライフスタイルへとうまく形づくっていってくれることを願っています」



REGENERATION 2030サミット  
2018年8月、オーランド

### ReGeneration 2030ユースサミット

FY18の8月に開催されたReGeneration 2030サミットにおいて、Inter IKEAグループは、どうすればサステナブルな暮らしをもっとインスピレーションにあふれた、より身近なものになるかというワークショップを実施しました。

ReGeneration 2030は、北欧およびバルト海地域の10代や20代の若者によるムーブメントで、国連の2030アジェンダである持続可能な開発目標（SDG）の実現を目指しています。詳しくは[こちらをご覧ください](#)。

### 10YFP/One Planet Network、持続可能なライフスタイルと教育プログラム

持続可能な消費と生産10年計画枠組み（10YFP）は、6つのプログラムを通じて持続可能な消費と生産への移行を促進するグローバルな取り組みです。このフレームワークは、2012年に持続可能な開発に関する世界首脳会議で採用されました。

持続可能なライフスタイルと教育（SLE）プログラムは、6つのプログラムのうちの1つであり、持続可能なライフスタイルを世界規模で推進および拡大するためのグローバルなプラットフォームです。この取り組みは、スウェーデンと日本の政府が共同でリードしています。

Inter IKEAグループは、SLEプログラムのマ

ルチステークホルダー諮問委員会のメンバーです。詳しくは[こちらをご覧ください](#)。

### きれいな空気に関する調査

きれいな空気は現代における最大の健康課題であり、イケアは自分たちの役割を果たし、解決策を見つける努力をしています。

イケアのきれいな空気に関する調査は、世界中の人々がどのくらい大気汚染に関係しているか、大気汚染がどのくらい日常生活に影響をもたらすかについて調査しています。

この調査から、世界中の人々は自宅の空気汚染の脅威を過小評価していることがわかりました。実は、自宅の空気汚染は、屋外の大気汚染よりも多くの若年死を引き起こしています。また、人々が自らの行動を変えようとするのは、汚染センサーが表示するデータや、最新の大気汚染情報を目にしたときだということもわかりました。

FY18年に、イケアは問題への意識を高めるため調査結果を公開しました。

化石燃料（[32~36ページを参照](#)）や特定の化学物質（[15ページを参照](#)）の使用を段階的に廃止し、自宅の空気をきれいにするためのソリューションを生み出す（[14ページを参照](#)）ことで、イケアは自社の事業における大気汚染を低減しています。

### 世界経済フォーラム

イケアは、循環型のビジネスへの転換を推進したことが評価され、2018年1月に世界経済フォーラムにおいてCircular Economy Award（サーキュラーエコノミーアワード）の多国籍部門を受賞しました。

### クライメットポジティブ

2030年までに、イケアはクライメットポジティブ企業となることを目指し、自社の事業を超えた活動でポジティブな変化を生み出します。

国連のClimate Week（気候週間）をはじめとする国際的イベントに参加するなどして低炭素社会を提唱します。

イケアのClimate Action Research Reportは、気候変動に対してお客様にアクションを起こしてもらうために、どんなインスピレーションやサポートを提供すればよいかを理解するのに役立ちます。イケアは、ほかの企業や政策立案者、活動家、メディアの気候変動への取り組みを後押しするために、この調査結果を共有します。

クライメットポジティブに向けたイケアの目標については[27ページを](#)、イケアの各種提言活動の例については[26、41、57ページをご覧ください](#)。

### 利害関係者からのメッセージ：

#### ReGeneration 2030

（国連の2030アジェンダ実現に向けた北欧およびバルト海地域の青少年活動）、  
Simon Holmström氏



現代の社会では、消費者が責任ある選択をするのは簡単ではありません。ソファが持続可能かどうか、どうすればわかるでしょうか。どうすれば、新しいベッドの布地に持続可能な素材しか使っていないと確認できるでしょうか。多くの企業はこうした情報を伝えるのが非常に不得意です。ですが、私たちは関心を持っており、生産チェーンの透明性と店内の商品に関する情報を求めていました。

そのためには社会システムの抜本的な変換が必要です。また、素材をどう使うべきか示してくれる、新しい価値観を備えた新しいビジネスモデルが必要です。サプライチェーンの再構築も必要です。有害なコンポーネントは段階的に廃止しなければなりません。商品のデザインは、耐久性、可動性、リサイクル可能性を高めるようなものでなくてはなりません。

なぜなら、私たちはもうあまりたくさんのおもを買いたいとは思っていないからです。それよりも、みんなで協力してこれまでになかった行動をデザインしたいと考えています。私たち自身のために、そして将来の世代のために、遊びや、質の高い睡眠、友人との交流、すばらしい人生経験が必要だと思っています。

イケアのように将来を見据えたビジネスなら私たちをよく理解してくれることでしょう。ですから、持続可能な生活について、もっとイケアと議論させてください」

# サーキュラー&クライメット ポジティブ



イケアのコミットメント

2030年に向けてのイケアの目標は、再生可能エネルギーと再生資源に立脚した循環型のビジネスとなり、原材料の使用を会社の成長から切り離すことです。イケアのビジネスを成長させながら、新たに採掘された化石原料や燃料への依存をやめ、絶対的な意味における温室効果ガス削減を実現することを目指しています。これにより、今世紀末までに世界的な気温上昇を、できる限り $1.5^{\circ}\text{C}$ に近づけることを目標として、 $2^{\circ}\text{C}$ 未満に抑えることに貢献できます。

循環型のビジネスへ  
の転換 22

クライメットポジ  
ティブになる 27

資源の再生、エコシステムの保護、  
生物多様性の向上 37

## イケアのコミットメント

### 循環型のビジネスへの転換

イケアグループのビジネス理念は、優れたデザインと機能性を兼ね備えたホームファニッシング製品を幅広く取りそろえ、より多くの方々に購入いただけます。手ごろな価格で提供することです。資源に限りのある世界でこれを継続するために、イケアは『取って、つくって、捨てる』という直線的モデルから、何も捨てずに古い製品を新たな資源に変える循環型システムに移行します。これは、商品およびサービスの設計方法やイケアのサプライチェーンの展開方法から、お客さまと接する方法や場所に至るまで、イケアのすべての行動に影響を与えます。イケアはこのアプローチの指針となる4つのコミットメント（枠内参照）を定めました。

イケアは循環型のビジネスになるための転換をまだ始めたばかりです。すぐに急速な進歩を遂げられるわけではありませんが、目標の達成に向け、新しい働き方を試行し、必要なことを計画しています。



#### 循環型のビジネスになるためのイケアの行動

##### 1. 2030年までに、イケア製品の100%を循環型デザインの原則に基づいて開発します。

すべての製品は、再利用、修理、再製造、リサイクルを初めから念頭においてデザインし（[16ページ参照](#)）、発生する廃棄物の量をできる限り抑えます。つまり、必要とされる限り製品は使用可能であり、製品としての寿命が尽きたときには、その素材を新たな製品の資源として利用できるということです。

##### 2. 2030年までに、再生可能素材またはリサイクル素材のみを使用した製品づくりを実現します。

再生可能なものから素材を調達し（[24ページ参照](#)）、新たに採掘された化石原料を使用しない製品づくり（[23ページ参照](#)）を目指します。イケアは資源をムダにせず、廃棄物を価値ある資源とみなします。何も埋め立て処分しないことが私たちの目標です（[25ページ参照](#)）。

##### 3. お客さまが製品を購入し、大切に使って、次の人に譲渡するための新しい方法を開発します。

循環型のビジネスへの転換は、イケアがお客さまに接する新しい方法が必要であることを意味します。お客さまが自分のものをどのように購入し、大切にして、次の人々に譲渡しているかに関する調査に基づいて、お客さまが循環型のソリューションの一部となれるような便利なサービスを提供します（[17ページ参照](#)）。

##### 4. 率先して行動し、ほかの人々と連携します。

私たちだけではこの転換を達成できません。イケアは企業、NGO、政府、お客さまと協力し、世界の流れに変化を起こします（[26ページ参照](#)）。連携により、永続的に大規模な影響をもたらすことができます。

### 再生可能素材、リサイクル素材、リサイクル可能な素材

イケアの商品展開の60%以上が木材や綿などの再生可能素材を使用しているほか、約10%にリサイクル素材が使われています。2030年までに再生可能素材またはリサイクル素材を100%にするという目標の達成には、長い道のりが残されています。きれいなリサイクル素材を、必要とするだけ見つけるのは困難です。私たちは、再生可能素材とリサイクル素材の供給力を高めるために、業界のパートナーと緊密に連携しています。外部の人々とともに循環型のビジネスへの移行を進め、イケア製品が将来に向けた「原材料バンク」となるにつれて、状況は改善するものと考えられます。より持続可能な仕入先から再生可能素材を調達する取り組みについて詳しくは、[37~40ページ](#)をご覧ください。

FY18にイケアは、利用できる「廃棄物素材（将来の原材料）」がどれだけあるかのマッピングを完了し、廃棄される木材、プラスチック、紙、金属、テキスタイルの調達モデルを考案しました。これを足掛かりに、パートナーシップと協働体制を発展させ、業界の転換と供給の改善を進めます。たとえば、インドの紙リサイクルプロジェクトではWWFと連携しています。WWFが2年にわたりインドの古紙管理について実施した調査では、同国における廃棄物の発生から収集、分別、処理、廃棄に至るまでのライフサイクルが明らかになりました。WWFはリスクの特定・軽減に関する記録と再生紙調達ガイドラインの草案を作成しました。ここでは、既存の古紙回収システムが抱える課題と改善手法の案が取り上げされました。現在イケアは、インドにあるイケアのパッケージサプライヤーに調達ガイドラインを導入するWWFの活動を支援しています。WWFとともに、紙製パッケージの素材となる古紙の供給力を高め、バージン原料の輸入の必要性をなくしていくと考えています。自社の古紙サプライチェーンを改善するだけでなく、イケアが学んだことを古紙業界全体に対する提案として活用していきます。

イケアではすでにリサイクル素材を使用した製品をいくつか開発しています。TOMAT/トマートスープレーボトル、SKRUTT/スクルット デスクパッド、TJENA/ティエナ ボックス、KUNGSBACKA/クングスバッカ キッチン扉などです。FY18には次の製品

の販売を開始しました。

- **TOFTLUND/トフルンド** ラグは、ペットボトルをリサイクルした再生PET樹脂製ですが、見た目も肌ざわりもまるでシープスキンです。
- **JOFRID/ヨフリード** のカーテン、ひざ掛け、クッショングリーバーは、より持続可能な調達先から仕入れた綿と、亜麻を原料とした麻を混紡した素材でつくられています（亜麻は綿よりもはるかに少ない資源で育ちます）。また、ナツツの殻やオレンジの皮などの農業廃棄物からつくる染料を用いた新しい方法でテキスタイルを染めています。

「私たちは、責任ある方法で使い捨てプラスチックが廃棄されない場合には、海・河川などの生態系が汚染され、野生生物に害が及ぶ可能性があることを認識しています。私たちは、変化を起こせる領域において、自らの役割を果たし、責任を引き受ける覚悟があります」

イケア、Sustainability Development Manager  
**CAROLINE REID**

### 使い捨てプラスチックの段階的廃止

プラスチック廃棄物の削減に向けた取り組みが世界的に広がっています。イケアはすべての使い捨てプラスチックを段階的に廃止しています。2020年1月1日までに世界中のイケアでホームファニッシング製品の商品展開から使い捨てプラスチック製品を一掃します。これには、SODA/ソーダやSÖTVATTEN/ソートヴァッテンの飲料用ストロー、FÖRNYBAR/フォルニバル フリーザーバッグ、ISIGA/イスイガ アイスキューブバッグ、FÖRSLUTAS/フォルスルータス ごみ袋、そしてプラスチックコーティングされた紙皿や紙コップが含まれます。これらをより持続可能な代替品に置き換えると考えています。しかし、それぞれの使い捨てプラスチック製品の代替品は具体的にはまだ決まっていません。そのため代替品をすぐには販売できない可能性もあります。ほかにも、イケアのレストラン、ビストロ、カフェでも使い捨てプラスチックを段階的に廃止し、より持続可能なものに置き換える取り組みをしています。



手づくりの**KNIXHULT/クニクスフルト**ランプには、竹の中で通常なら廃棄される部分を使用しています。これは、廃棄物を減らすというだけでなく、生育が早く、肥料や農薬や灌漑を必要としない再生可能素材を使用するということです。



**JOFRID/ヨフリード**  
ナツツの殻やオレンジの皮といった農業廃棄物からつくる染料を使用



**TOFTLUND/トフルンド**  
再生PET樹脂製のラグ

## 新素材の開発

イケアでは、イケア製品に使用する、より持続可能な新しい素材を常に探しています。たとえば、再生可能素材やリサイクル素材を開発・使用して、イケアの商品展開から、新たに採掘された化石原料からつくるプラスチックを排除していきます。これは、2030年までに再生可能素材やリサイクル素材以外の使用をやめるという私たちのコミットメントに向けた取り組みです。

新素材に関するFY18の主な達成事項は次のとおりです。

**再生PET。** FY18にイケアで使用したポリエチルの24%は再生PET（rPET）からできています。FY17にはこの割合は10%でした。現在、寝具、カーテン、ロールブランケット、ソファカバーのほか、一部の硬質プラスチック製品でrPETを使用しています。

**より多くのリサイクル可能素材の使用を実現する、生分解性の難燃剤。**

すべてのイケア製品は厳格な防火規則を満たす必要があります。そのため、一部の家具では現在にも化石原料をもとにした難燃剤による難燃化処理を行っています。イケアはイノベーションパートナーとの連携により、有害な化学物質を含まない生分解性の代替品を開発しました。これには2つの大きなメリットがあります。化石原料ベースの繊維をセルロースベースの繊維に換えられること、および新しい難燃剤で処置した繊維はリサイクル可能であること

す。

- 再生可能素材とリサイクル素材でできたプラスチック。** イケアがイノベーションパートナーとともに開発した射出成型技術では、低グレードのリサイクルプラスチックを製品の中心部に使用し、新しく採掘した化石原料からつくるプラスチックを外層にのみ使用できます。2種類の素材を1つの製品として同時に射出する技術は新しくありませんが、2種類の素材の1つにリサイクルプラスチックを使用するのは画期的です。次のステップは、引き続きリサイクル素材を中心部に使いながら外層に再生可能プラスチックを使用することです。

## サプライチェーンにおける循環性

イケアは循環型のビジネスになるためにサプライヤーと密に連携し、二次素材生成と新規素材開発の最適な方法について、知識やアイデアを共有し、お互いに学び合います。

私たちの取り組みでは、各サプライヤーが抱える環境的課題と社会的課題、そして私たちが使用する素材に焦点を当てます。2030年に向けた循環型ビジネスの目標を達成するために、発展させるべき領域を特定する目的で、素材ごとの原材料ロードマップを作成しました。



**快適さ**  
マットレス、および布張り  
や詰め物を使用した製品

**エレクトロニクス**  
設備機器、照明、家電製品

**フラットライン**  
パーティクルボード製品お  
よび繊維板製品（MDF、  
HDF、硬質繊維板）

**IKEA FOOD**  
世界中に展開するイケア  
レストラン、ビストロ、  
スウェーデンフードマー  
ケット



**金属、プラスチック、フロートガラス**  
これらの素材を使用した  
製品

**個々のホームファニッシングビジネス**  
キャンドル、陶器、フレーム、植物、おもちゃなどの  
小さい家庭用品

**テキスタイル**  
布地、ホームテキスタイル  
、家具のカバー、カーペット、ブラインド、カーテン、布製収納用品

**木材および繊維硬材**（アカ  
シア、バーチ、ユーカリなど）、軟材（マツ、トウヒなど）、竹、紙、天然繊維  
(籐など)といった素材で  
つくられる商品展開

## IKEAカタログ

IKEAカタログはForest Stewardship Council™ (FSC™)<sup>1</sup>認証を受けた出版物として世界最大のもので、FY18には1億8500万部が印刷されました。イケアは世界51カ国で、紙のサプライヤー7社と印刷会社39社と提携し、クライメットフットプリントの削減に毎年取り組んでいます。

新商品に対応したカタログにするために、FY18にはフランス、日本、シンガポール、スウェーデンで年に2回カタログを発行する試みを行いました。これらの地域での発行量を倍増させつつも、世界全体でカタログ発行から生じるクライメットフットプリントの絶対量を維持または削減することを目標としています。その手段として、上質紙およびセミコート紙を使用し、ページ数を削減し、主に再生可能エネルギーを業務に使用するサプライヤーと提携しています。

<sup>1</sup> FSCライセンスコード : FSC-C120450



## 廃棄物の削減

イケアでは、循環型の経済の原則を適用して、イケアのビジネスとバリューチェーンにおける廃棄物を削減することを目指しています。

循環型の経済への転換は簡単ではありません。サプライチェーンを構築し、お客さまとやり取りする新しい方法を見つける必要があります。イケアには果たすべき重要な役割があり、私たちの目標は他者との連携によってのみ達成できます。

### リテール

イケアストアで発生する廃棄物の一部はイケアストアに届く前の輸送段階で生じた損傷に起因するものです。

Inter IKEAグループはサプライチェーンの各段階でフランチャイズ加盟企業と連携し、リスクの特定と連絡体制の改善に努めています。これは新しい解決策や商品を保護するパッケージ方法を導入するのに不可欠です。

シンガポール産業界におけるリサイクル率は平均約8%ですが、IKEA Alexandra<sup>2</sup>はその9倍以上を達成しています。これが評価され、シンガポール国家環境庁から表彰を受けました。

イケアのフランチャイズ加盟企業であるIngkaグループは、損傷のある製品を修理、再梱包して棚に戻すことを業務とする「リカバリー」チームを各店舗に設けています。FY18にチームが再梱包したイケア製品の数は870万で、FY17を100万上回りました。

また、再生した製品を店内の「As-Is」（アウトレット）エリアで大幅な割引価格で販売しています。FY18には、3500万個の商品がAs-Is（アウトレット）からお客様の手に渡り、FY17より200万個多い商品が廃棄を免れました<sup>3</sup>。さらに、より簡単かつ迅速にスペアパーツを探せるシステムの改良によって、コワーカーやお客さまによる修理が可能になり、年間を通じて200を超える店舗がこのメリットを受けました。

### 食品

イケアは、イケアレストラン、ビストロ、カフェの、また家庭の食品廃棄物を削減したいと考えています（[13~14ページ参照](#)）。

FY17に始まった「Food is Precious（食料は貴重なもの）」イニシアチブは、2020年8月末までにイケアストアのキッチンの食品ロスを50%削減することを目指しています。イケアストアのキッチンのごみ箱は、タッチスクリーンに接続したばかりの上に置いてあります。コワーカーは廃棄物の重さを量り、廃棄の理由をタッチスクリーンでシステムに登録します。集まったデータは食品ロスを防ぐ方法を見極めるのに役立ちます。ごみ箱に入れる食品廃棄物の1回あたりの量を減らそうというコワーカーの熱意が成功への鍵です。イケアストアの約半数がこの方法を導入し、廃棄される食品を1400トン以上減らしています。これは300万食以上の食事に相当します。これまでの成功も誇れるものですが、目標達成までにすべきことがまだ多いことを私たちは認識しています。



**FY18のごみの廃棄率**  
(全体を100とした場合の割合)

ユニット	リサイクル	焼却によるエネルギー回収	埋め立て処分	焼却のみ（エネルギー回収なし）
<b>IKEA Industry<sup>4</sup></b>	83.6	12.7	3.7	0
<b>IKEA Components<sup>5</sup></b>	90.2	9.4	0.4	0
イケアのホームファニッシング製品一次サプライヤー <sup>6</sup>	75	20	4	1
リテール業務 <sup>7</sup> (フランチャイズ加盟企業のIngkaグループのみ)	73.2	13.0	13.3	0.5

**発生した廃棄物と、リサイクルまたは焼却時のエネルギー回収で活用された割合 (%)**

ユニット	FY18の廃棄物総量 (トン)	リサイクルまたは焼却時の エネルギー回収で活用された 割合 (%) FY18
<b>IKEA Industry<sup>4</sup></b>	47,363	96.3
<b>IKEA Components<sup>5</sup></b>	4,059	96.6
イケアのホームファニッシング製品 一次サプライヤー <sup>6</sup>	1,042,300	95.0
リテール業務 <sup>7</sup> (フランチャイズ加盟企業のIngka グループのみ)	504,274	86.2
<b>全体 (平均)</b>	<b>1,597,996</b>	<b>92.3</b>

「当初の結果は非常に期待の持てるものでした。解決策を導入したすべての店舗で、わずか数ヶ月で食品廃棄が大幅に減少しています。このことは、世界中のイケアのコワーカーと連携しながら、このイニシアチブを広め続けていくうえで、大きなモチベーションになっています」

IKEA Food Services AB、Managing Director  
**MICHAEL LA COUR**

<sup>2</sup> フランチャイズ加盟企業のIkanoが運営しています。

<sup>3</sup> IngkaグループのIKEA Retail事業によるものです。

<sup>4</sup> IKEA Industryの数値は木材廃棄物を含みません。

<sup>5</sup> スロバキアおよび中国の2つのイケアの部品生産ユニットを対象としています。

<sup>6</sup> ホームファニッシング製品をイケアに直接供給するサプライヤーです。

<sup>7</sup> データはIngkaグループのIKEA Retail事業のもので、ほかのフランチャイズ加盟企業のデータを含めることを目指しています。

## IKEA Industry

IKEA Industryはイケアの商品展開の10~12%程度を生産しており、主に木材を扱っています。発生するおがくずや切りくず、樹皮を新製品の素材として使用できない場合は、通常は熱や電気を得るためのバイオ燃料として使用します。FY18にIKEA Industryから出た木材残留物は127万8218トンで、そのうち埋め立て処分されたのはわずか0.2%です。

木材以外にIKEA Industryから出た一般廃棄物は4万7363トンで、83.6%がリサイクルされました。このうち12.7%がエネルギー回収に利用され、3.7%が埋め立て処分されました。IKEA Industryの作業ユニットの半数で、発生した廃棄物の80%以上をリサイクルしました。

私たちは廃棄物の発生を防ぐことに重点を置いています。IKEA Industryは、ユニットどうしで連携しながら廃棄物の種類とその発生を防止する方法について理解を深め、廃棄物の削減方法を探っています。使用するパッケージ材に関するサプライヤーとの連携も、ここに含まれます。IKEA Industryは、リサイクルによるソリューションに加え、パッケージ材の一部を再利用目的でサプライヤーに返却するなど、一部の素材についてその形状や形式のまま第二の使い道を見つけることにも取り組んでいます。ポルトガルのポルト大学とのコラボレーションのようなパートナーシップ（下を参照）により、廃棄物の価値が示されます。

## 活動の推進

循環型のビジネスへの転換のために、イケアは自社のバリューチェーンを超えてグローバルな変化を提唱します。たとえば、すべての製品における再生可能素材やリサイクル素材への転換は、安定供給が可能なインフラが存在する場合にのみ実現できます。イケアは率先してほかの人々と力を合わせ、アイデアや学びを共有するプラットフォームを追求し、業界全体で幅広い変化を起こすべく取り組んでいきます。

FY18には、循環型のビジネスへの転換が評価され、世界経済フォーラムから表彰を受けました。[20ページ](#)をご覧ください。

2018年、IKEA of SwedenはEuropean Furniture Industries Confederation (EFIC、[欧州家具産業連盟](#)) にアソシエートメンバーとして加入しました。EFICはヨーロッパの家具産業の70%以上を占めています。IKEA of Swedenは、家具セクターにおける循環型の経済のビジョンの推進を目的としたEFICの作業部会でも積極的に活動しています。

## ポルト大学との連携による素材のアップグレード

2018年、ポルトガルのポルト大学で工業・製品デザインを学ぶ学生たちが、IKEA Industryの廃棄木材とパッケージ材を90%使用した、新しいデザインの考案に取り組みました。

その目的は廃棄素材が持つ資源としての価値を証明することでした。学生たちはこれを見事に実現しました。

イケアのデモクラティックデザイン（[19ページ](#)参照）にインスピレーションを得た学生たちは、おもちゃ、棚、ランプ、オーナメントなどのデザインを考案しました。特にすばらしい製品はFY19の初めにポルトガルのIKEA Mar Centreに展示され、訪問者に循環型の経済を目指すソリューションのためのインスピレーションを与えました。



## イケアのコミットメント

# クライメットポジティブになる

イケアのクライメットフットプリントは2690万CO<sub>2</sub><sup>8</sup>換算トンと推定され、世界全体の排出量の0.1%を占めています。これにはイケアのバリューチェーン全体、つまり原材料の調達や採取、製品の製造や輸送、店舗、お客様の来店時の移動手段、お客様の家の商品の使用、商品の廃棄が含まれます。イケアには、ポジティブな影響を与える責任と、それを実現するすばらしい機会があります。

イケアは2030年までにクライメットポジティブになることを明言しており、ビジネスを成長させながら、イケアのバリューチェーンが排出する量を上回る量の温室効果ガスの削減を目指します。カーボンオフセット認定証を購入せずともこれを達成できる見込みです。イケアは世界中のパートナー、サプライヤー、お客様とともに、科学的な根拠に基づいたアプローチによって温室効果ガス（GHG）の絶対的な排出量を削減します。



## イケアにとってのクライメットポジティブの意味

気候変動はもはや遠くにある脅威ではなく、目に見える現実です。すでに、人や社会、地球、イケアのビジネスに影響を及ぼしています。

パリ協定で世界のリーダーたちは、今世紀末までに世界的な平均気温上昇を、できる限り1.5°Cに近づくことを目標として、2°C未満に抑える努力すると表明しました。

イケアはこのコミットメントを実現するために自らの務めを果たす決意です。そのために、クライメットポジティブになる、つまりイケアのバリューチェーン全体で排出する量を上回る量の温室効果ガスの削減を目指しています。

私たちは次の方法でこれを実行します。

### ビジネスを成長させつつバリューチェーン全体での総排出量を削減

- 2030年までに、イケアのバリューチェーン全体で排出する温室効果ガスの絶対量を15%以上削減します（2016年比）。同期間の成長予測に照らすと、これは1製品あたりの平均クライメットフットプリントの70%削減に相当します。

- イケアのバリューチェーン全体で再生可能エネルギー使用率100%を追求します（32～36ページ参照）。

- 真に循環型のビジネスとなり、製品を転用、修理、再利用、再販売、リサイクルできるように最初の段階からデザインします（16ページ参照）。これにより、フットプリントに最大の影響を与えている原材料の採取や加工の必要がなくなります（29ページ参照）。

### 炭素を貯留・回収

- 森林管理のさらなる改善などを通じて、イケアのバリューチェーン内で炭素隔離を行い、炭素を回収・貯留する手法を開発、改善していきます（37～39ページ参照）。

### イケアのバリューチェーンを超える

- イケアのバリューチェーンの排出量を超えるフットプリントに対処します。たとえば、一次サプライヤーと連携し、その全工場での合計排出量の削減に取り組むことで、イケア製品の製造で生じる排出量の約4倍の排出量に対処できます（34ページ参照）。
- お客様やビジターをはじめとする多くの人に対し、省エネや家庭での再生可能エネルギー発電など、限りある資源を使ったよりよい暮らしを提案してその実現をサポートします（14ページ参照）。

### 低炭素社会を実現するために率先して行動し、他者と協働する

- 政策の変更を提唱して低炭素社会への転換を後押しします。
- 同じ志を持つ企業、政府、NGOなどとパートナーを組み、気候変動に対処するために協働します。

<sup>8</sup> CO<sub>2</sub>e（二酸化炭素換算）は、さまざまな種類の温室効果ガスの排出量算定に使用する基準単位です。あらゆる量や種類の温室効果ガスについて、同等の温暖化効果があるCO<sub>2</sub>量をCO<sub>2</sub>eで表します。

## 利害関係者からのメッセージ：

WWFスウェーデン、気候・エネルギー・イノベーション担当シニアアドバイザー、

*Stefan Henningsson氏*

クライメットポジティブになることは、イケアにとって大きな課題です。ほかの人々と協力し、改善方法について利害関係者の意見に耳を傾けなければ、この目標を達成できません。そこで、WWFスウェーデンで気候・エネルギー・イノベーション担当シニアアドバイザーを務める **Stefan Henningsson氏**に、クライメットポジティブになるという目標の達成に向け、イケアは何を改善すればよいのかを伺いました。

「地球の気温上昇を1.5°C未満に抑えることは、生物多様性喪失の加速を防ぎ、脆弱なコミュニティに気候変動が与える影響を制限するうえで不可欠です。これは非常に大きな課題で、2030年までに全世界のCO2排出量を半減させる必要があります。

イケアは自らの役割を果たさなくてはなりません。それは、イケアとサプライチェーン全体で排出量を削減すること、政治家に変化を呼びかけること、さらにお客さまに対して、持続可能な消費を行い、変化の主体となるよう促すことです。

クライメットポジティブになるためにイケアにできる7つのことを以下に挙げます。

1. 世界的な気温上昇を1.5°C未満に抑えるためにすべきことを記載した『気候変動に関する政府間パネル』(IPCC) の最新の報告書に沿って目標を設定し、それを伸展させる。
2. 自社のビジネスを超えた取り組みのために、資源の使用量を最小限に抑えたり、健康的で炭素排出の少ない食品の選択や循環型消費の機会（商品の再利用、再販売、再生など）を促進したりして、多くの人々によりサステナブルな家庭での暮らしを奨励する。
3. 炭素集約的な産業分野や、食品、スチール、テキスタイルなどイケアが大量に使用する素材について、厳格な調達基準を設定する。こうした重要素材について意欲的な脱炭素化ロードマップを策定し、ほかの人々と連携して新技術に対する共同開発、共同投資を行う。気候や生物多様性にとってプラスとなるような、エネルギー使用に関するサステナビリティ基準を確立する。
4. エネルギー効率、再生可能エネルギー、食品、気候変動に関する政策の強化を提唱する。また、低炭素の未来の実現に大きな影響を持つイノベーションや投資に着目したイニシアティブ（Mission Innovation Solution Frameworkなど）においてほかの人々と連携する。
5. サプライヤーと連携してより意欲的で科学に基づいた目標と行動計画を定め、2030年までに小規模サプライヤーの排出量を少なくとも半減させることを目指す。
6. イケアのバリューチェーン内でクライメットポジティブになることを追求するのに加え、気候変動の影響を受けている貧しいコミュニティで持続可能な開発のための活動に投資する。これにより回復力、健康状態、就労状態を向上させ経済発展を促すほか、炭素の回収と貯留のために農林業活動を推進する。
7. クライメットポジティブの目標に向けた進歩を外部に報告することを約束し、サステナビリティを目指す取り組みの中で同様の課題に直面しているほかの企業に知見を共有する」



FY18のイケアのバリューチェーンにおけるクライメットフットプリントを計算したところ、2690万CO2換算トンと推定されました。イケアのビジネスが成長したことにより、FY16と比べて2.8%上昇しています。ビジネスの成長と温室効果ガスの排出を切り離すには時間がかかるため、排出量が減り始めるまでの数年間は逆に増加することが予測されます。イケアのバリューチェーン全体での目標値は、科学的データに基づいており、地球の気温上昇の抑制において、パリ協定に従って私たちが果たすべき役割を果たすために設定されています<sup>9</sup>。

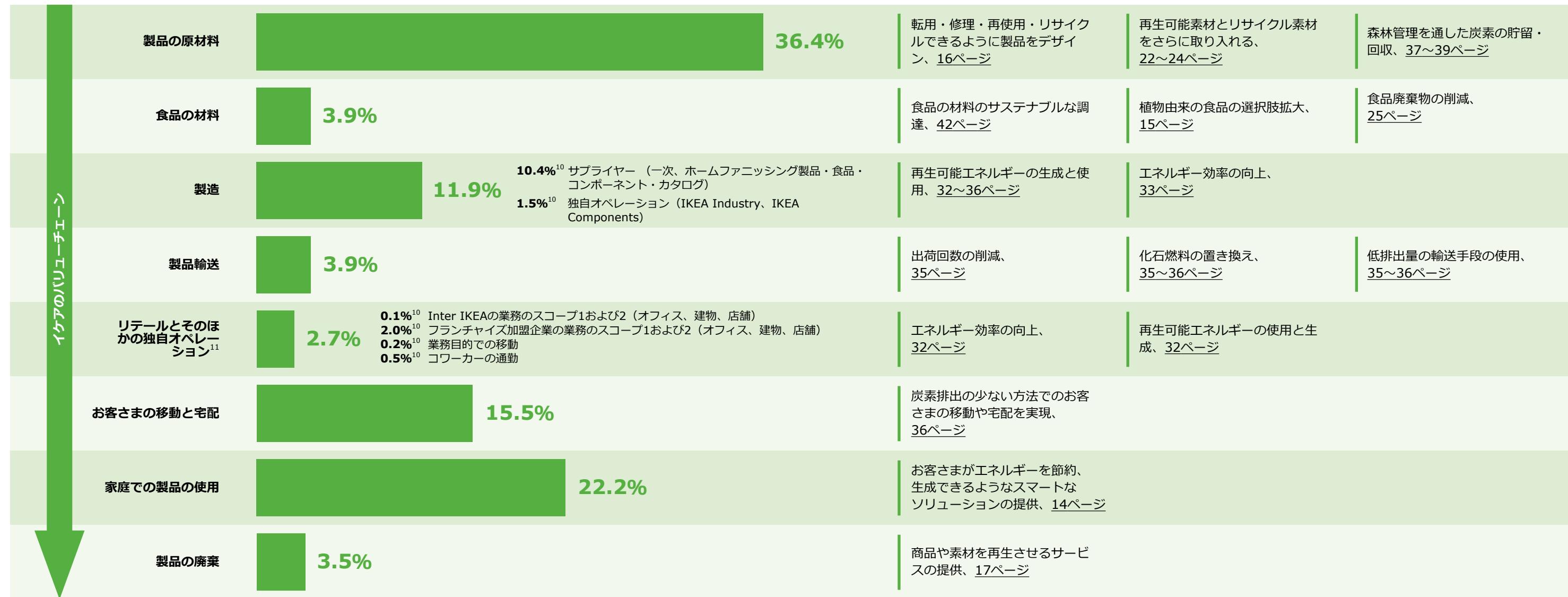
### クライメットポジティブになるために対処すべき3つの主な課題

- 原材料のフットプリント（イケアのクライメットフットプリントの36.4%に相当）を削減すること（30ページを参照）。
- お客様の来店時の排出量（イケア全体のクライメットフットプリントの15%に相当）を削減すること（36ページを参照）。
- 世界的に成長の遅い、再生可能暖房や再生可能燃料に転換すること（32～36ページを参照）。

<sup>9</sup> 目標値は、30地域のスコープ1とスコープ2（フランチャイズ加盟企業のIngkaグループが運営するもの）、およびスコープ3全体を対象としたものです。

## クライメットポジティブになる

### イケアのバリューチェーンの各段階におけるクライメットフットプリント (CO<sub>2</sub>e換算の排出量の割合 (%) )



### イケアの主要業務からの総排出量 スコープ1、2<sup>12</sup> (CO<sub>2</sub>換算トン) <sup>13</sup>

	FY16	FY17	FY18
<b>IKEA Industry</b>	473,211	564,572	396,977
<b>IKEA Components</b>	1,596	1,009	1,138
リテールとそのほかの独自オペレーション (オフィス、建物、店舗) <sup>14</sup>	15,133	19,273	19,248
<b>合計</b>	<b>489,940</b>	<b>584,854</b>	<b>417,363</b>
(FY16からの変化率、%)	-	+19%	-15%

### INTER IKEAの主要オペレーションにおけるエネルギー効率 (基準年に対する相対的<sup>15</sup>改善率 (%) )

ユニット	基準年	FY16	FY17	FY18
<b>IKEA Industry</b> フラットラインおよび無垢材部門	FY10	-15.5%	-14.0%	-12.8%
<b>IKEA Industry</b> 板材部門	FY10	-10.9%	-15.1%	-14.2%
<b>IKEA Components</b>	FY13	-64.3%	-58.5%	-52.5%

10 イケアのバリューチェーン全体での割合です。

11 イケアのフランチャイズ加盟企業が運営するすべての店舗、倉庫、小売特有の業務を含みます。

12 スコープは「Science Based Targets」（科学的根拠に立脚した目標）の定義に基づきます。

13 FY16とFY17の数値は送配電による電力喪失を含んでおり、改善されたデータ収集手法を反映したものです。

14 Inter IKEAグループ企業が運営する店舗、オフィス、倉庫、ホテルのみが含まれます。フランチャイズ店舗は含みません。

15 フラットラインおよび無垢材については生産した家具の面積 (m<sup>2</sup>) あたりkWh、板材については生産した板材の体積 (m<sup>3</sup>) あたりkWhで表した、合計エネルギー消費量です。

## イケアの製品

### 製品の原材料と食品の材料

循環型のビジネスになり、製品の再利用、修理、再生などを通じて、ビジネスの成長においてさらなる原材料の採取をしないことは、イケアのバリューチェーンにおけるクライメットフットプリントの削減に役立ちます。それでも必要となる原材料については、柔軟に応用できるソリューションや軽量構造に注目するほか、クライメットフットプリントが小さく、土地利用の変化による影響が少ない素材（可能な限り、再生可能エネルギーを使用して生産されたもの）の調達に重点を置きます。たとえば、大半のイケア製品に使用されるパーティクルボードの生産には接着剤が不可欠ですが、これはイケア全体のクライメットフットプリントの6%を占めています。イケアはパートナーと協力して、影響力が小さくクライメットフットプリントの削減に貢献する、新しい再生可能接着剤の開発に取り組んでいます。

イケア全体のクライメットフットプリントの中でもっとも大きな割合を占めるのは、ホームファニッシング製品の原材料と食品の材料の調達や採取で、FY18では40%に及びました。イケアは資源をできる限り効率的に活用して、ムダを省くことに常に取り組んでいます。綿や木材といった主要素材を、栽培する人々や地球にやさしい、より持続可能な仕入先から調達するために、長年にわたってサプライヤーと連携しています（37～40ページ参照）。イケアは、素材の調達に関する戦略の中に、気候への影響を盛り込んでいます。その目的は、革新が必要な分野を割り出したり、二酸化炭素排出量の少ない代替手段を見つかり、サプライチェーン内の慣習を改善することです。さらに、炭素集約的な素材に替わる素材を追求し、食品を含むすべての商品展開を変

化させています。たとえば、新商品のベジドッグのクライメットフットプリントは、肉を使用した通常のホットドッグの約7分の1です（15ページ参照）。

イケア製品に使われる素材の約70%（重量比）は木製、木材ベース<sup>16</sup>、紙、またはその他の天然繊維です。しかし、原材料のクライメットフットプリントに占める割合はわずか27%です。製品に使われるプラスチック素材や金属素材は少なく、プラスチックが製品に占める割合はわずか5%（重量比）ですが、フットプリントは約40%を占めています。木材やリサイクルプラスチックなどのリサイクル素材や再生可能素材に移行するとともに、軽量構造で製品をつくり、原材料生産プロセスにおける再生可能エネルギー使用を促進することで、クライメットフットプリントや環境に対するその他の影響を大幅に削減、縮小できます。

FY16以降、IKEA Industryはスロバキアのマラツキ近郊でポプラを栽培しています。これらの栽培地からは、イケア製品で使用する軽量板の生産に必要な原材料の大部分が供給される見込みです。ポプラは生育が早く、ほかの作物より農薬や機械の使用が少ない再生可能素材で、大量の炭素を回収できます。機械の使用を制限し、5年周期で栽培することにより、20年かけて同じ根系から4回収穫でき、土壤の再生に役立ちます。この栽培地は低～中程度の地力を持つ土地に分類される農地にあり、ほかの作物との干渉が最小限に抑えられています。

FY16からFY18にかけて、売上の増加に伴って製品の原材料と食品の材料のクライメットフットプリントが10%上昇しました。原材料フットプリントの転換は始まったばかりであり、目に見える影響が現れるまでに時間がかかるものと思われます。私たちは



素材戦略に気候への影響を融合させる取り組みを完了させつつあり、これにより進歩を加速できることを期待しています。



### 商品の原材料と食品の材料

#### クライメットフットプリント（メガトンCO<sub>2</sub>e）

■ 製品の原材料 ■ 食品の材料

	9.1	0.8	9.9
<b>FY16</b>			
<b>FY17</b>	9.4	0.8	10.2
<b>FY18</b>	9.8	1.1	10.9

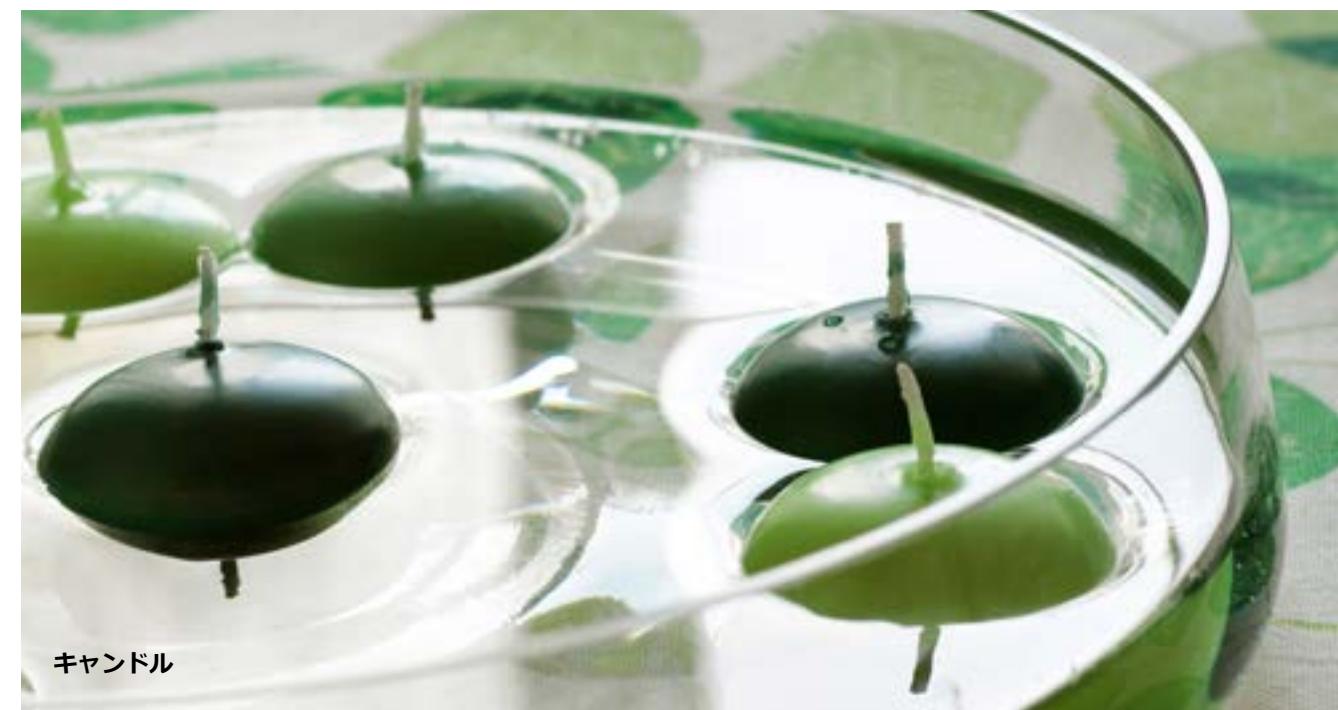
16 木材ベースの素材には接着剤を含みますが、接着剤は現時点で再生可能ではありません。木材ベースの素材の一部が100%再生可能な素材として分類されていないのはこのためです。

## 家庭での製品の使用

イケアの総クライメットフットプリントの22.2%はお客様が家庭でイケア製品を使用することによるものと推定されます。これにはエネルギー効率の高いLED照明（16%）、機器（5%）、キャンドルの燃焼（1%未満<sup>17</sup>）が含まれます。私たちはクライメットフットプリントとお客様のエネルギーコストを削減するため、できる限りエネルギー効率の高い製品をデザインしています。

送電網のフットプリントは国によって大幅に異なりますが、私たちはイケアのすべての市場で再生可能電力100%を提唱しています。イケアのお客さまも、自宅で再生可能エネルギーの生成や使用ができるようになってしかるべきです。現在、6つの市場のお客さまに住宅用太陽光発電を提供しており、今後何年かで対象地域を拡大する予定です<sup>18</sup>。詳しくは、[14ページをご覧ください](#)。

もっとも大きな改善がみられたのはイケアの照明です。その大きな要因はLEDのエネルギー効率向上で、FY16以降、ワットあたりのルーメン数 (lm/W) は19%向上しています。設備機器のフットプリントは横ばいです。これは、売上の劇的な向上が商品展開全体の急速なエネルギー効率改善を相殺したためです。エネルギー効率改善はコンロで特に顕著で、FY16以降平均で17%の改善を実現しています。絶対的な意味で排出量を削減するためには、エネルギー効率と、送電網における再生可能エネルギーの利用可能性の両方をさらに改善する必要があります。



より持続可能な暮らしを人々に提案し、その実現をサポートするイケアの取り組みについて詳しくは、[13~15ページ](#)をご覧ください。

## 製品の廃棄

イケア全体のクライメットフットプリントの約3%は製品の廃棄に起因するもので、リテール業務や製品輸送の割合と類似しています。このフットプリントには焼却または埋め立て処分される製品が含まれますが<sup>19</sup>、リサイクルされる製品はイケアまたは他企業が原材料として使用するため、含まれません。

循環型デザインの原則（[16ページ参照](#)）を含め、循環型のビジネスになるという目標（[22ページ参照](#)）は、商品の廃棄から生じるクライメットフットプリントをなくすのに役立ちます。

## 家庭での製品の使用

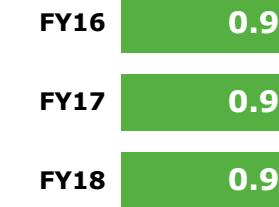
**クライメットフットプリント** 送配電による  
電力喪失を含む（メガトンCO<sub>2</sub>e）

■ 照明 ■ 設備機器 ■ キャンドル (<0.1)



## 製品の廃棄

**クライメットフットプリント**  
(メガトンCO<sub>2</sub>e)



<sup>17</sup> キャンドルの原材料のフットプリントを含めるとほぼ1%です。キャンドルを家庭で使用する際の排出量は少量ですが、それ以上のフットプリントが原料となるロウの調達で生じます。

<sup>18</sup> IngkaグループのIKEA Retail事業によるものです。

<sup>19</sup> 各国の廃棄物管理システムの一環として行われるものです。

## イケアのオペレーション

私たちは、フランチャイズ加盟企業と一次サプライヤーを含むイケアのオペレーション<sup>20</sup>において、電力および冷暖房での再生可能エネルギー使用率100%と高いエネルギー効率を追求しています。多くの人々により多くの再生可能エネルギーを提供できるように、イケア施設内での再生可能エネルギーの生成や新たな設備の設置を推進しています。

すでに、イケアのオペレーションで消費するエネルギーの74%を再生可能なエネルギー源から得ています<sup>21</sup>。これを100%にすることを目指して、太陽光発電パネル、ヒートポンプ、バイオマスボイラー、熱電供給プラントといった再生可能エネルギー生産設備を施設内に設置するための投資を行っています。

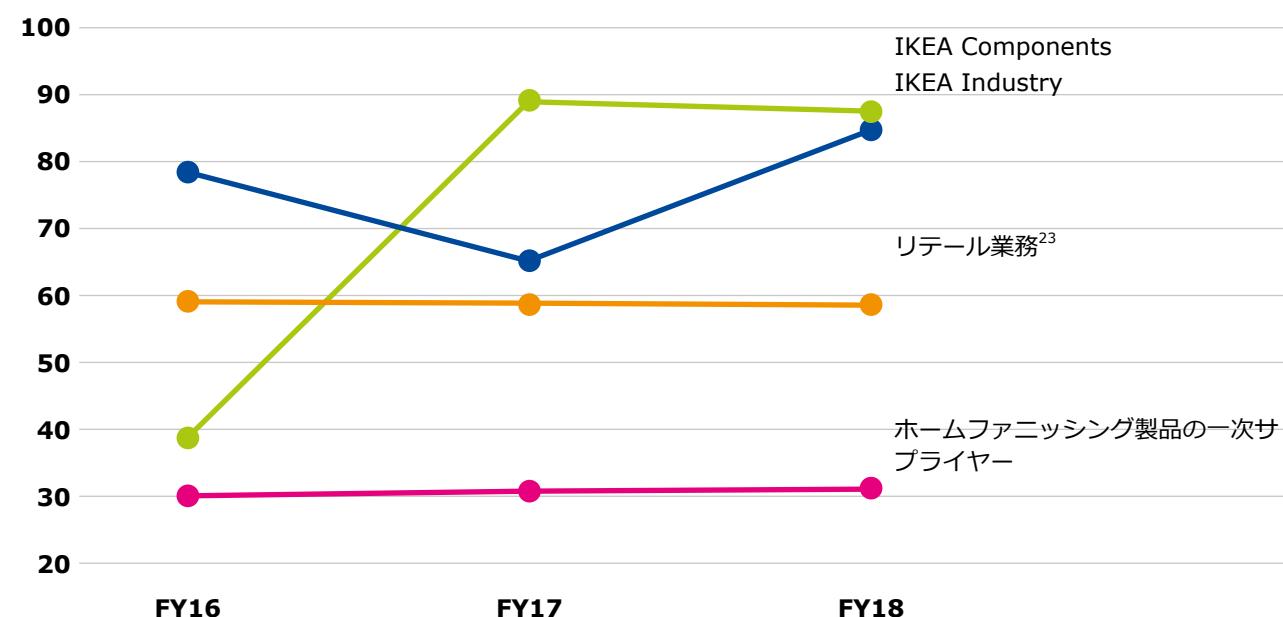
IKEA Components<sup>22</sup>で使用する再生可能エネルギーの割合はFY16の2倍以上になり、IKEA Industryでの使用率（パーセント）はFY17と比べて約20ポイント上昇しました。

通常、施設内で発電できるのは必要量の10~40%のみ（オペレーションにより異なる）で、残りの再生可能エネルギーは送電網から購入する必要があります。まだすべての国で実現できるわけではありませんが、イケアは他者と連携して各地で再生可能エネルギー100%の提唱に取り組んでいます。たとえば、フランチャイズ加盟企業のIngkaグループは

RE100に参加しています。RE100では、再生可能エネルギー100%の実現を明言する100以上の企業が一体となり、再生可能エネルギーの需要拡大と利用可能性向上に取り組んでいます。

電気は、リテール業務と製造によるクライメットフットプリントの約半分、および家庭での製品の使用によるクライメットフットプリントのほぼすべてを占めています。再生可能エネルギー分野は世界的に急速に進歩しており、価格低下は風力および太陽光による発電システムへの投資と設置数を増やすことを意味します。ただし、再生可能暖房や再生可能燃料については事情が異なります。このことは、再生可能暖房100%への転換ができる限り迅速に実現するうえでの課題となっています。また、再生可能暖房や再生可能燃料の大半は森林や農作物に依存しているため、こうした燃料が必ず責任ある方法で調達されるようにすることが必要です。つまり土地の利用方法の変更や、生物多様性、大気の質、社会問題、水への影響などによるクライメットフットプリントを最少化することです。

再生可能エネルギーの総量（電気、冷暖房）  
生成および購入した割合（%）



### リテール業務

さまざまな地域でフランチャイズ加盟企業が運営するイケアストアは、クライメットポジティブになるという私たちの目標において重要な役割を担っています。イケアストアはお客さまがイケアブランドやバリューと出会う場であり、私たちがサービスや商品の提供を通して「手本となる行動でリードする」という目標を実践できる場でもあります。

フランチャイズ加盟企業のIngkaグループは、2030年までに店舗やその他のオペレーションで生じるフットプリントの絶対量を対2016年比で80%削減するという目標を設定しました。今日、そのリテール業務で消費するエネルギーの65.9%を太陽光パネルや風力タービンなどの再生可能エネルギー源から得ています。また、Ingkaグループは風力発電および太陽光発電を行っており、多くの再生可能エネルギーを送電網に供給しています。2020年までに業務全体で消費するのと同量の再生可能エネルギーを生成することが目標です。

IKEA Retail Iceland<sup>24</sup>は同国最大の太陽光発電プラントを設置しました。その発電量は、コワーカー用のすべての電気自動車充電ポイントに電力を十分供給できるものです。

FY18の1月、シンガポールのIKEA Alexandra<sup>25</sup>はソーラー冷房を設置しました。このシステムは店舗の空調用に地熱を冷水に変換するもので、電気消費量を約24%削減し、月に5,000ユーロ（9,000シンガポールドル）以上節約します。

IKEA Dubaiでのパイロット事業の成功を受け、アブダビ、エジプト、カタールのイケアストア<sup>26</sup>では次の方法でエネルギー消費量を削減するプロジェクトを進めています。

- エネルギー使用量の測定とベンチマークリング
- 断熱材の設置
- 暖房、換気、空調（HVAC）システムとビルマネジメントシステム（BMS）のアップグレード
- LED照明への切り替え
- トイレ設備への赤外線センサー設置による水消費量の管理

たった1年で、このプロジェクトにより全店舗でのエネルギー消費量が15%削減され、温室効果ガス排出量が883トン減少しました。

### リテール業務 クライメットフットプリント（メガトンCO<sub>2</sub>e）<sup>27</sup>

FY16 0.4

FY17 0.5

FY18 0.5

再生可能冷暖房100%を達成するという目標の一環として、イケアのビジネスでは、地熱や空気を利用したヒートポンプや、バイオガスおよびバイオマスを利用したボイラーといった冷暖房用の再生可能技術に投資しています。たとえば、2020年以降にIngkaグループで承認されるすべての建設プロジェクトでは、再生可能冷暖房システムが導入される予定です。再生可能エネルギー、電気自動車、排出削減などの問題に関する重要な議論にイケアの声を届ける取り組みもあります。IngkaグループによるRE100、EV100、We Mean Business連合といった団体への加入がその例です。



20 イケアのオペレーションとは、Inter IKEAグループの業務、フランチャイズ加盟企業の小売業務、イケアに関連するそのほかの業務を指します。

21 温室効果ガスプロトコル（スコープ1および2の排出量）。

22 イケアのホームファニッシング製品に使用するコンポーネントおよび素材をイケアのサプライヤー下請けサプライヤーに供給しています。

23 イケアのフランチャイズ加盟企業が運営するすべての店舗を含みます。

24 フランチャイズ加盟企業のMiklatorgが運営しています。

25 フランチャイズ加盟企業のIkanoが運営しています。

26 フランチャイズ加盟企業のAl-Futtaimが運営しています。

27 イケアのフランチャイズ加盟企業が運営するすべての店舗、倉庫、小売専門の業務を含みます。

## IKEA Industry

IKEA Industryは世界最大の木製家具製造業者であり、10カ国にまたがる40の生産ユニットで1万9000人を超えるコワーカーが働いています<sup>28</sup>。すでに、IKEA Industryの暖房の86.7%、電気の81.1%を再生可能なエネルギー源から得ています。全体で昨年からの1年間で約20ポイントの上昇をみており、ポーランドの風力発電所からの電気購入がその主な要因です（詳細は後述）。暖房は主にバイオマスボイラーを熱源としており、電気については再生可能なものを購入しているほか、施設内の太陽光パネルと、バイオマスを動力源とした蒸気タービン1基で発電した少量の電気も使用しています。

### 再生可能電力

IKEA IndustryはFY25末までに技術的および経済的に可能なすべての場所に太陽光パネルを設置することを目指しており、中央ヨーロッパの施設における設置の適否の評価に重点的に取り組んでいます。同地では再生可能エネルギーインフラの構築がまだ十分ではありません。

ポーランドでは、IKEA Industryは使用電力の100%をIngkaグループ所有の風力発電所から購入しています。IKEA Industryは「Guarantees of Origin」（発電源保証）と、電気事業者が時間単位の風力発電量をIKEA Industryの消費量に合わせるという独自の体制を通して、エネルギー源を確保しています。

ポルトガルのパソス・デ・フェレイラにある生産ユニットでは、ヨーロッパ最大規模の自家消費型太陽光パネルの設置が完了しました。7万745m<sup>2</sup>の敷地に設置された1万8240枚のパネルでは、住宅2,700戸分の消費量に相当する電力が生成され、毎年2,358CO<sub>2</sub>換算トンの排出を回避しています。

### 再生可能暖房

FY18に、ロシアのノヴゴロドにある施設で87.5MWの発電能力を持つエネルギー原発が始動しました。この原発からは、施設で必要となるすべての熱が供給されます。木材を乾燥させる工程は特に大量の熱を必要とします。乾燥機は1時間あたり最大60トンの木材を乾燥でき、天然ガスの代わりにバイオマスから生成したエネルギーが使用されます。現在は施設で使用するエネルギーの85%が再生可能なものからつくられており（35%から増加）、年間4



「資源とエネルギーの責任ある使用に関して、私たちは業務のさらなる効率化を追求します。まずはパソス・デ・フェレイラのIKEA Industryで働く1,300人以上のコワーカーと力を合わせ、イケアが事業を行うコミュニティの経済、環境、社会の発展にポジティブな貢献をしたいと考えています」

IKEA Industry（ポルトガル、パソス・デ・フェレイラ）、マネジャー  
**JORGE FERREIRA**

万5000トンの温室効果ガスが削減されていると推定されます。

IKEA Industryはポーランドのスタロバ・ボラ製材所にペレット工場を新築する目的で900万ユーロを投資しました。この工場はFY19よりヨーロッパ市場向けに再生可能エネルギーを供給する予定です。製材所から出る木くずは、熱を生成するバイオベースのボイラーに送られ、タービンが再生可能エネルギーを生み出します。

### エネルギー効率

IKEA Industryは省エネにまつわる啓発、成功事例の共有、能力開発に取り組んでいます。FY19には自社工場でのワークショップ開催やサプライヤーの工場での試験的なワークショップ開催を予定しており、IKEA Industryの経験をサプライチェーンの各所と共有していきます。通常のワークショップでは、4~8%の省エネのための投資を2年足らずで回収できることを明らかにします。「Energy Management Manual」（エネルギー管理マニュアル）も重要なツールであり、エネルギー効率の高め

方に関するコワーカー向けの指針となります。このマニュアルはFY19末までにIKEA Industryのすべてのユニットで使えるようになります。

**IKEA INDUSTRY  
クライメットフットプリント スコープ1、スコープ2、  
送配電による電力喪失 (メガトンCO<sub>2</sub>e)**

**FY16** 0.5

**FY17** 0.6

**FY18** 0.4



### 未来のフラットパックソファ

イケアはフラットパックで有名ですが、ソファのパーツをばらばらにしてフラットパックにしたことはありませんでした。

FY18に中国で販売開始されたイケアの新しいソファフレーム「RÄTÖRP/ロートルプ」は、わずか13個の部品でできています。これはイケアが販売している通常のソファの約10分の1です。組み立てが簡単なだけではなく、環境にもやさしい製品です。

部品数が少ないとすることは、製造に要する労力も時間も少なくてすみ、節水と省エネにもなります。さらに、フラットパックであるため、より小型の箱で梱包でき、輸送に必要なトラックが少なくなります。

これは単なるフラットパックソファではなく、循環するソファでもあります。

お客様の家に到着後、組み立て、分解、再組み立てが簡単にできます。お客様の状況が変化し、たとえば引越しをすることもあります。このソファなら、一緒に引っ越しれます。

製品寿命が尽きたときには、簡単に分解して、素材別にリサイクルできます。

「イケアは、環境への影響を最小限に抑える方法でソファを製造することにより循環を実現しています。分解可能な部品でできたソファを、より小型で軽量、フラットな梱包で販売することで、より長持ちするリサイクル可能な製品を提供できます」とIKEA of SwedenのCircular IKEA担当Development Leader、Malin Nordinは述べています。

循環型の経済の実現に向けた製品のデザイン方法について詳しくは、16ページをご覧ください。

## サプライヤーによる製造

一次サプライヤーによる製造から生じるクライメットフットプリントは、サプライヤーからの調達量の増加に反してFY16以降ほぼ横ばいです。その要因は、エネルギー効率の向上と、再生可能エネルギーの割合が30%から31%に上昇したことです。ただし、テキスタイルなど一部の業界では、これほど急速な進歩はみられません。

私たちは、一次サプライヤーとともに、彼らの工場全体で取り組みを行います。イケア製品の製造にかかる部分だけにとどまりません。これにより、イケア製品の生産で生じるフットプリントの4倍以上のフットプリントに対処できます。

より多くのイケアのサプライヤーが、送電網からの再生可能エネルギーの購入や施設内での生成、またはその両方を通じて、再生可能エネルギー100%を目指すムーブメントに参加しています。FY18には8つのサプライヤーが、再生可能エネルギーへの転換により、電気・暖房・社内輸送によるクライメットフットプリントをゼロにすることに成功しました。これにはスウェーデンの組み立て部品およびアクセサリーのサプライヤーや、ポーランドのフラットラインのサプライヤーが含まれますが、いずれも送電網からわずかしか再生可能電力を入手できない地域です。両社とも風力タービンに投資し、消費量以上のエネルギーを生成してクライメットフットプリントに大きな影響を与えています。

ほかにも再生可能エネルギー100%を達成したサプライヤーは何社かありますが、木材廃棄物の燃焼などによりCO<sub>2</sub>以外の温室効果ガスを排出し、依然としてクライメットフットプリントを生じています。

## サプライヤーによる製造

**クライメットフットプリント** ホームファニッシング製品、コンポーネント、カタログ、食品のサプライヤー、送配電による電力喪失を含む（メガトンCO<sub>2</sub>e）

FY16	2.7
FY17	2.7
FY18	2.8

29 <https://www.who.int/news-room/detail/02-05-2018-9-out-of-10-people-worldwide-breathe-polluted-air-but-more-countries-are-taking-action>

30 <http://berkeleyearth.org/air-pollution-and-cigarette-equivalence/>

## 大気汚染物質

世界保健機関によれば、大気汚染は環境にとって有害であるだけでなく、健康へのリスクとして単独で最大のものです。10人中9人が、大気汚染の度合いが安全な水準を超える場所で生活しています<sup>29</sup>。私たちは次の方法で、2030年までにバリューチェーン全体で大気汚染物質の排出を削減し、きれいな空気で世界に貢献するよう取り組んでいます。

### 化石燃料の使用量を削減します。

エネルギーを得るために化石燃料を燃やすことは、大気汚染の重大な原因です。イケアのビジネスは、再生可能エネルギー100%の達成と化石燃料使用の段階的廃止に取り組んでいます。

**バイオマス燃焼をやめ、バイオマスのガス化を目指します。** 化石ベースの燃料ではなくバイオマスを使用することは適切な第一歩です。しかし、バイオマスからもやはり有害な粒子が環境に放出されます。ガス化はバイオマスをエネルギーに変換する方法として非常にクリーンなもので、粒子による汚染を大幅に削減します。

**室内空気汚染物質を削減するソリューションを開発します。** 場所によっては屋外より屋内の空気の方が汚染されています。FY18に、住宅内の空気の浄化に役立つ空気清浄カーテンや空気清浄機器を開発中であると発表しました。

**お客様の意識を高めます。** イケアのきれいな空気に関する調査では、大気汚染による健康への影響や住宅内の空気汚染に関連するリスクを多くの人が認識していないことが明らかになりました。交通が混雑する時間帯に窓を閉める、またはガスコンロをIHコンロに取り替えるといった、空気をきれいに保つ簡単な方法についての知見や情報をお客様と共有することで、家庭の健康度を高めるアイデアを提供できます。



## 大気汚染から新素材へ

インドのデリーでは大気汚染がひどく、呼吸するだけで1日にたばこを40本吸うのと同じほど害があります<sup>30</sup>。毎年10月から11月にかけて、農家が田んぼで小麦栽培の場所を確保するためにコメ収穫後の稻わらなどの残留物を燃やし、その煙がこの街を取り囲むからです。

南アジアのPurchasing & Logistics担当Sustainability Managerを務めるHelene Davidssonが燃えるわらを同僚とともに目にしたとき、次のような考えが浮かびました。「あの廃棄物が新製品用の資源にならないだろうか」

これに着想を得てHeleneが生み出したのが、FY19初めに始動予定の「Better Air Now」（よりよい空気を今すぐに）イニシアチブで、稻わらをイケアの製品づくりに利用できる新素材に変身させる方法を探るものでした。まずは2019～2020年にIKEA Retail Indiaでの販売開始を目標としており、うまくいけばその後ほかの市場に拡げる予定です。

「Better Air Now」イニシアチブは焼却による汚染を抑えるだけでなく、再生可能エネルギーの利用を増やすという私たちの目標に貢献し、稻わらの販売による追加収入を農家にもたらします。

プロジェクトではまず、世界でもっとも大気が汚染されている10都市のうち9都市がある北インドに焦点を当てますが、世界中のほかの汚染された巨大都市に展開する可能性もあります。私たちの目標は、企業、NGO、インド政府、サプライヤー、農家、国連、大学と連携し、稻わら焼却の廃絶に貢献することです。

## 製品輸送<sup>29</sup>

FY18中にイケアのビジネスで発生した温室効果ガス（GHG）の排出量全体の約3.9%が製品輸送によるものでした。出荷1回あたりのGHG排出量は2%減少しました。しかし、全体的なイケアビジネスの成長により、製品輸送による絶対的排出量は増加しました。2030戦略の排出削減目標を満たすために、IKEA Transport & Logistics Servicesは未来に向けたロードマップを作成しています。

ポイントは次のとおりです。

- すべての出荷をできる限り効率化することでクライメットフットプリントを削減します。
- 化石燃料を代替品に置き換えます。また、大型コンテナを使用して商品を輸送することで、輸送機関切り替え時の荷扱いの必要性がなくなるインターモーダル輸送の活用を高めます。
- これまでの方法を見直し、新しいテクノロジー、設備、パートナーシップを活用したイノベーションを導入します。新しい手法を見つけるためのイノベーションと協働により、脱炭素化輸送の実現に向けて前進します。

### 削減

可能であれば、イケアの商品開発者は輸送しやすい商品デザインを考案します（例：フラットな梱包や積み重ねが可能なデザイン）。出荷1回あたりの商品量が増えると、排出量は低減します。FY14以降、出荷1回あたりの商品輸送量は1.5m<sup>3</sup>増加し、FY18には8万3000回分の出荷を節約できました。

### 製品輸送 クライメットフットプリント（メガトンCO<sub>2</sub>）

FY16	1.0
FY17	0.9
FY18	1.1

中国南部に設けた新たな混載ポイントは輸送距離の低減に役立っています。この場所はサプライヤーに近く、商品は施設からまず電気トラックで、その後荷船で輸送されてきます。ディーゼルトラックを使用しないことにより年間650トンのCO<sub>2</sub>が削減されています。また、この混載ポイントではサプライヤーごとに異なるコンテナを使用する代わりに、1つのコンテナに商品をまとめることができ、ムダなスペースと不要な排出が削減されています。

### 置き換え

代替燃料はイケアの戦略に不可欠です。私たちは市場に変化をもたらし、長期的な影響を与えるために、ほかの企業と連携しています。

インドのプネー地域では、非食用の油脂でできたバイオディーゼル混合燃料を、2社の輸送業者が使用しています<sup>30</sup>。これが、インドの商用貨物輸送でバイオ燃料が使用された初めての事例です。アラブ首長国連邦（UAE）では、IKEA Transport & Logistics Servicesが輸送業者と連携し、貨物輸送に同様の燃料を使用する先駆けとなりました。IKEA Dubaiまでのすべての国内配送は、現在バイオディーゼル混合燃料でまかなわれています。

インターモーダル輸送<sup>31</sup>を使用すると、異なる輸送機関を組み合わせる場合でも貨物を容易に移動できます。これにより、大量輸送に適した鉄道や船舶などの輸送手段を使用しやすくなり、ディーゼルトラック輸送よりも温室効果ガスの排出を抑えることができます（同量の輸送で比較）。イケアはインターモーダル輸送を使用する割合を、継続的に増加させています。

### 見直し

イケアは2030年戦略における大きな目標達成のために、削減や代替に留まらず、より広い視野でアプローチを見直していきます。そして、新しいアイデアを柔軟に受け入れて、周りの人々と協力し合い、イノベーションにつなげます。

FY18には、アジア太平洋地域のサプライチェーンの持続可能な業務を促進するIKEA Transport & Logistics Servicesの取り組みが、Green Freight Asia（GFA）Ambassador Award（グリーンフレート・アジア・アンバサダーアワード）の受賞という形で認められました。さらに同社は、Green Freight Asia Label Achievement Award（グリーンフレー

ト・アジア・ラベルアチーブメントアワード）も受賞しています。これは、GFAメンバー企業の中で最大となる10カ国での業務に対してGFAラベルを獲得したことによるものです。

### 海上輸送

海上輸送は製品輸送に関わる排出量の約40%を占めています。航海速度を抑え、効率的なエンジンを備えた新型の大型船舶の登場により、徐々にコンテナからの排出量は削減されています。ただし、削減率の伸びは、現在停滞しています。

船舶の寿命は長いため、排出量がより少ない新しいテクノロジーのメリットを実感するまでには、長い年数を要します。このため、業界全体が長期的な改善を目指していくように、主導的な役割を果たすことが重要です。たとえば、イケアは、船舶からの排出量の削減方法を模索するClean Cargo Working Group（クリーン・カーゴ・ワーキング・グループ）のメンバーになっています。

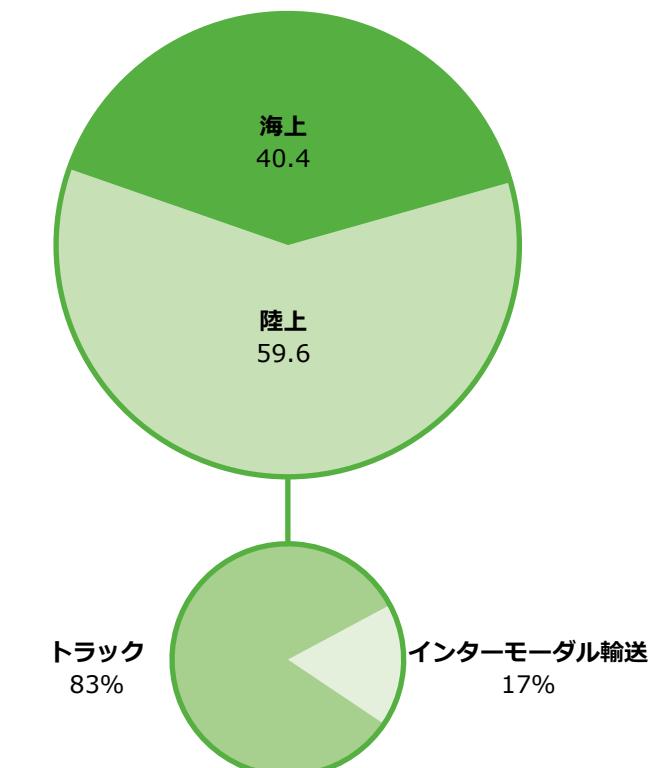
FY18には、イケアは新たなツールを導入し、イケア製品の輸送時に発生する排出量計算の精度を向上させました。輸送システムからデータが収集され、輸送された製品の重量、輸送距離、輸送機関、燃料の使用量をもとに排出量が計算されます。こうして把握された、より正確な値は、IKEA Transport & Logistics Serviceの脱炭素化ロードマップの分析と発展に役立ちます。

トラック運転手の労働条件改善について詳しくは、[46ページ](#)をご覧ください。

### IKEA TRANSPORT & LOGISTICS SERVICESで発生した温室効果ガスの排出量

製品輸送効率（1回あたりの出荷量）	FY17	FY18
1回の出荷で輸送される量の正味体積（立方メートル）	56.9	57.0
前年度と比較した1回あたりの出荷量（立方メートル）の増加率（%）	0.5	0.1
製品輸送効率（環境への影響）	FY17	FY18
製品の容量と輸送距離あたりのCO <sub>2</sub> 排出量（kg CO <sub>2</sub> /m <sup>3</sup> km）	0.0038	0.0037

### 温室効果ガス排出量に占める海上輸送と陸上輸送の割合 - FY18 (%)



29 IKEA Transport & Logistics Servicesはイケア製品の輸送（工場からディストリビューションセンター、また、ディストリビューションセンターから店舗まで）を担当する部門です。お客様への配達はフランチャイズ加盟企業が担当します。

30 バイオ燃料は食用には適さない廃油からできていることを示しています。

31 大型コンテナで製品を輸送すること。コンテナであれば、輸送機関が変わっても、コンテナ内部の商品の荷扱いは不要。

## お客さまやコワーカーの店舗への移動

お客さまやコワーカーの店舗への移動は、イケアの総クライメットフットプリントの15%を占めます。店舗のほとんどは郊外型であるため、必然的に車での来店が多くなります。イケアは新店舗の計画に際しては、必ず地元の公共交通機関による来店ルートを考慮します。また、イケアのフランチャイズ加盟企業も、お客さまの移動による環境への影響を減らすために、以下のこと取り組んでいます。

- 都市型店舗の開店とピックアップポイントの設置
- 配送サービスの改善
- 電気自動車の普及の提唱、店舗への充電ステーションの設置

FY18には、イケアの総店舗の65%以上に、電気自動車の充電ステーションの設置が完了しました。これらの店舗の75%はIngkaグループによって運営されています。FY18の主なハイライトは以下のとおりです。

- IKEA Retail Germany<sup>32</sup>は、自転車や人の手で引く新型のお客さま用配送トレーラーの試験利用を12店舗で開始しました。お客さまからの評判は上々です。使用者の93%にご満足いただけました。
- IKEA Retail UK<sup>32</sup>はコワーカーを対象にして、IKEA Nottinghamへの通勤に、環境に配慮した新しい移動方法を試すサステナブル移動キャンペーンを実施しました。

IKEA Industryのすべての施設は、コワーカーの要望に応じて、電気自動車の充電ステーションを設置できるよう努力しています。

<sup>32</sup> フランチャイズ加盟企業のIngkaグループが運営しています。

### お客さまやコワーカーの店舗への移動 クライメットフットプリント（メガトンCO<sub>2</sub>e）

FY16	4.0
FY17	4.0
FY18	4.0



## 配送

お客さまの自宅への配送は、イケアの各フランチャイズ加盟企業が担当しています。

電気自動車やほかのゼロ・エミッション車の普及に取り組むことは、お客さまへの商品配送におけるクライメットフットプリントを削減するために、きわめて重要です。フランチャイズ加盟企業であるIngkaグループは、お客さまへの商品配送で2025年までに完全なゼロ・エミッションを達成するため、全社を挙げて取り組む目標を設定しました。これは2020年までにアムステルダム、ロサンゼルス、ニューヨーク、パリ、上海などの主要都市で開始されます。Ingkaグループは、オーストラリア、中国、フランス、インドなど、さまざまな国々すでに電気自動車を使用しており、さらに多くのゼロ・エミッション車を多くの市場に導入する予定です。

やるべきことはまだたくさんあります。これを成し遂げるためには、社内外で協力関係を深めていく必要があるでしょう。2017年9月、Ingkaグループは電気自動車への完全転換の推進に取り組むグローバルイニシアティブ、EV100の創設メンバーとなりました。



### お客さまへの商品配送 クライメットフットプリント（メガトンCO<sub>2</sub>e）

FY16	0.09
FY17	0.11
FY18	0.13

## イケアのコミットメント

### 資源の再生、生態系の保護、生物多様性の向上

イケアは、資源効率を一段と高め、循環型のビジネスへ移行しています。とはいっても、製品や食品をつくるには原材料が必要です。私たちは信頼できる調達先から再生可能な素材を調達するために常に努力し、資源の再生、生態系の保護、生物多様性の向上に取り組むことによって、ポジティブな影響を与えていきます。

もっとも使用する資材（綿と木材）についての取り組みは、すでに大きく前進しています。イケアでは、使用するすべての綿花と85%の木材を、より持続可能な調達先から仕入れています<sup>33</sup>。私たちは、責任ある調達をイケアのビジネスの内外における規範とするために、環境、社会、動物福祉などの基準を策定し、すべての原材料に関して責任ある調達計画の改善に常に取り組んでいます。

イケアは、森林ポジティブおよびウォーター・ポジティブになることを目指して重点的に取り組んでいます。どちらの資源も、イケアのビジネスと環境にとって不可欠です。私たちは、自らの経験と自社のサプライチェーンにとどまらないグローバルな影響力を活用することによって、地球環境の向上に主導的な役割を果たすことができます。



### 森林ポジティブになる

木材は、再生可能でリサイクル可能な、耐久性に優れた美しい素材です。イケアで使用している原材料の中で一番多いのは木材です。FY18の使用量は、丸太換算で1800万m<sup>3</sup> (RWE) でした。

イケアの規模を考えると、大きな違いを生み出すことができるといえます。自社のニーズを超えた貢献により、業界全体を変革し、責任ある森林管理が規範となることを目指しています。森林は生態系と生物多様性を維持し、炭素排出の影響を和らげ、多くの人々にとって雨風から身を守る場所となり、生活を支えてくれます。そのため、イケアの森林保護支援はきわめて重要です。

#### より少ないものから、より多くを生み出す

私たちは、資源を有効活用し、製材の廃棄物が最小限となる製品デザインを心がけ、より少ないものから、より多くを生み出しています。FY18にイケアで使用した木材の量（紙を含む）は、ビジネスの成長により150万m<sup>3</sup> (RWE) 増加しました。

イケアの循環型ビジネスへの移行の一環として、製品に使用するリサイクル素材の割合を増やす試みについては、[22~24ページをご覧ください](#)。

#### イケア製品に使用した木材の合計量 (万m<sup>3</sup> 丸太換算)

FY15	16.1
FY16	15.8
FY17	16.5
FY18	18.0

<sup>33</sup> より持続可能な調達先から仕入れた木材の例：Forest Stewardship Council™の認定品、またはリサイクル木材。より持続可能な調達先から仕入れた綿花の例：Better Cotton (ベター・コットン) の栽培基準をすでに達成したか、達成に向けて取り組んでいる農家の綿花や、米国のかの栽培基準（「e3 Cotton Program」など）を満たした綿花、リサイクルコットン。

## より持続可能な調達先の確保

イケア製品で使用されるすべての木材は、イケアのIWAY森林管理基準に従って調達されています。この基準では、イケアのサプライヤーに対して、環境的・社会的な最低要件を定めています。これには各地域の法の遵守も含まれます。FY18には、IWAY森林管理基準が更新され、紙をベースとした素材や工業的用途以外に使用する竹、籐、木材・プラスチック複合材も対象となりました。IWAYについて詳しくは、[46~47ページ](#)をご覧ください。さらに、私たちはForest Stewardship Council™ (FSC™) の認証品やリサイクル木材などを供給する、より持続可能な調達先からのみ木材を入れることを目標としています。FY18には、こうした調達先からの木材調達が、FY17の77%から85%に増加しましたこれを可能にしたのは、サプライヤーやサプライヤーの仕入先との連携、WWF（世界自然保護基金）やFSC（森林管理協議会）などの長期にわたるパートナーシップです。イケアの木材調達に約23%の割合を占める、よりリスクが高い国々においては、すべての木材をより持続可能な調達先から入れる必要があります。イケアのほぼすべてのサプライヤーは、FSCのチェーン・オブ・カスタディー（管理の連鎖、CoC）認証を受けており、イケアはまだ認証されていない企業に対して取得を奨励しています。私たちは、サプライヤーが基準に従っているかを確認する監査を実施しています。イケアはFY18に、European Union Timber Regulation (EU木材規制、EUTR) による監査に再度合格しました。

FY18には、中国のあるサプライヤーがIWAY森林管理基準に違反し、ロシアのよりサステナブルな調達先（FSC認証木材以外を使用）から木材を調達していなかつたことが判明しました。ただし、このサプライヤーはイケアの「IWAY Must」（IWAY必須要件）には準拠していました。つまり、保全価値の高い森林、自然林への転用地、遺伝子組み換え作物の存在する森林、または社会的対立のある地域の森林から、木材が違法に調達されていたわけではありません。私たちはイケアの作業手順に従い、問題を調査する間、出荷を停止して追加のサプライヤー監査とサプライチェーン監査を実施しました。是正措置が取られたあと、製品の販売続行が決定しました。それまでに出荷した製品による利益は、持続可能な森林管理のためのプロジェクトに使用することを、サプライヤーとイケアの間で合意しました。私たちは現在、これにふさわしいプロジェクトとパートナーシップをロシアで探しています。

森林ポジティブになるということは、自社のバリューチェーンの範囲を超えた取り組みを行うということです。イケアは調達先の国々すでに、FSC認証木材を調達する限界に達しています。2020年に向けた目標を達成するために、イケアは小規模な森林の所有者にも認証を取得しやすくして、認証森林を増やす取り組みを行っています。

私たちはWWFと連携し、15カ国に及ぶ9つの森林プロジェクトにおいて、違法伐採を防止し、責任ある森林管理を促進しています。パートナーシップについて詳しくは、[こちら](#)をご覧ください。FY18に、私たちは10年にわたるプロジェクトを完了し、保全価値が高いロシアの森林について、誰でも閲覧可能なデータベースを作成しました。この地域の森林の特定は完了したため、FSCの基準に沿った森林保護や管理が確実になされるようにパートナーと協力して取り組むことができます。詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

### より持続可能な調達先から仕入れた木材の割合 (調達した木材全体に対する割合を%で表示)

FY15	50
FY16	61
FY17	77
FY18	85

### イケアの木材サプライチェーン監査

FSCのCoC認証	FY18
FSCのCoC（チェーン・オブ・カスタディー）認証を受けているイケアのサプライヤー (%)	81
FSCのCoC（チェーン・オブ・カスタディー）認証を受けているサプライヤーから仕入れた木材の総量 (%)	99
IWAY森林管理基準監査	FY18
イケアによる監査数（IWAY森林管理基準監査と、イケア木材サプライチェーン監査）	212
イケアの森林管理基準への準拠を確認する監査に適合となった木材の量 (%)	99

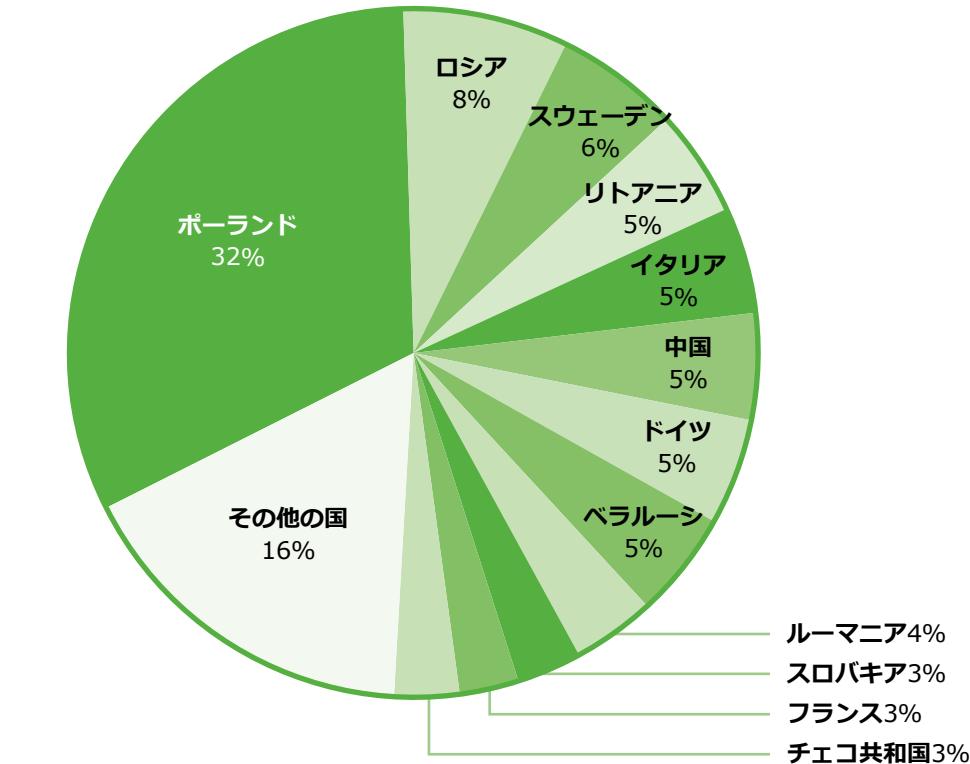
## 紙とパッケージ

イケアのビジネス全体で紙材が最も大量に使用されるのは、パッケージ資材です。私たちは、紙材を持続可能な方法で調達することに力を入れています。イケアの紙材パッケージの約75%はリサイクル素材でできていますが、イケアが使用するバージン繊維は必ずFSC認証を受けたものにしたいと考えています。私たちは段ボールの大部分を、より持続可能な調達の基準を満たすものに転換しました。ま

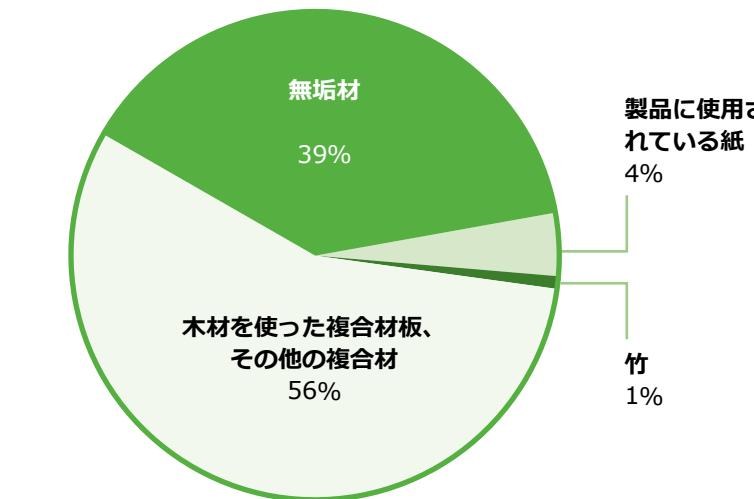
た、サプライヤーに定期的な報告を要請することで、より持続可能な調達先からパッケージを仕入れるという目標への成果を、随時確認しています。私たちの目標は、2020年までに紙材パッケージをより持続可能な調達先からの仕入れのみでまかなうことです。

### 木材の調達先国 - FY18 (調達木材全体に対する割合を%で表示)

小数点以下は四捨五入



### 調達木材の種類 - FY18 (%)



The mark of  
responsible forestry

## FSCの効果を伝える

FSC認証森林を増やすためには、企業や森林所有者がFSC認証のメリットを理解することが不可欠です。イケアはFY18に、ISEAL、テトラパック、キングフィッシャーなどと共同で、FY14に開始されたValue and Impacts Analysis（価値と影響分析、VIA）プロジェクトを完了しました。このプロジェクトを通して、イケアはFSCやほかの認証基準の効果をより正確に評価し、伝えるためのモデルを確立しました。これにより、FSCの成功を伝えるためのキーメッセージを見つけだすことができました。詳しくは[こちら](#)をご覧ください。

## 小規模森林所有者や個人の森林所有者をイケアのサプライチェーンに含める

小規模森林所有者は、イケアで使用するさまざまな種類の木や、竹・籐などその他の素材の重要な調達先です。FSC認証は手続きが複雑で、費用もかかり、取得メリットや認証プロセスについて知られないこともあります。小規模森林はこれまで、FSC認証取得の対象とはほとんど考えられていませんでした。私たちはこのような障壁を取り除き、より多くの小規模森林所有者や個人の中規模森林所有者に認



証取得を働きかけ、FSC認証素材の量を増やしています（右側の緑色のボックスをご覧ください）。

FY18に、私たちはFSCとの新たなパートナーシップを開始しました。これは小規模森林の認証プログラムに対してFSCが取る新しいアプローチの一環です。このパートナーシップの目的は、FSCの膨大な知識と経験を活かして、こうした極めて重要なサプライヤーグループにとってFSC認証をより身近なものにすることです。私たちは今も、タイでのWWFとの連携やインドネシアでのレインフォレスト・アライアンスとの連携など、小規模農場所有者の慣習を改善するためのパートナーシップを行っています。そこから得た経験を、アジアにおけるこの新しいアプローチの発展に活かしています。

ポルトガルでは、Forestis（個人の森林所有者連盟）や、産業パートナーのSonae Arauco、WWFと連携し、森林管理の慣習を改善し、海岸松を育てる個人の森林所有者がFSC認証を取得するサポートを行っています。



## リトアニアにおける個人の土地所有者の認証

「FSC認証を取得すれば、森林をより持続可能な方法で管理でき、私の木材をより多くのバイヤーに販売できる」とはわかっていました。この5年間、認証取得を目指していましたが、費用も時間も余計にかかることが常に大きな障壁となっていました」リトアニアで、2,286ヘクタールの森林を個人で所有するAndrius Bajorūnas氏は、次のように述べています。

同じことは、リトアニアの森林を個人で所有する人の多くに当てはまります。リトアニアの森林の約半分は個人が所有しており、イケアはFY18に、リトアニアの個人所有者から合計107万m<sup>3</sup> (RWE) を調達しました。このため、集団で森林を管理する仕組み (VšĮ Darnūs Miškai : 公的企業・持続可能な森林) の確立を目的とし、私たちはリトアニアのサプライヤーたちと提携しました。FSCがこのような集団を導入し、認証プロセスの簡素化と小規模森林所有者の費用負担軽減を図ったことは過去にもあります。リトアニアにおいて、これほどの規模で実施するのは初めてです。リトアニアの個人所有者集団はメンバーの所有する森林の内部監査を行い、その後に、FSC認証機関が年に一度、この集団の森林のサンプルを監査します。

FY18の終わりまでに、114人のメンバーが所有する4万7102ヘクタールの森林が、この集団の所有する森林の1つとしてFSC認証を取得しています。Andrius氏のような森林

所有者はそのメリットを感じています。

「VšĮ Darnūs Miškaiのサポートのおかげで、森林認証を取得しやすくなりました。認証木材への需要はとても高いため、販売も容易になります。買取価格を上げてくれる企業もいるでしょう」とAndrius氏は説明します。

しかし、まだ課題も残っています。森林所有者は枯れ木をそのまま残し、多くの木々を保存して、生物多様性を保護する必要があります。これは、たとえ国の法律で規定されていない場合でも必要です。また、森林が広大な自然環境に面している場合、森林所有者は緩衝地帯として細長く森林を残し、土壤、空気、水質の保護に努める必要があります。FSC認証を取得せずに木材を売ることもできます。しかし、Andrius氏はこうも言っています。「市場でのFSC認証木材の需要は、今後増加する一方でしょう」

VšĮ Darnūs Miškaiのメンバーに、イケアのビジネスに木材を供給する義務はありません。しかし私たちは、彼らの認証木材がいくらかでも、イケアのサプライチェーンに届くことを期待しています。これは、イケアに直接関係するサプライチェーンにとどまらず業界全体の森林管理を改善するという、イケアの森林ポジティブアプローチの一環です。

## 綿花

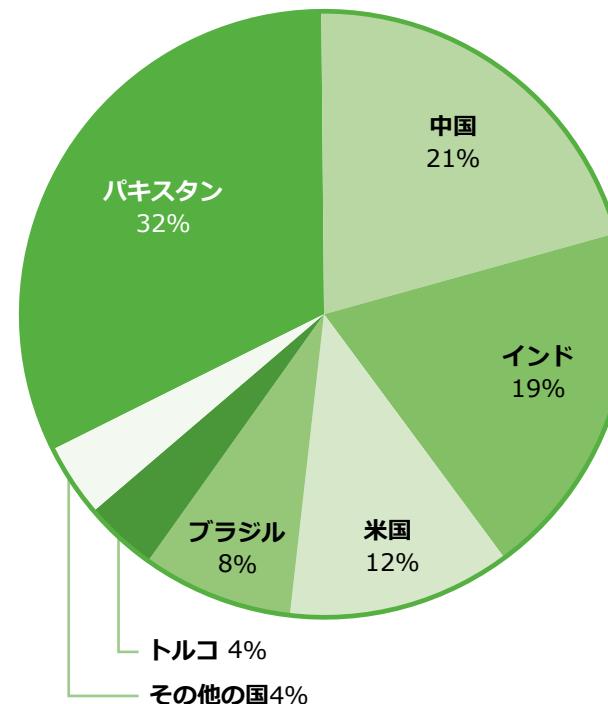
FY16以降、イケアは製品に使用するすべての綿花をより持続可能な調達先から仕入れており<sup>34</sup>、農家の暮らし、生産、収入の向上と環境への悪影響の軽減に貢献しています。イケアのFY18の綿花使用量は、世界の綿花総供給量の約0.7%<sup>35</sup>を占める15万5000トンでした。私たちは自社のバリューチェーンにとどまらずに関係者と協力し合うことで、綿花の栽培と生産に関して、業界を変革する大きな機会を得ています。

イケアは、綿花の生産者、栽培環境、業界の未来のために世界の綿花生産の改善を目指すベター・コットン・イニシアティブ（BCI）の創設メンバーです。私たちは、2020年までに全世界における綿花生産全体の30%をベター・コットンにするというBCIの目標を全力で応援しています。また、ベター・コットンの基準にとどまらず、さらに上を目指し、積極的に取り組みを進めるつもりです。

イケアはサプライヤーと下請けサプライヤーに、持続可能な綿花の基準、それを満たすための作業手順、綿のバリューチェーン全体の監査について教育しています。FY18には、25名の内部監査人にトレーニングを行い、イケアの綿のバリューチェーンで50件を超える監査を実施しました。イケアは知識の共有とコラボレーションを促進しています。たとえば、FY16以降、テキスタイルのサプライヤーをインドやパキスタンの綿花栽培地の視察に案内して、農家の人々に実際に話を聞き、彼らの抱える問題点を知る機会を設けています。

気候変動の影響で、干ばつが続いたり、雨期が短くなったりと、天候パターンが変化しています。これにより、綿花生産は多大な影響を受けています。私たちは農業についての研究を支援し、農家と協力して新たなシステムと適応プロセスを開発し、新技術を導入しています。イケアはWWF、Indian Agriculture Research Centre（インド農業研究センター）、Agriculture Science Centre（農業科学センター、インド）、Central Cotton Research Institute（中央綿研究所、パキスタン）とともに、水不足、生物多様性の向上、農業廃棄物管理といった課題への解決策に取り組んでいます。また、私たちは干ばつに強い綿花についても研究しており、「農場から綿繰り機までの段階（廃棄物やその他の物質による汚染がたびたび起きるバリューチェーンの工程）」における、綿纖維の品質の改善および品質維持に取り組んでいます。

**綿花の調達先 - FY18**  
(調達した綿花全体に対する割合を%で表示)



**より持続可能な調達先から仕入れた綿の割合**  
(調達した綿全体に対する割合を%で表示)

FY15	94.5
FY16	100
FY17	100
FY18	100
目標値	100

イケアは、バージンコットンの代わりに、可能な限りリサイクル素材を使用することを目指しています。FY18に、イケアで使用した綿の15%は、リサイクル素材です。私たちは、機能性や品質、製品の肌ざわりに妥協することなく、リサイクル素材の使用を増やす方法を常に模索しています。現在、サプライヤーとともに、リサイクルコットンとバージンコットン、その他の素材の混紡素材を試しているところです。新しいテキスタイル開発を目指すイケアの取り組みに

については、23~24ページをご覧ください。

私たちはパキスタンでの「ワタの実から綿（こり）まで」プロジェクトを通じて、収穫、出荷、保管、輸送などからなる綿のサプライチェーンの全体像を明確に描く取り組みを行っています。これにより、この地域の綿は各段階で発生する廃棄や汚染が少なく、より持続可能な方法で生産された、品質の高いものとなっています。

### テクノロジーを活用して農業慣習を改善する

イケアのビジネスでは、長年にわたりWWFと提携し、インドやパキスタンの綿花農家にトレーニングやサポートを行っています。このパートナーシップは現在、農業が抱える課題に取り組み、慣習を改善するための技術革新に重点を置いています。

- マハーラーシュトラ州のジャールナー地方で、イケアは60の村の6,500人の綿花農家に対して、水不足問題を乗り切るための支援を行いました。この取り組みでは遠隔感知技術とジオタギング技術を使用し、作物に水をやるタイミングや水やりの適量はどのくらいかといった情報を、農家に提供しています。これによって、過度な灌漑を防止し、水が不足しがちな地域で貴重な資源を保護します。
- FY17に、イケアはインドのグジャラート州政府傘下のGujarat Green Revolution Company（グジャラートグリーンレボリューション会社、GGRC）とともに、Cotton Doctor App（コットンドクターアプリ）を開癡しました。このアプリは、グジャラートの農家が最大限効率のよい綿花栽培ができるよう支援するもので、最新の天気情報を配信し、綿花栽培において農家が情報に基づいた決定ができるようにします。アプリのリリースから1年がたち、約6万人の農家がアプリを使用可能な状態となり、トレーニングや経験の共有のために会合を持っています。イケアは、専門家と農家が出席する会合をより頻繁に開催し、詳しいデータを集め、より一層正確なアドバイスを提供することを目標としています。

「以前は、ただやみくもに、苗木に農薬をまいていました。お店の人のアドバイスもあって、入手できる中でもっとも強力な農薬を使っていました。今では、気象条件などの環境についての情報はアプリが配信してくれます。この情報を基に、水やりをしているんです。綿花栽培のさまざまな段階



で、それぞれどのような手入れが必要なのかを学びました。スマートフォンのアラート、もっと水やりが必要だとか、あまり水をやってはいけないとか、最後の手段として農薬が必要だなどを教えてくれます」カシャンプール村の綿花農家のGopal Bhai Patelさんは、このように述べています。

<sup>34</sup> リサイクルコットン（15%）、ベター・コットン・イニシアティブ（BCI）基準に基づいて栽培された綿花（80%）、その基準の遵守に向けて取り組む農家の綿花、米国のほかの基準（「e3 Cotton Program」など）に基づいて栽培された持続可能な綿花（5%）などを指します。

<sup>35</sup> 国際綿花諮問委員会のレポートのデータを基にした計算。

# 水

イケアはウォーター・ポジティブになることを目指しており、水を大切にし、賢く水を活かし、自社の業務とサプライチェーンの中で、きれいな水をより多く使用できるように努めています。私たちは水を効率的に使用し、少なくとも使用前と同じくらいきれいな状態で水を排出できるよう取り組んでいます。また、お客様が水の使用量を減らせるように、革新的で手ごろな製品を開発し、その使用を推進しています（詳しくは14ページをご覧ください）。さらに、関係者と協力し合い、多くの人々やコミュニティが持続可能なきれいな飲料水を利用できる状態をつくりだしています。

ウォーター・スチュワードシップ（責任ある水管理）に対して、イケアのビジネス全体で取られている共通のアプローチがあります。これは、イケアのさまざまな部門のリーダーで構成されるWater Working Groupが推進しています。WWFはいくつかのプロジェクトにおけるパートナーです。ウォーター・スチュワードシップに対するイケアのアプローチは、以下に記載する「WWFのウォーター・スチュワードシップにおける5つのステップ」に沿っています。

- 水の現状について認識を促す。**淡水への依存、水に関連した危機に直面していることなど、水に関して世界が抱える課題を理解する。

- 影響を知る。**イケアのバリューチェーンが河川流域と水源に与える影響を理解する。

- 会社の中で行動を起こす。**水の使用を最適化し、水質や水量について報告するための行動を起こす。

- 集団で行動を起こす。**周囲と協力し合い、知識を共有し、共通の解決策を見つける。

- ガバナンスに影響を及ぼす。**イケアのビジネスの影響力を利用し、さまざまなプラットフォームを通じて、より持続可能な水管理を提唱する。

## IKEA Industry

FY18に、IKEA Industryの水使用量は増加しました。これは主として、以下の2つの要因によるものです。

- 少なくとも1つの工場において測定値の改善があったため。過去の推定値が実際の使用水量よりも大幅に低かったことが判明した結果、値を差し替えたことによる。

- 板材部門が需要に対応するためにフル稼働

IKEA Industryの施設の40%はすでに、水ストレスが中から高のレベルに位置しています。これは、民間企業、

### イケアのユニット別水使用量 (m<sup>3</sup>)

	FY15	FY16	FY17	FY18
<b>IKEA Industry</b>	1,494,951	1,480,354	1,597,197	1,895,343
<b>IKEA Components</b>	8,010	9,331	17,044	16,075 <sup>36</sup>
購買	25,692,285	24,904,176	23,331,230	25,177,868
リテール業務	-	-	-	6,009,125 <sup>37</sup> (フランチャイズ加盟企業のIngkaグループのみ)
<b>合計</b>	<b>33,172,052</b>	<b>32,895,810</b>	<b>31,474,345</b>	<b>33,098,411</b>

農家、コミュニティによる過剰使用、その土地の環境や気候の状態などが原因です。気候変動によってこの状態は悪化しているため、節水して未来の水供給を確保するために、賢い解決策が必要です。

IKEA Industryの水管理マニュアルでは、さまざまな種類の給水源や廃水についての社内要件と情報を記載しており、水の使用や再使用方法、処理施設や外部処理業者に引き渡す前の廃水のリサイクル方法などの例も紹介しています。このマニュアルのウォーター・ポジティブマトリックスでは、ウォーター・スチュワードシップを向上させるために、各施設のあらゆるエリアで取るべき具体的な行動を定めています。

IKEA Industryのすべての施設にとっての目標は、FY25の終わりまでにこれらの行動を成し遂げることです。IKEA Industryは今後この目標を達成するために、社内の研修や情報共有、新たに建設するすべての建物に対する最低基準（雨水貯留や排水使用など）の設定を行います。また、地方自治体、NGO、水道会社と技術を共有し、協力して、地域の水循環と生物多様性をサポートします。

あるパーティクルボード工場は、雨水を貯めて工場内のガス処理システムで活用する技術に投資し、水道水の使用量を減らしました。スロバキアで、IKEA Industryは複数の地元NGOとともに、雨水の管理方法の改善に取り組んでおり、これは人口湿地での地下水の涵養（かんよう）と洪水の防止に役立っています。

### サプライチェーンの中でウォーター・スチュワードシップを促進する

水資源保護への責任を負うということは、単に自社の業務で水効率を改善することではありません。私たちは、バリューチェーン全体で、サプライヤーが水資源保護への責任を負うことができるようサポートをします。

たな建設や、データ報告の精度の向上、北半球の温暖化といった外部要因などが挙げられます。

## 海洋プラスチック

イケアはFY18に、海洋プラスチックの原因と影響、およびイケアのビジネスが果たせる役割について調査しました。私たちは、2020年までにイケアの商品展開と食品販売から使い捨てプラスチックを一掃する試みを率先して行い、重点的に取り組んでいます（23ページをご覧ください）。FY19の初めには、イケアはNextWaveに参加します。NextWaveは複数の企業が一致団結し、プラスチックが河川や海洋に流れ込む前に何か役立つ物に変え、有効活用する方法を模索するイニシアチブです。これにより、プラスチックが海洋に流れ込むのを食い止めることができます。さらに、リサイクル素材の供給増加が見込めます。同時に、世界の海洋で魚よりもプラスチックの数が多いという現状を、2050年までに変えることができるはずです<sup>38</sup>。

## 活動の推進

イケアのバリューチェーンの枠を超えてよりよいウォーター・スチュワードシップを主張することは、2030年までにウォーター・ポジティブになるために不可欠です。私たちはあらゆる機会を活用して、関係者と協力し合い、水資源保護への責任を負う方法について、今までに培った知識や経験を共有しています。FY18に、Inter IKEAグループはWorld Water Week（ワールドウォーターウィーク）で2年続けて発表を行い、企業に対して水問題への対応を呼びかけ、また、海洋プラスチックのパネルにも参加しました。2018年のイベントテーマは「水の生態系と人類の発展」でした。

- 冷却水の再利用
- 水効率やエネルギー効率に優れた機械の設置
- 廃水からの熱回収
- 染色と前処理段階での過酸化水素の除去と苛性ソーダの削減

この提携によって2017年には、7万5027m<sup>3</sup>の水、66万8992kWhの電気、1万2335トンの蒸気、1,030トンの化学物質を節約しました。

## リテール

FY18の間、フランチャイズ加盟企業であるIngkaグループは、現在と将来において水不足となるエリアの拠点を優先し、利用可能な最高の技術とテクノロジーを駆使して、雨水や再生水を可能な限り利用する取り組みを継続しました。水の使用量は絶対的にも相対的にも増加しました。その原因としては、使用水量の多い国への事業展開による新

<sup>36</sup> スロバキアと中国、2つのイケアの部品製造ユニットを対象としています。

<sup>37</sup> リテールには、ショッピングセンター内にあるIngkaグループのリテールストアは含まれません。

<sup>38</sup> <https://www.ellenmacarthurfoundation.org/publications/the-new-plastics-economy-rethinking-the-future-of-plastics-catalysing-action>

## 食品

FY18のIKEA Foodの商品展開は、約半分がIKEA Foodによりグローバルで一括して調達した品でした。残りの約半分は、イケアのフランチャイズ加盟企業が、責任ある調達に対するイケアのコミットメントに従って、個別に調達したものです。私たちは食品の材料調達の際には、人権、環境への影響、動物福祉を重視しており、直接のサプライヤーのみでなくさらに広い範囲を対象にして、調達する動物への飼料も持続可能な方法で生産されているかどうかの確認を開始しました。

食肉の生産は土地および資源に集約的になりがちであり、世界の温室効果ガス排出の一因となっています。責任ある材料調達を行い、クライメットポジティブになり、より健康的で持続可能な食品の選択肢を提供するというイケアの取り組みの一環として、私たちは植物性の食品の品ぞろえを引き続き増やしていきます。FY18に販売開始したベジドッグがその一例です。[15ページをご覧ください。](#)

### 大豆

大豆はたんぱく質に富んだ植物性の食物源であり、主として動物用飼料に使われています。しかし、特にアマゾンの熱帯雨林や南アメリカの熱帯サバンナ地域セラードのような地域では、大豆は森林伐採と関係しています。

イケアが使用する大豆のほとんどは動物用飼料ですが、これには以下の3つの課題が挙げられます。

- 分離方式で栽培された認証大豆は、まだすべての国で入手できるわけではありません。
- 食品サプライチェーン全体で使用される大豆の量を特定することは困難であり、多くは大体の推定値に頼らざるを得ません。
- 豚肉、牛肉、乳製品などのより複雑なサプライチェーンでは、動物用飼料に含まれる大豆の流通経路をたどるのは非常に難しく、牧場主が使用する飼料の種類にまで影響を及ぼすことは困難な場合もあります。

このような状況にもかかわらず、イケアは前進しています。FY18には、持続可能な大豆の生産をサポートするために、大豆についてのイケアの見解や立場をまとめました。私たちは乳製品のサプライチェーンと食肉のサプライチェーンで必要な大豆のフットプリントの推定値計算を完了しており、今後は、責任ある

大豆に関する円卓会議（RTRS）による認証表記大豆を購入することで、より持続可能な調達先からの仕入れを継続していきます。牧場レベルでサプライヤーと関わりを持ち、また、大豆業界のいたる所で直接のユーザーや間接的なユーザーと連携することによって、イケアが自社のビジネスの枠を超えてさらに広い範囲で影響を及ぼすことが可能になります。

2017年10月に、イケアはほかの企業やNGOとともに、ブラジルのセラードの森林伐採と在来種の植物の喪失を食い止めることを目標にしたセラード・マニフェストへの支援を表明する手紙に署名しました。支援を表明することで、その地域においてより活発な農業と土地計画の実践を促進することを目指します。

#### 責任ある大豆に関する円卓会議（RTRS）の表記

養殖サーモンの飼料に使用されるすべての大豆は、より持続可能であると認証されています。その他の大豆のサプライチェーンについては、まだすべてのリスクを特定できていないため、イケアはRTRS認証クレジットの購入を開始します。これは、イケアが使用する大豆と同量の大豆の持続可能な生産に貢献できるということです。

### ココア、コーヒー、紅茶

イケアは社会と環境に配慮しながらつくられた製品を、手ごろな価格で提供したいと考えています。イケアはさまざまな認証を使用しており、UTZ認証やオーガニック認証もその一部です。

■ UTZ認証は、生産者がよりよい農業慣習と農業管理を実施するサポートをしています。通常、認証を受けることで農家の収穫高は上がり、収入が増えて生活状況が改善されると同時に、環境も保護できます。

■ オーガニック農法とは、水、土壤、空気といった天然資源に配慮した農法です。この農法は農場の生物多様性を支え、環境への悪影響を減らします。

これらはイケアのココア、コーヒー、紅茶の商品展開に使用されています。

■ ココア：セグリゲーション（分離方式）またはマスバランス（管理混合方式）による100%UTZ認証ココア。イケアブランドの板チョコやKAFFEREP/カッフェレプシリーズのビスケットやペストリーの材料として使用されています。

■ 紅茶：イケアの紅茶製品の96%は現在、広く認められている複数のサステナビリティ認証に従って調達されています。イケアはFY18にEGENTID/エーゲンティードを販売開始しました。これは高品質の茶葉のシリーズで、UTZ認証品またはUTZ認証とUnion for Ethical BioTrade（倫理的バイオトレード・ユニオン、UEBT）認証の両方を受けた品を展開しています。また、紅茶製品の中には、EUの基準に準拠してオーガニック農法で栽培した製品もあります。FY19中には、EGENTID/エーゲンティードと同様のサステナビリティ認証を持つティーバッグを販売する予定です。

■ コーヒー：イケアで取り扱うすべてのコーヒーのうち、98%がUTZ認証品であり、残りも認証品にできるよう取り組んでいます。PÅTÅR/ポートールコーヒーはすべてUTZ認証品であり、EUの基準に準拠したオーガニック認証も受けています。基準に従うということは、コーヒー豆の生産者と栽培環境の両方に對して高い基準を守ることができるということを意味します。FY18に、私たちはウガンダのホワイトナイル地域の社会的企業と手を組み、PÅTÅR/ポートールコーヒーのスペシャルエディションの販売を開始しました。この製品や、社会起業家とのその他のパートナーシップについて詳しくは、[55~56ページをご覧ください。](#)

### 魚介類とシーフード

イケアは、自分たちが魚介類とシーフードを調達することによって魚種資源の枯渇につながることがないように取り組んでおり、水産養殖管理協議会（ASC）または海洋管理協議会（MSC）によって認証され、イケアストアまでの完全なチェーン・オブ・カスタディー（CoC）認証を受けた魚介類とシーフードのみを調達するよう努力しています。イケアの魚介類とシーフードの約94%は、MSCまたはASCの認証を受けています。



### SMAKRIK/スマーカリーク

夏の間、アブラナを栽培する南スウェーデンの多くの畠は黄色に色づきます<sup>39</sup>。この伝統的な作物を、イケアの新しいオーガニックオイルの商品展開「SMAKRIK/スマーカリーク」（スウェーデン語で「おいしい」という意味）に使用しました。

SMAKRIK/スマーカリーク 菜種油はすべて、機械で圧搾されてろ過されています。この製品には一切化学物質を使用していません。残った菜種は家畜の飼料として使われています。

揚げ物や炒め物用のオイルと、3種類のフレーバー（タイム、ワイルドガーリック、ディル）の低温圧搾オイルで商品展開しています。低温圧搾してつくられた菜種油はオメガ3<sup>40</sup>と良質の脂質<sup>41</sup>に富んでいるため、この新しい商品展開は健康的な選択肢と言えます。

より健康的な暮らしの実現のためにイケアがどのようにインスピレーションを与えていたかについては、[13~15ページをご覧ください](#)。また、Smakrik/スマーカリークについて詳しくは、[こちらから動画をご覧ください](#)。

<sup>39</sup> 菜種油はキャノーラオイルとしても知られています。

<sup>40</sup> SMAKRIK/スマーカリークには、10mlあたり0.68gのオメガ3が含まれています。オメガ3を1日2g摂取すると、正常な血中コレステロールレベルの維持につながります。

<sup>41</sup> SMAKRIK/スマーカリークは不飽和脂肪酸に富むオイルです。飽和脂肪酸ではなく不飽和脂肪酸を食事で摂取することで、正常な血中コレステロールレベルの維持につながります。

## 動物福祉

動物福祉の向上への取り組みは、動物の身体的および精神的な健康の両方に注目し、動物の自然な行動を可能にするものでなければならぬとイケアは考えています。このことは、動物の一生のあらゆる段階とサプライチェーンの全ポイント（牧場、輸送、食肉解体）に当てはまります。私たちは、自社のサプライチェーンの中で使用する主要な動物種に対する動物福祉の基準の作成と導入への取り組みを、今後も続けていきます。

クローン作成、強制給餌、生きたまま毛をむしり取ること、ミュールシング<sup>42</sup>といった慣習は、イケアのサプライチェーンの中ではすでに禁止されています。イケアはその他の分野でも取り組みを進めており、すべての動物種に対して、以下の慣習を2025年までに段階的になくしていくことを目指しています。

- 極度に狭い場所での飼育（動物の身体的ニーズや行動的ニーズを制限するほどの飼育密度、または飼育力ゴヤおりといった環境）
- 日常的に体に変形を加えること
- 抗生物質の常用
- 成長促進剤の使用

私たちはNGOと力を合わせながら、サプライヤー、社内外の専門家、マルチステークホルダーフォーラムなどと緊密に連携し、イケアのサプライチェーンの枠組みを超えた広い範囲で慣習の改善に取り組んでいます。

- イケアはGlobal Coalition for Animal Welfare（動物福祉のためのグローバル連合、GCAW）の創設メンバーです。
- イケアはFood Animal Initiative（食用動物イニシアティブ、FAI）と連携しています。
- イケアはCompassion in World Farming（世界の畜産業に思いやりを持とう）やWorld Animal Protection（世界動物保護）と意見交換をしています。
- イケアはResponsible Wool Standard（責任あるウールの基準）の諮問グループです。

## 牛肉、豚肉、鶏肉、卵、乳製品

私たちは、イケアの食品サプライチェーンにおける主要な各動物種を対象とした「ベター・プログラム」の作成と導入を進めています（肉牛、食用ブロイ

ラー、乳牛、産卵鶏、豚、鯉）。ベター・プログラムは各動物種に特化した内容であり、動物福祉に関するより一般的な基準（サプライヤーの行動規範「IWAY」の一部が改訂される）によって補完されます。詳しくは47ページをご覧ください。イケアが使用する動物福祉の基準はすべて、Five Provisions（5つの条項）とWelfare Aims（福祉目標）<sup>43</sup>を指針としています。これらは動物福祉についての原則であり、動物がネガティブな感情や体験を持った状態になることを最小限にし、ポジティブな感情や体験を促すことに重点を置いています。

私たちはFY18に、ベター・チキンプログラムを公表しました。このプログラムには、ロードマップとタイムラインも含まれています。FY19からは、ほかの動物種を対象としたベター・プログラムのロードマップを発表する予定です。

FY18の卵と液状卵の調達では、フランチャイズ加盟企業はイケアの産卵鶏に関するコミットメントに沿って、放し飼いや平飼いで鶏を飼育する調達先から全体の89%を仕入れました（目標は100%）。イケアは卵を材料とする製品の調査を進め、放し飼いや平飼いで鶏を飼育する調達先への完全な移行を目指しています。

## ダウンとフェザー

イケアでは、KORNVALLMO/コルンヴァッルモ 枕やHÖNSBÄR/ホーンスベール 掛け布団などの布団製品の中素材に、ダウンやフェザーを使用しています。グースフェザーのサプライチェーンでは、生きたまま毛をむしり取る行為が発生する危険がより高いため、イケアはダックフェザーのみを使用しています。イケアが調達するダックフェザーは、Duck Food Industry製です。

このきわめて重要なサプライチェーン全体で動物福祉を徹底し、IWAYへの準拠を確実にするために、また、労働、安全、環境保護全体への社会的要件に対応できるように、私たちはダック牧場、輸送、食肉解体場に関する要件を改定しました。FY16からFY18の間には、中国のサプライチェーン全体で、牧場レベルに至るまで監査を実施しました。

## 革

イケアはホームファニッシング製品に使用する革を、わずか11軒の革なめし工場から調達しています。これによってトレーサビリティと高い動物福祉基準を確保できると同時に、社会的リスクや環境的リスクを最小限にすることも可能となります。FY16以来、

イケアが調達した革の生産には、クロムや有毒な化学物質（革なめしに使用されることがある）を一切使用していません。

イケアはResponsible Leather Initiative（責任ある革イニシアティブ）のテキスタイル取引ワーキンググループのメンバーです。このワーキンググループは食品業界とも連携し、革の生産とサプライチェーンにおける世界的な問題に取り組んでいます。

FY18には、私たちは引き続き、CoC（チェーン・オブ・カスタディー）認証のルーティンの確認や、社会的基準、環境基準、動物福祉基準の保護に重点的に取り組みました。

ムの信頼性を調査し、トレーサビリティを検証する取り組みを行っています。また、サプライチェーンをマッピングし、イケアの調達ガイドラインに沿った人権アセスメントの実施を現場で進めています。

RSPOはFY18に基準を強化し、パーム油のサプライチェーンにおける人権問題を反映しました。イケアは今回の改訂も、RSPOが今後のガイドラインに小農地所有者の状況改善を盛り込むことも歓迎しています。小農地所有者は持続可能なパーム油生産にとって重要な存在だからです。FY19には、森林伐採撲滅という現在進行中の目標に加え、小農地所有者のインクルージョンと人権に重点を置いたプロジェクトを支援する予定です。

## パーム油

イケアはFY18には、約4万1700トンのパーム油を使用しました。この大部分はキャンドルに、8%はイケアブランドまたはそれ以外の食品に使用されました。私たちは責任ある調達に全力を尽くしており、より持続可能な新しい原料を常に探しています。

分離方式を採用し、持続可能なパーム油のための円卓会議（RSPO）によって認証された調達先のパーム油は、よりサステナブルな油に分類されます。イケアは、森林伐採、泥炭の開発、人権に関するRSPOの原則と基準の強化を支援しています。FY18には、イケアのパーム油の大部分（99%）はより持続可能な調達先から仕入れました。イケアではこの持続可能なパーム油をキャンドルと食品に使用しています（キャンドルでの使用率は100%、食品では89%）。残りの1%分は、持続可能な（分離方式を採用している）調達先から確保することは非常に難しく、その達成のためには、各市場において持続可能な食品の調達に取り組む必要があります。パーム油は非常にさまざまな食品の材料として使用される可能性がありますが、多くの場合使用量がわずかなため、明確に把握することは困難と言えます。イケアは、このわずかな含有量に対して認定証を購入しています。これにより、たとえそれが分離方式でつくられたパーム油でなくても、RSPO基準対応に取り組むサプライヤーにとっての付加価値を生み出します。

イケアは、イケア製品に使用されるパーム油のサプライチェーンを完全にトレース可能にすることを目指しています。このため、外部のパートナー企業や関係者と連携しながら、キャンドルのバッチをテストし、CoC（チェーン・オブ・カスタディー）システ

## 紛争鉱物

紛争鉱物とは紛争地帯で採掘された資源のことです。特にコンゴ民主共和国や隣接する国々では、内戦や戦争の長期化または反政府運動の資金調達のために、これらが取引されることもあります。もっともよく採掘される紛争鉱物は3TG、つまり、タンタル（Tantalum）、スズ（Tin）、タンゲスタン（Tungsten）、金（Gold）です。

3TG鉱物は主に、電気・電化製品やそれらの部品の生産、またはその他の製品の生産過程で使用されます。これらの鉱物は電気製品やデジタル機能を持つ製品に含まれているため、イケアのビジネスは比較的小量を、間接的に調達しています。

コンフリクトフリーの（紛争鉱物を使用・調達しない）サプライチェーンにするというイケアのコミットメントを再確認するために、私たちはFY18にResponsible Minerals Initiative（責任ある鉱物イニシアティブ、RMI）に参加しました。RMIは、企業が自社のサプライチェーンにおける鉱物の責任ある調達に関して、情報に基づき決定できるように支援する国際的な組織です。イケアも正式な要件を設定し、直接サプライヤーと連携しながらその主要調達先を確認しており、同時に、将来に向けた行動設定も行っています。主な目的は、イケアのビジネスと業務全体で、持続可能で透明性があるコンフリクトフリーのサプライチェーンを発展させることです。

<sup>42</sup> うじ虫の寄生を防止するために、羊の臀部の毛が生えた皮膚を切り取ること。

<sup>43</sup> <https://www.ncbi.nlm.nih.gov/pmc/articles/PMC5082305/>



# 公正 & 平等

イケアのコミットメント

バリューチェーン全体を通じて、  
適切かつ有意義な労働の提供と支  
援に取り組む 46

インクルーシブな企業  
になる 51

平等を推進する 57

イケアストアとサプライヤー、デジタルタッチポイントを、50を超える市場で展開しているため、イケアのバリューチェーンは何百万の人々に影響を与えています。つまり非常に大きな責任を担っていることになります。私たちは、イケアのビジネスがすべての人にとって、誰でもどこにいても同等の公正な待遇を受けられるインクルーシブな場所になることを願っています。

イケアは、2030年までに多くの人に利益をもたらす、公正で平等な社会をつくるリーダーになるという目標を掲げています。この目標を達成するために、イケアはより一層インクルーシブな方法でビジネスを成長させ、多様性を尊重して推奨し、バリューチェーン全体を通じて適切かつ有意義な労働を推進し、人々が家族と一緒に快適な生活を送ることができるようになります。インクルーシブな環境をつくるということは、他者の仕事に関わりを持ち、他者を自分の仕事に関わるよう促すことです。

## イケアのピープルストラテジー

イケアのピープルストラテジー（人材戦略）では、イケアはどんな会社なのか、どんなビジネスを望んでいるのか、どのように社会にポジティブな影響を生み出すのかを明確に規定しています。この戦略は、能力やリーダーシップ、革新的なアイデアを育て、協力して働くことに重点を置いており、イケアのコワーカーに始まり、バリューチェーン全体に適用されます。



## 行動規範

- **Inter IKEAグループ行動規範**には、Inter IKEAグループのすべての関連会社とコワーカーに対してイケアが求めることが記載されています。
- **IConduct**はすべてのフランチャイズ加盟企業に対する行動規範であり、FY18に導入されました。IConductには、フランチャイズ加盟企業に対してイケアが求めることが記載されており、人と社会、地球環境、健康、安全とセキュリティ、企業倫理、情報の取り扱いなどのセクションに分かれています。
- **IWAY**とは、長きにわたりイケアグループがサプライヤーに課している行動規範です。IWAYプログラムはイケアのサプライヤーに対して、社会的条件、環境的条件、労働条件に関する最小要件を定めたものです。

## 企業倫理

イケアバリューは私たちのすべての行動における指針です。業務上のすべての交流も、この対象となります。私たちは有意義で信頼されるブランドとなるべく全力を尽くしており、正直で、つつましく、公正であるよう努力しています。このような考え方をイケアのバリューチェーンで働くすべてのコワーカーと共有し、イケアの行動規範（左下を参照）と「*Inter IKEA Group Policy and Rule on Anti-Corruption (Inter IKEAグループ汚職行為防止ポリシー規程)*<sup>1</sup>」によって一貫した基準を設定しています。

Inter IKEAグループのすべてのコワーカーは、汚職行為防止などの項目を含む行動規範トレーニングに参加します。IKEA Range and Supply内の購買部門で働くコワーカーはさらに、企業倫理の総合的なトレーニングも受講します。

私たちはオープンなカルチャーを促進しており、何かおかしいと思うことがあれば、その相手とマネジャーに問題を伝えるようコワーカーに推奨しています。コワーカーが問題を本人に直接伝えることに抵抗がある場合、Inter IKEAグループの Raising Concern Line（相談ホットライン）を通して相談するか、相談のメールをInter IKEA Systemsに（匿名で）直接送信できます。FY18には、「*Inter IKEAグループ行動規範*」への違反に関する34件の相談が、Inter IKEAグループの Raising Concern Line（相談ホットライン）に寄せられました。

Inter IKEAグループは「*Inter IKEA Group Rule of Investigation (Inter IKEAグループ調査ルール)*」を使用することによって、内部調査に対して一貫したアプローチを取っています。FY18には、Inter IKEAグループのヒューマンリソースとリスク関連部門に所属する約80人のコワーカーが、このルールについて認識を向上し、理解を深めるためのトレーニングを受講しました。FY19には、実際の調査を担当するコワーカーを対象とした、さらに実践的なトレーニングが実施される予定です。イケアのフランチャイズ加盟企業も、問題の管理と解決に特化した手順の整備が求められています。

<sup>1</sup> 「*Inter IKEA Group Policy and Rule on Anti-Corruption (Inter IKEAグループ汚職行為防止ポリシー規程)*」は、Inter IKEAグループのすべてのコワーカーに適用されます。



## イケアのコミットメント

# バリューチェーン全体を通じて、適切かつ有意義な労働の提供と支援に取り組む

適切で<sup>2</sup>有意義な労働を提供することで、イケアは公正で平等な社会の実現における自らの役割を果たせます。同時に、イケアのバリューチェーンを活気に満ちた場所にして、そこで働く人々が、自分は尊重されていると感じ、やる気を持って仕事に取り組み、より快適な毎日を送れるようにします。

イケアの職場環境は安全で、働く人々の健康的な成長に役立つものでなければなりません。イケアの望みは、イケアのすべてのコワーカーとサプライヤー企業で働くすべての人々が、適切な雇用の機会と公正な収入を得ることです。

イケアカルチャーの中心はそこで働く人々です。イケアでは、ビジネスのあらゆる部分において「尊敬」と「連帯感」という価値観を大切にし、毎日のあらゆる行動の中で人権の尊重に取り組んでいます。このアプローチを体現するために、イケアのバリューチェーンで働く私たちすべてに、明確で一貫した行動が期待されています。「Inter IKEAグループ行動規範」と「IConduct」には、人権に関する項目があります。イケアのサプライヤーの行動規範「IWAY」は、イケアのバリューチェーンで働く人々の労働基準に大きな焦点を当てています。イケアでは、サプライヤーとともにIWAYプログラムの開発と継続的な改善に取り組んでいます。

また、これらの行動規範の実施状況をモニターし、新たに発生した問題の経過を追い、人権問題に関するデューディリジェンスを強化します。必要な場合、ネガティブな影響が発生する可能性がある問題を改善するための行動を取ります。また、関係者と協力し合い、イケアのバリューチェーンの枠を超えてさらに広い範囲でポジティブな影響を与えていきます。

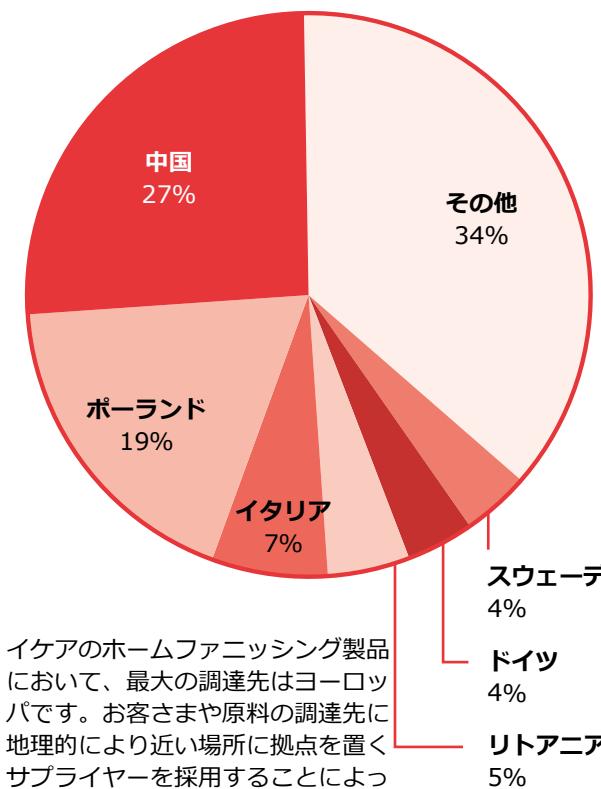
イケアのビジネスとサプライヤーは世界中のさまざまなか所で事業を運営していますが、事業を開く国によって社会的な違いや文化的な違いがあることに配慮しています。どのような国や社会においても、イケアやイケアのサプライヤーで働く人々は、自らが高い水準で扱われることを期待するでしょう。

## イケアのサプライチェーンの適切な労働条件を確保する

イケアのサプライヤーは私たちのビジネスになくてはならない存在です。イケア製品や部品の製造・輸送、レストラン用の食事の供給、お客様向けのIKEAカタログの準備、イケアでの重要なサービスの提供など、サプライヤーはイケアに関するさまざまな業務を担当しています。

イケアのサプライチェーンでは、何百万人の人々が働いています。現在、Inter IKEAグループは約1,600社の直接サプライヤー（そのうち1,000社はホームファニッシング製品のサプライヤー）と取引しており、50以上の市場をカバーしています。フランチャイズ加盟企業が取引するサプライヤーを合わせると、さらに多くの数になります。私たちは各拠点が抱えるその土地特有の事情や問題を理解し、適切な社会的条件、環境的条件、労働条件の確保に対

ホームファニッシング製品向け購買先の上位国  
(合計に占める割合を%で表示、FY18)<sup>3</sup>



イケアのホームファニッシング製品において、最大の調達先はヨーロッパです。お客様や原料の調達先に地理的に近い場所に拠点を置くサプライヤーを採用することによって、輸送効率を改善します。



## イケアのサプライチェーンで働く運転手の社会的立場を向上させる

運送業界の労働者数は、ヨーロッパのみで1140万人以上に上り、求人が20件あれば、およそ1件は運送業界の仕事です<sup>4</sup>。競争が激化し、下請け契約や国境をまたぐ複雑なサプライチェーンが一般化しています。

イケア製品を輸送するトラック運転手は、独立した運送業者の従業員です。このような業者は、輸送業務を下請け運送業者に委託することもあります。Inter IKEAグループはトラックを所有しておらず、運転手も直接雇用していません。

私たちは、イケア製品を輸送するドライバーが適切で公正な労働条件で働くことができるよう、今後も取り組みを続けていきます。サプライヤーの行動規範(IWAY)により、輸送サービス提供者に対して賃金、福利厚生、労働条件に関する厳しい条件を設けています。私たちは、EU全体で法規制がより明確かつ厳格になり、監視・管理体制が改善することを望んでいます。IConductでは、イケアのフランチャイズ加盟企業に対して、サービス提供者、特にトラック運転手に適切な設備を提供することを義務づけています。

FY18に、Inter IKEAグループのTransport & Logistics Servicesは次の事項を実施しました。

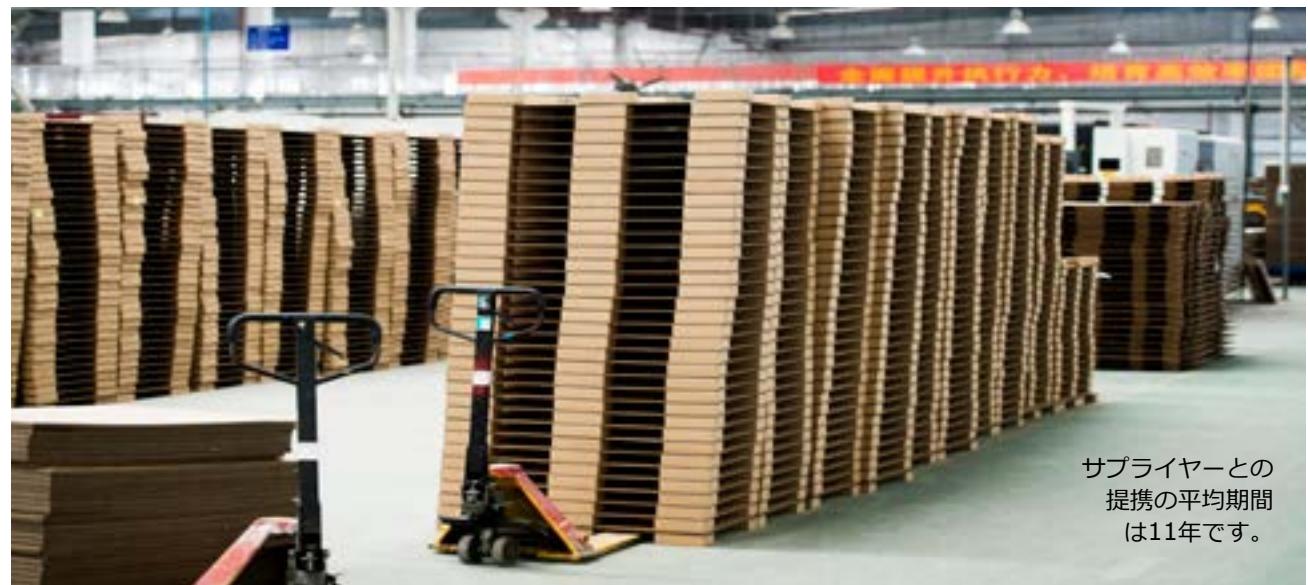
- 労働条件に関するフィードバックを直接得るために、運転手に事前通知のない任意での匿名インタビューを250回近く実施
- 透明性と可視性を向上させ、イケアの要件が確実に遵守されていることを確認するために、陸上輸送の下請けを1階層<sup>5</sup>に限定
- イケアのサプライチェーン内にサステナビリティをより深く根付かせるために、下請けチェーンマネジメントプログラム(SCCM)を展開
- ほかの企業、輸送業界、EUの政治家、運輸組合、NGOなどの利害関係者との円卓会議をブリュッセルで開催し、EUの運送業界の社会的状況に関する重要な質問、考え、トピックについての議論を実施

<sup>2</sup> 國際労働機関(ILO)によるディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）の定義は、次のサイトに記載されています。[http://www.ilo.org/wcmsp5/groups/public/---dgreports/---exrel/documents/publication/wcms\\_172609.pdf](http://www.ilo.org/wcmsp5/groups/public/---dgreports/---exrel/documents/publication/wcms_172609.pdf)

<sup>3</sup> 小数点以下は四捨五入。

<sup>4</sup> [https://ec.europa.eu/transport/facts-fundings/infographics\\_en](https://ec.europa.eu/transport/facts-fundings/infographics_en)

<sup>5</sup> イケア製品を輸送する下請け業者は、イケアの業務をほかの業者に委託することを許可されません。1階層に限る要件（稼働能力に著しい制限がある場合は例外）は、陸上輸送業者との包括協定に現在含まれており、これ以外の業者に対しては順次導入し、実施する予定です。



### INTER IKEAグループのサプライヤー<sup>6</sup>

サプライヤーの種類	IWAYの対象となるサプライヤー数	説明	IWAY承認済みの割合 (%)		
			FY16	FY17	FY18
ホームファニッシング製品のサプライヤー	1,000	イケアのホームファニッシング製品を製造	97	98	98
輸送業者(陸上および海上) <sup>7</sup>	339	イケア製品を店舗やディストリビューションセンターに輸送	90 (陸上のみ)	97	98
世界各地の食品供給センター <sup>8</sup>	158	イケアのビストロ、レストラン、スウェーデンフードマーケットで販売する主要な商品展開のために、食品や食材を提供	63	87	96
IKEA Components	201	イケアのホームファニッシング製品に使用するコンポーネントおよび素材をイケアのサプライヤーや下請けサプライヤーに供給	97	99	98
IKEA Industry	514 <sup>9</sup>	イケアのサプライチェーンの中で、無垢材、ボードオーニフレーム、木材を使った家具をイケアや関連企業に供給	38	60	64 <sup>10</sup>
IKEAカタログに関する施設 <sup>11</sup>	51	印刷版のIKEAカタログ用にパルプ、紙、印刷サービスを提供 <sup>12</sup>	80	63	80
「IWAY Must」(IWAY必須要件)によって承認されたきわめて重要なホームファニッシングの下請けサプライヤー <sup>13</sup>			99	91	93

して一貫したアプローチを取るよう努めています。IWAY監査人とサステナビリティの開発担当者は、私たちが購買やロジスティックスを行う国や地域の状態を把握し、それに沿った対応ができるかどうかを確認します。

私たちのアプローチの基本となっているのは、イケアのサプライヤーの行動規範「IWAY」です。社会的条件、環境的条件、労働条件の最小要件を定めたもので、イケアのサプライヤーとの対話を促し、価値観や期待内容を共有する出発点となります。

IWAYは2000年に導入されて以来、新たな問題に対応できるよう定期的に更新されています。過去18年間で、サプライチェーンの一部に関しての要件を追加したり、児童労働の防止や若年労働者への支援といった、特定のテーマに関するイケアの立場を明確にしたりしています。

イケアは、サプライヤーとの長期にわたる関係の構築が非常に重要だと考え、サプライヤーの成長を重視しています。サプライヤーとの提携の平均期間は11年です。イケアとサプライヤーが協力し合うことで、サプライヤーは成長してイケアの要件を満たすようになり、最終的には、より持続可能なビジネスになります。

Inter IKEAグループは、サプライヤーの各カテゴリー分野の遵守率をモニターしています。これによって、サプライヤーが徐々にIWAYの要件を満たしている様子を把握できます。IWAYトレーニングプログラムは、IWAYに関連した能力の継続的な向上に向けた努力を支援し、IWAYのプロセスに関わるすべてのコワーカーがサプライヤーと効果的にコミュニケーションをとれるようにします。また必要に応じてIWAYの実施に関するサポートを提供します。

現在、私たちは現状に照らし合わせたIWAYの見直しを行っています(右枠内参照)。

### IWAYの展開における次のステップ<sup>14</sup>

約20年の間、IWAYはサプライヤーとイケアの関係の基本となっていました。しかし、世界は急速に変化しています。IWAYを再評価し、現在の実情とイケアの将来の目標に合った形にする時が来ています。

イケアは今後も、自分たちやサプライヤーの今までのあり方に疑問を投げかけ、改善を目指していきます。また、大きな変化を起こすために必要なリソースを集め、サプライヤー、イケアのフランチャイズ加盟企業、下請けサプライヤーからなるバリューチェーンにIWAYをより浸透させていきます。イケアはIWAY基準とシステムの改訂をFY18に開始し、この作業は現在も進行中です。この改訂の目的は、イケアの将来の方向性を以下のように導くためです。

- イケアのバリューチェーン内外の利害関係者に働きかける。
- IWAYに新たなコンテンツを取り入れる(たとえば、動物福祉に関する基準、継続的な向上についての要件)。
- IWAY遵守の確認や監査に対するリスクベースのアプローチを再定義する。IWAYのプロセスとパフォーマンスのKPIを新たに設定する。
- 新しいガバナンス体制を確立し、要求事項を満たさないサプライヤーのビジネスの結果へのアプローチを強化し、優れた業績を挙げるよう動機付ける。

責任ある賃金慣習や持続可能な調達、生物多様性といった、より総合的な問題をIWAYでどのように対応できるかについて検討を進めています。最終的には、IWAYがあることで、基本要件を満たすだけではなく、それを上回る結果となってほしいと考えています。また、IWAYによってサプライヤーが最小要件を上回る改善を常に成し遂げができるようにし、ビジネスや従業員、環境についての要件を上回る改善を達成した場合には、イケアから報奨金を支給したいと考えています。

改訂したIWAY基準とシステムは2020年に展開されます。サプライヤーと協力して、すべてのイケア関連企業(フランチャイズ加盟企業を含む)とイケアのコワーカーへの期待が盛り込まれます。

<sup>6</sup> Inter IKEAグループのサプライヤーを含みます。イケアの小売業者のサプライヤーは含まれません。

<sup>7</sup> イケアの製品サプライチェーンでは、特別な場合を除き飛行機を使用することはありません。

<sup>8</sup> ほかの組織とは異なり、サプライヤーレベルではなくイケアの主要商品向けの食品を製造する個別の拠点を指します。

<sup>9</sup> 直接取引きを行う素材サプライヤー。貿易業者、物流業者、IKEA Industry独自のユニットを除きます。IKEA Industry独自のユニットはすべてIWAY承認済みです。

<sup>10</sup> IKEA Industryは、IKEA IndustryのIWAYロードマップで設定された目標に従い、FY23までにサプライヤーのIWAY遵守率100%を目指しています。

<sup>11</sup> ほかの組織とは異なり、サプライヤーレベルではなく個別の拠点を指します。

<sup>12</sup> デジタルサプライヤーは含まれません。

<sup>13</sup> 「IWAY Must」(IWAY必須要件)は、契約締結前にサプライヤーが満たす必要のある要件です。この要件に照らし合わせて、ホームファニッシング製品の重要な下請けサプライヤーの監査を実施しています。

## 職場での健康、安全、福祉

イケアブランドを掲げるすべての企業は、コワーカーとお客様に健康的で安全な環境を提供しなくてはなりません。

イケアでは、健康、安全、セキュリティに関する要件をInter IKEAグループの行動規範であるIConductとIWAYで明確に規定しています。

イケアのサステナビリティチームは、サプライヤーと緊密に連携し、サプライチェーン内の健康・安全システムとプロセスの開発に取り組んでいます。中でも、労働者の健康と安全、緊急事態への備えと火災の予防、化学物質の問題に焦点を当てています。

### IKEA Industryにおける健康と安全

IKEA Industryでは、機械の使用、交通量の多さ、化学物質の取り扱いなどにより、負傷のリスクがより高くなっています。そのためIKEA Industryでは、すべてのコワーカーおよび生産拠点への訪問者の安全と健康を守るために、安全を一段と重視した文化の構築に全力を注いでいます。事故の報告とベストプラクティスに重点的に取り組み続けた結果、過去数年の事故件数は減少しました。

FY17とFY18には、IKEA Industryにおける休業災害<sup>14</sup>の割合が増加しました。また残念なことに、FY18に2件の死亡事故が発生し、IKEA Industryは事故に対する責任を負っています。これらの悲劇的な事故が発生した状況や原因の考察のために調査を実施して、その後の対応を行いました。

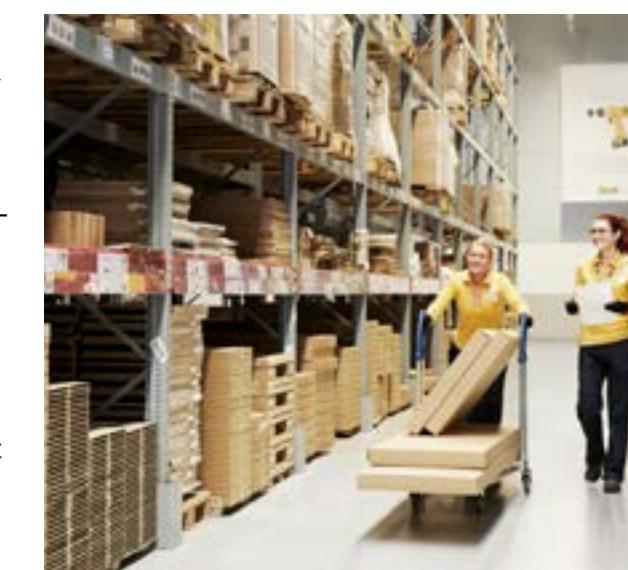
IKEA Industryは、機械の安全対策と交通安全、職場の内外での健康、安全を重んじる文化、火災時の安全確保について2025年までの段階的な目標を設定しました。マネジャーは全員、安全を重視する強力な文化を浸透させるために安全リーダーシップのトレーニングを受けます。この取り組みはFY18に始まり、FY19も継続して行います。



### イケアのリテール業務における健康と安全

イケアのビジネスにとって、コワーカーの健康と安全は非常に重要であるため、注意深く管理しています。

事故の主な発生場所は、リテールストアのロジスティックスエリアとフードエリア、ディストリビューション部門です。事故は通常、手で持つて使う道具の使用中や資材の運搬中に発生する場合が多く、イケアでは事故の発生件数を減らす取り組みを続けています。フランチャイズ加盟企業のFY18の健康および安全データについては各加盟企業の年次報告書をご覧ください<sup>16</sup>。現在イケアでは、このデータを今後どのように活用するかについて検討を進めています。

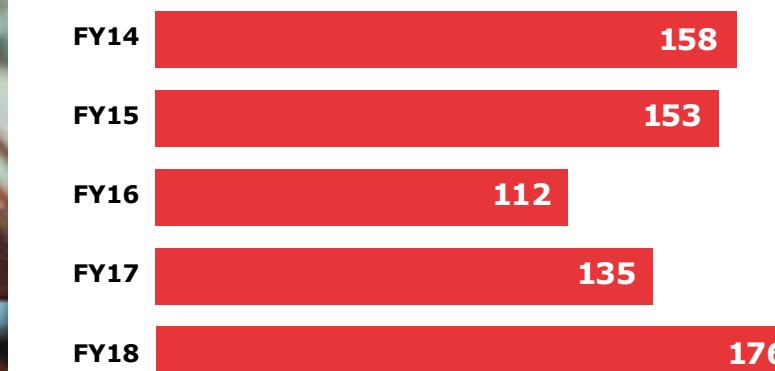


### IKEA INDUSTRY

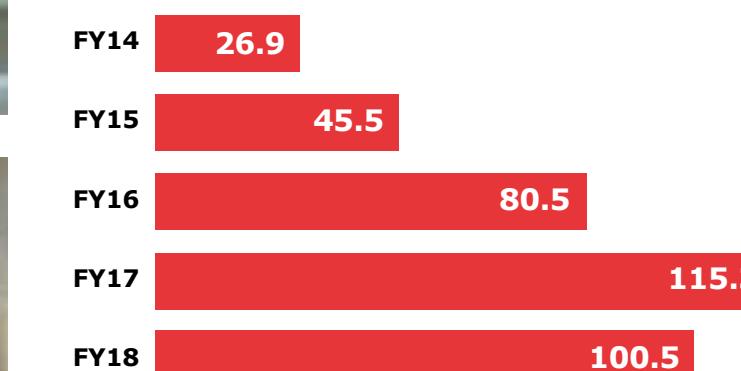
#### 休業災害発生率（労働時間100万時間あたり）

	FY16	FY17	FY18
IKEA Industry	3.3	3.9	4.9

#### IKEA Industry 休業災害（LTA）<sup>14</sup> の発生件数の推移



#### IKEA Industry 報告された事故<sup>15</sup> の件数の推移（千件）



14 1日以上の休業を必要とする事故。

15 事故につながる可能性のあった安全でない状況および行為、ニアミス。

16 フランチャイズ加盟企業のIngkaグループのデータについては、Ingkaグループの年次レポートおよびサステナビリティサマリーレポートをご覧ください。

## 人材育成

イケアの独自性や成功を支えているのは、イケアのコワーカーです。価値観に基づいた採用によって、イケアカルチャーを豊かにし、日常業務に対して好奇心を持ち堅実な態度で臨む人材を迎え入れています。

イケアのピープルストラテジーは、学習や能力開発に関するアプローチの指針となるものです。イケアでは、従業員にワクワクする仕事、計画的な学習の機会、メンター指導を用意しています。また、イケアのオンラインシステムMy Learningによって、すべてのコワーカーに共通の、対面式とデジタルの学習ソリューションを提供しています。

FY18には、イケアの求人情報ポータルサイトを立ち上げました。このサイトでは、候補者が求人情報を検索し、インスピレーションを得たり、イケアについて新たに知ったりできます。現在掲載されているのは、Inter IKEAグループとフランチャイズ加盟企業数社<sup>16</sup>の求人情報のみですが、今後イケアにおけるすべての求人を掲載する予定です。

Inter IKEAグループの新しい採用ソリューション SmartRecruitersは、Inter IKEAグループが展開するすべてのビジネスおよび国で利用されています。デスクトップとモバイルデバイスの両方で利用できるため、候補者と採用チームがさまざまなチャネル経由で話すことができます。現在、約6万7650人の候補者と2,200人の採用担当者およびマネジャーがこのソリューションを積極的に活用しています。

## 安定した雇用

職場は、自分の状況やライフステージにかかわらず、自分の価値が認められていると感じられる場所であるべきです。イケアは、コワーカーがサポートされていると感じ、自信を持って人生設計を立てることができるように、安定した予測可能な雇用条件の実現に努めています。変化する時代の中で、人を尊重するというイケアの目標は変わりません。私たちは常によい解決策を見い出すことを目指しています。

私たちは関連する行動規範<sup>17</sup>において、イケアのコワーカーやイケアのサプライヤーの従業員は勤務時間、時間外労働、休暇に関して公正で合法的な扱いを受けるべきである、という要件を明確にしています。

イケアでは、バリューチェーン全体で公正かつ適切で競争力のある雇用パッケージや、コワーカーのライフステージに合わせたサポートや福利厚生を提供することを目標としています。たとえば東南アジアのフランチャイズ加盟企業のIkanoグループは、子どもが生まれた父親が、生れてから数週間家にいられるように、1ヶ月間の父親育児休暇を導入しました。

## 責任ある賃金支給

イケアでは、バリューチェーン全体に適用できる、責任ある賃金支給に対するアプローチを策定するための社内プロジェクトグループを発足させました。これはFY16以来、Fair Wage Networkと連携して行ってきた取り組みに基づいたものです。

IConductとIWAYには、賃金に関する要件も定められています。現在私たちは、その要件を拡大し、イケアのバリューチェーン全体に適用できる包括的な責任ある賃金フレームワークを策定しているところです。

すでにガバナンスアプローチを確立し、リーダーシップグループとプロジェクトチームを発足させました。今後、社内外の利害関係者および賃金分野を専門とする社外パートナーとともに、公正な賃金の支給方法や生活賃金の定義について検討する予定です。イケアのビジョンは、バリューチェーンで働くすべての人々が公正な収入を得ることです。

## 参加意識が高く裁量のあるバリューチェーン

イケアでは、バリューチェーン内のすべての人が発言権を持ち、職場で積極的に役割を果たす熱意と裁量を持てるようにしたいと考えています。そのため、バリューチェーン内で普段あまり意見を聞かれることのない人々を支持しています。たとえば、イケアの商標を掲げて業務を行う企業で働く、社会の中で不利な立場に置かれている人々や、イケアのサプライチェーン内で働いている移民労働者や在宅労働者などです。

### イケアのコワーカー

イケアブランドを掲げる企業は、仕事を見つけたり維持したりすることが困難な人々に、リテール業界で必要なスキルを身につけ就職するための支援を行っています。

たとえば、フランチャイズ加盟企業であるIngkaグループは、若者、障害者、50歳以上の人、移民労働者、難民、仕事から離れていた女性を対象とした、雇用に向けたスキル習得プログラムを提供していま

す。目標は、2025年までにIngkaグループが事業を展開している30カ国すべてにおいてこのプログラムを実施し、地元コミュニティとパートナーシップを形成して特に貧困や不平等で苦しむ人々の失業問題に取り組むことです。

雇用に向けたスキル習得プログラム<sup>18</sup>は、たとえば就業経験を積む機会や言語スキルを身に付ける機会を提供し、将来イケアのコワーカーとして、またはほかの企業で働くための準備をサポートしながら、彼らが新しいコミュニティに積極的に貢献できるようになります。難民の受け入れは慈善ではありません。これらのプログラムは個人の生活と地元コミュニティによる影響を与えると同時に、ビジネスにとっては多様なスキルセットを持つ人材を迎えることができるというメリットがあります。FY18には、11カ国で難民インクルージョンプログラムが実施されました（FY17は8カ国）。



16 Al-Futtaim, Al-Homaizi, Al-Sulaiman, Ingkaグループ、IKANO RetailおよびMiklatorg。

17 Inter IKEAグループの行動規範であるIConductとIWAY。

18 Ingkaグループが実施しているプログラム。

FY18に、イケアのフランチャイズ加盟企業のAI-HomaiziグループがJobs for Dignityプログラムを開始しました。これは、精神または身体に障害のある人にIKEA Retail Moroccoでの仕事を提供するとともに、イケアストア内でのインクルーシブな行動を推進するものです。

### 責任ある採用

多くの国では、採用にあたり労働者が大きな負担を強いられています。たとえば、長期間パスポートを預けたり、新しい仕事を始める前に高額の手数料や費用を払ったりすることを求められる場合があります。新たな機会を求めて自国を離れた移民労働者は特に弱い立場に立たされています。

私たちは責任ある採用に全力で取り組んでいますが、この問題は私たちだけで解決できるものではありません。イケアは、Leadership Group for Responsible Recruitment（責任ある採用のためのリーダーシップグループ）の創設メンバーであり、労働者は仕事を得るために費用を支払う必要はなく、雇用にかかる費用は雇用主が負担すべきであるという「Employer Pays Principle（雇用者負担原則）」を支持しています。責任ある採用に関するイケアのガイドラインでは、サプライヤーの採用活動における要件を規定しています。

FY18には、イケアの責任ある採用に関するガイドラインの展開を開始し、まずは内容についての認識を高めるために社内トレーニングを実施しました。また、次の取り組みにも着手しました。

- 責任ある採用や現代の奴隸リスクに関する全体的なアプローチや活動に、イケアのビジネス全体で一貫性を持たせるための社内での働き方を開発しています。
- サプライヤーの行動規範「IWAY」の改訂作業の一環として、採用に関する要件を拡大しています。
- イケアのホームファニッシングサプライヤーの労働サプライチェーンに関する調査を完了させます。この調査は国際移住機関と連携して実施しているものです。
- 国境を超えた採用に伴うリスクについての理解をより深めるために、労働サプライチェーンをマッピングするさらなる機会を特定しています。



#### ■ 社外活動への参加や提言活動を行っています。

イケアのフランチャイズ加盟企業は、この分野への取り組みで前進しています。たとえば、東南アジアのフランチャイズ加盟企業のIkanoグループはFY18に、IKEA Southeast Asiaのいかなるサプライヤーも外国人労働者のパスポートを預からないことを確認しました。また、IKEA Southeast Asiaのすべてのセキュリティサプライヤーおよび清掃サービスサプライヤーに対して、現地労働者と移民労働者に同等の賃金を支払うことを徹底させました。

### 在宅労働者

天然繊維のグローバルサプライチェーンでは、自宅で織物を生産してお金を稼いでいる労働者に生計を立てる手段を提供しています。在宅労働は柔軟な働き方を実現できる一方で、劣悪な労働状況や低賃金のリスクがあります。

イケアは、木材と繊維のサプライチェーンの在宅労働者の労働条件の改善に全力で取り組んでいます。現在、木材と繊維のサプライチェーンでは、インドネシアと中国にある専用の地域織物センターで888人が働いています。また、中国、インドネシア、ベトナムに9,373人の在宅労働者がいます。織物センターは安全な環境での定期的な仕事を提供し、法定賃金を出来高払いで支払っています。労働者は仕事の場所や期間を選択でき、休暇や休業を柔軟に取得できます。

FY18に、イケアの木材と繊維のサプライチェーンにおける在宅労働者および織物センターで働く労働者に関する要件を明確にした、新しいIWAYのガイドラインと前提条件が完成しました。このガイドラインは、中国、インドネシア、ベトナムのサプライヤーとのワークショップなどで出た、社内外の利害関係者の意見を加味した内容になっています。

今後、インドネシアなどでさらに検証と調査を行い、その結果に基づいてガイドラインを改善していく予定です。



### イケアのサプライチェーンで働く織物職人

あるベトナムのサプライヤーは、170の村に住む約4,500人の織物職人と仕事をしています。織物職人は、そのサプライヤーの仕事のみを引き受けており、最低賃金以上の賃金を支払われています。また、専用のトレーニング＆コミュニケーションセンターによって管理されています。すべての職人は、在宅織物作業管理に関するサプライヤーの行動規範を遵守する必要がある一方で、傷害保険や医療保険などの福利厚生を受けています。

毎年、このサプライヤーは在宅織物村サミットを開催し、織物が行われている村を代表する約800人の織物職人（同社の全在宅労働者の15%）が参加しています。この会議は、参加者が自分たちの権利や福利厚生について学ぶことができると同時に、サプライヤーと在宅労働者との関係を深める機会となっています。

## イケアのコミットメント

### インクルーシブな企業 になる

誰にでも公正で平等な扱いを受ける権利があります。イケアは、多くの人に機会を提供しながらビジネスを成長させることを信念としています。イケアカルチャーの中心にあるのは連帯感です。すべての人が、自分らしくいることを心地よく感じられる多様でインクルーシブな職場環境をつくることを目指しています。



### 多様性とインクルージョン

多様性は歓迎すべきものです。お客さまやお互いを理解する助けになり、新しいアイデアやイノベーション、起業家精神を生み出す原動力となるからです。イケアのコワーカーやサプライヤーは、多様な経験、経験、スキル、考え方を持っています。どのような人も自分が歓迎され、価値を認められていると感じられることを私たちは望んでいます。イケアでは、インクルーシブなカルチャーを通じて平等な機会と連帯感を推進しています。

その中で、業務プロセスとビジネス慣行のあらゆる面において多様性を取り入れることに特に重点を置いています。また、フランチャイズ加盟企業であるIngkaグループはFY18に、以下をはじめとするいくつかの誓約に署名しました。

- LGBT+（レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダー、その他あらゆる性的指向や性自認を持つ人）の生活向上を目指す非営利組織、Stonewall
- 女性のエンパワーメント原則（WEPS）
- Ingkaグループの市場があるEU圏内の18カ国すべてで各国の多様性憲章に署名し、職場および社会において平等な機会を推進することを約束。



### 男女平等

男女平等は願望ではなく、実現すべきものです。イケアでは、管理職レベルを含め、ビジネス全体において男女平等を推進しています。特に、これまで女性のコワーカー数が少なかった領域に力を入れて取り組んでいます。たとえば、IKEA IndustryのFemale Potentialプログラムは、女性候補者が管理職に就くための準備をサポートしています。

FY18には、Inter IKEAグループの経営委員会（2人体制）と監査委員会に女性は含まれていませんでした。現在、Inter IKEAグループでは、全コワーカーの70%、リーダーの40%が女性です。FY18のIKEA Range & Supplyにおける男女比率は、コワーカー

およびリーダーの両方でほぼ変化はありませんでした。Inter IKEA Systems B.V.では女性コワーカーの割合が減り、IKEA Industryでは女性マネジャーの割合が増えました。現在、Ingkaグループのリーダーの49.4%、コワーカーの54%が女性です。

イケアのビジネスのあらゆるレベルにおいて多様性と平等を実現するには、まだまだやるべきことはあると考えています。

### FY18におけるコワーカーの男女平等

事業区分	全コワーカー中の女性の割合 (%)		マネジャー中の女性の割合 (%)	
	FY17	FY18	FY17	FY18
<b>Inter IKEAグループ</b>	-	70	-	40
<b>Inter IKEA Systems B.V.</b>	56	52	50	50
<b>IKEA Range &amp; Supply</b>	50	51	45	45
<b>IKEA Industry</b>	37	37	24	27
<b>リテール業務<sup>19</sup></b> (フランチャイズ加盟企業のIngkaグループのみ)	-	54	-	49.4

<sup>19</sup> データはフランチャイズ加盟企業のIngkaグループの事業のもので、ほかのフランチャイズ加盟企業のデータは含みません。今後、ご報告したいと考えています。

## 子どもたちの権利

イケアは、子どもは世界で一番大切な存在という考え方のもと、長年にわたって子どもたちの権利を支援してきました。ビジネスのあらゆる側面において、子どもの権利に配慮するように努めています。私たちのアプローチは「子どもの権利とビジネス原則」と国連の「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づいています。

FY18には、イケアの子ども向け商品の開発部門であるChildren's IKEA（チルドレンズイケア）の主導のもと、私たちのビジネスが子どもたちに与える影響について理解を深める努力をしました。Save the Children（セーブ・ザ・チルドレン）のCentre for Child Rights and Businessと連携し、イケアのバリューチェーン内のさまざまな人々とともに、子どもの権利という視点から重要な資料を見直しました。また、利害関係者へのインタビューや共同のワークショップでさらなる知見を得ることができました。

FY19には、この取り組みからの提案を活かして、イケアのビジネスのあらゆる部分に子どもの権利への配慮を組み込んでいきたいと考えています。

イケアの子ども向け商品の開発に関わるすべてのコワーカーとサプライヤーは、Children's Schoolのトレーニングを受け、安全、品質、子どものニーズを商品開発プロセスの中心に据えることを学ぶ必要があります。FY18には、約2,000人がChildren's Schoolに参加しました。

## 遊び心をかき立てる

遊びは、すべての子どもの成長に欠かせないものです。心と体の健康、認知の発達、自尊心やさまざまな能力の育成に直接結びつきます。そして遊びは楽しいものです。しかし、世界では、子どもの遊ぶ時間はますます減少し、遊び方そのものも変化しています。今日、子どもたちの61%はテクノロジーを使わずにどう遊べばよいかわからないと答えています<sup>20</sup>。

すべての子どもは、本人の持つ最大限の潜在的 possibilityに達するまで、成長し、学び、発達するための適切な場と支援を必要としています。支援活動キャンペーン「LET'S PLAY すべての子どもに遊ぶ自由

## 子どもたちと一緒に商品開発

私たちは、イケアが子どもの権利を支援していることを子どもたちに知ってもらいたいと考えています。そのため、世界中の子どもたちに積極的に参加してもらい、声に耳を傾けています。FY18に、Children's IKEAは子どもたちと関わり合い、子どもたちから学ぶために、以下のようにさまざまな活動を行いました。



### キッズラボ

少人数の子どもたちに保護者の同伴付き、または同伴なしでワークショップに参加してもらい、ある課題やトピックについての考えや意見を聞きます。家の過ごし方について子どもたちから直接聞くことで、大人の視点ではなく、実際のニーズに基づいた商品開発ができるようになります。FY17にフィンランドと中国で試験的に実施し、FY18にはスウェーデンでも開催しました。FY19には、さらに多くの開催を予定しています。

### キッズパネル

キッズパネルは非公開のデジタルパネルフォーラムであり、世界中の8~14歳のアドバイザーから意見を集めています。子どもたちとその親は、経験豊富な調査会社から2週間ごとに送付されるアンケートに回答します。これらの回答はChildren's IKEAの仕事にユニークな視点を提供しています。私たちはキッズパネルを通じて子どもたちの視点を速やかに知ることができます。完成品のテストを待つのではなく、開発過程で子どもたちの意見を取り入れ、より子どもたちのニーズを満たした製品を完成させることができます。

### 子どもによる子どものためのデザイン

「LET'S PLAY すべての子どもに遊ぶ自由を」キャンペーンの一環として<sup>21</sup>、チルドレンズイケアは毎年、世界中の子どもたちに夢のソフトトイの絵を描いてもらっています。その中でもっともユニークな5作品が、本物のソフトトイになります。それがSAGOSKATT/サゴスカット 限定コレクションです。FY18のSAGOSKATT/サゴスカットについて、詳しくはこちらをご覧ください。

FY18、Children's IKEAは「Guide for Child Participation and Safeguarding of Children（子どもの参加と子どもの安全保護対策に関する指針）」を作成し、子どもとのあらゆる交流が責任ある、倫理に沿ったものとなるよう徹底しています。チルドレンズイケアのコワーカーは、子どもとの交流を伴う業務すべてにおいて、全員が事前トレーニングを受けます。私たちはこの取り組みをイケアのより幅広い事業に拡大していく予定です。



<sup>20</sup> Persilが「Dirt is Good（泥んこ遊びはよいこと）」キャンペーンの一環として実施した「Play in Balance（バランスよく遊ぶ）」レポートに基づく。「Play in Balance」レポートは世界の1万2000人の親を対象に実施されました。

<sup>21</sup> イケアのフランチャイズ加盟企業全社が実施するグローバルキャンペーン。

## 利害関係者からのメッセージ：

*Save the Children Sweden、Malin Dahlberg Markstedt氏、Sara Persson氏*

イケアのビジネスは長期にわたり、イケアグループのバリューチェーン全体を通じて、子どもと子どもの権利を擁護してきました。たとえば、児童労働の防止のほか、若年労働者が適切な仕事に就くための支援、子どもの成長を支える安全な製品の開発に取り組んでいます。私たちはイケアの事業が子どもたちの生活に直接的または間接的に関わっていることを認識しており、子どもの権利強化のための次のステップに進む準備ができます。

私たちは、Save the Children（セーブ・ザ・チルドレン）のChild Rights & Business部門マネジャー、Malin Dahlberg Markstedt氏とChild Rights and Businessテーマ別アドバイザー、Sara Persson氏に、子どもの権利に関して今後企業が検討していく必要のある重要な問題は何か、また子どもたちの暮らしにポジティブな影響を与えるビジネスには何が必要かをたずねました。

「世界の人口の3分の1は子どもです。どんな決定事項においても子どもの権利に配慮することが、持続可能な企業となるための究極の方法です。それにより常に賢明な判断をすることになり、事業の長期的な成功に貢献できます。

イケアは長年、子どもの権利向上に取り組んできました。しかし、今日、世界は変化しており、新たな課題が生まれています。イケアは常に先駆者でなければなりません。たとえば、イケアはデジタル事業の推進に重点を置いていますが、デジタル空間で子どもに起こりうるリスクと、子どもたちを守るためにイケアが果たせる役割を考慮すべきです。

多くの企業が同じような課題に直面しています。たとえば、自社の事業を含む、バリューチェーンのすべての段階で働く従業員に適切な労働条件を確保することです。企業は以下の点について評価する必要があります。

- 自社の従業員やサプライヤーの従業員は、優れた従業員としての立場と、親や養育者としての立場を両立てきているか。
- 職場環境および親や養育者の賃金は、子どもにどのような影響を与えているか。
- 自社のサプライチェーンの先にいる2次・3次サプライヤーで働く人々の子どもや若者はどのようなリスクを負っているか。
- バリューチェーン全体で、従業員の家族のよりよい環境を支援して、子どもや若者が負うリスクを減らすためにできることは何か。

最後に、企業はどこでビジネスを行うにしろ、子どもの権利を保護、実現しようとするコミュニティと政府の取り組みを強化するものでなければなりません。グローバル企業としてのイケアの影響力を考えると、私たちはぜひイケアに子どもの権利の擁護について、より積極的な役割を果たしてもらいたいと考えています」



Save the Children Sweden、Child Rights & Business部門マネジャー  
**MALIN DAHLBERG MARKSTEDT氏**



Save the Children Sweden、Child Rights and Businessテーマ別アドバイザー  
**SARA PERSSON氏**

を」<sup>22</sup>を通じ、イケアはより多くの子どもが遊びを通して利益を得ることを目指します。

FY18、イケア<sup>23</sup>は、LEGO、ユニリーバ、ナショナルジオグラフィックと連携し、以下の目標を携えReal Play Coalition（リアルプレイコアリション）を設立しました。

- 遊びの持つ重要性に対する認識を強化する。
- 学校や都市での遊びの機会を増やす計画を立てる。
- 遊びが認識力の発達や社会経済的地位に与える影響を調査する。

Real Play Coalitionは、より多くの団体、NGO、政治・企業・教育機関のリーダーを巻き込み、遊びに関する社会的活動を活性化させる計画を立てています。

Real Play Coalitionは、今後も遊びが持つ重要性を提唱し、遊びが持つ効用についての調査をサポートします。FY18、チルドレンズイケアは家庭での遊びをさらに増やすため、LEGOとのさらなるコラボレーションを開始しました。ローンチの様子は[こちら](#)をご覧いただけます。

22 Children's IKEA、Range & Supply、Inter IKEAグループ、フランチャイズ加盟企業のIngkaグループ、IKEA Foundationとの共同事業。

23 イケアのフランチャイズ加盟企業、Ingkaグループ全体を指す。

## 若者とシニアに機会を

### エイジスマートな組織

若者は、有意義で安定した仕事に就くことが一段と難しくなっていると感じています<sup>24</sup>。シニアの人々も、年齢への偏見、スキルアップの機会の制限、シニア世代へのサポートの欠如のせいで、転職や再就職を困難なものと捉えがちです。

私たちは、若者やシニアがイケアのビジネスにもたらしてくれる価値に気づいています。私たちは、さまざまな世代が等しく歓迎され、公正に扱われ、自分たちの能力を最大限に伸ばせるような、真にエイジスマートなブランドになりたいと考えています。

多くの若者がイケアストアのコワーカーとして労働市場に参入します。IKEA Industry LubawaのStudent Development Academyでは、将来IKEA Industryのコワーカーになる可能性を秘めた若者たちが基本的な知識とスキルを学んでいます（下の写真）。授業ではさまざまな技能やソフトスキルのほか、イケアの歴史・価値観・安全に重きを置く文化を学びます。



### サプライチェーンでの児童労働の防止、若年労働者の支援

子どもたちは、子どもらしくいる権利を奪う仕事には決して従事すべきではありません。危険が生じる可能性のあるすべての仕事、子どもの教育や発達を妨げる仕事、その国の法律で就業が認められている年齢に満たない子どもに与えられる仕事などがこれに含まれます。

イケアのサプライチェーンで児童労働が疑われるケースが見つかった場合、私たちは速やかに調査とフォローアップを行います。私たちの調査では、子どもが教育を受けられるかどうかなど、特定の状況を考慮に入れながら、常に子どもの最大の利益と安全に焦点を当てています。FY18にイケアの1次サプライヤーで児童労働が疑われるケースはありませんでした。

イケアのサプライヤー行動規範IWAYの一部「IKEA Way on Preventing Child Labour and Supporting Young Workers（児童労働の防止と若年労働者の支援に関するイケアウェイ）」の中では、児童労働や若年労働者に関するイケアの基準を明記しています。イケアは、法的に就業可能な18歳に達していない若者は、安全な環境の中で、彼らの成長にとってプラスとなる適切な仕事に就くべきだと考えています。IWAYについて詳しくは[46ページ](#)をご覧ください。

24 UN : 世界の若者の失業率は2016年は13.1%でした。<http://www.un.org/youthenvoy/2016/08/global-youth-unemployment-rise/>

25 国際的に見ると、就業可能な年齢は、大部分の国で15歳であり、中国を含む一部の国々では16歳となっています。

26 Save the Childrenの会員。

27 18歳未満だが、法的に就業可能な最低年齢に達している労働者。

### イケアのサプライチェーンへの若年労働者の受け入れ



世界の多くの地域で、18歳未満ではあるものの法的に就業可能な最低年齢<sup>25</sup>に達している子どもたちが、さらなる教育を受けられないまま、自分や家族の生活のための収入を得る仕事を探しています。これらの若年労働者は、適切な仕事を得る機会がないために、危険な環境で働くこともあります。

東南アジアでは、正規の仕事は非正規の仕事よりも安定し、賃金も45%以上高いのですが、15~24歳で正規の仕事に就いているのはわずか4分の1しかありません。多くの工場は、意図せず児童労働に関わることをおそれて18歳未満の労働者を雇用することを避けます。また、そのような工場では若年労働者の離職率も高くなっています。

IKEA Purchasing & Logistics South East Asiaは、Centre for Child Rights and Corporate Social Responsibility<sup>26</sup>とのパートナーシップのもと、サプライヤーと連携し、このような状況の改善に取り組んでいます。50~100人の若年労働者<sup>27</sup>が生活に必要なスキル、仕事に必要な技能と知識を身に付け、5つあるサプライヤー工場の1つで長期的な仕事に就くことが目標です。これらの工場は、将来にわたってこのプログラムを継続するための支援を受け、労働者には学習の促進と知識の定着を支援するメンターがつきます。

同プログラムの開始当初、若年労働者の雇用に取り組んだのは5つの工場のうち1つだけでした。初年度の終わりには、プログラムに参加した5つの工場でのべ88人の若年労働者が雇用され、うち、68人が1~2年間、仕事を継続する意志を示しています。

一例として、このプログラムによって、学校を中退したベトナムの17歳の若者に再び教育を受け、スキルを身に付ける機会を与えることができました。詳しくは[こちらから動画をご覧ください。](#)

現在、このプログラムの成果に関するデータを集計しています。集計データは、プログラムの規模拡大に役立てる予定です。

## 社会起業家イニシアティブ

社会起業家は革新的リーダーであることが多い、彼らは不平等や排斥の存在を許す社会的勢力や経済的勢力に戦いを挑んでいます。

すでに成功を収め、今後より大規模に影響力を拡大する準備ができており、雇用の創出を促進する社会的企業、事業、起業家に私たちは投資します。私たちは、多くの社会起業家がイケアのバリューチェーン内外でより一層の貢献をすることにより、もっとも支援を必要とする人々に、より大きな影響を与えると信じています。

イケアはこの社会起業家イニシアティブを通して、女性や社会から取り残された人々などの、仕事を得ることが難しい人々を雇用する企業とパートナーシップを結んでいます。

社会起業家との提携には次の2つのレベルがあります。

**国際的なパートナーシップ：**工芸品や食品のバリューチェーンにおいて、グローバルで一括して調達する限定コレクションや限定商品を、一部の国のイケアストアでお客さまに提供する。

**地域レベルのパートナーシップ：**イケアがビジネスを展開する特定の国やイケアストア内で廃棄・調達されたテキスタイルをアップサイクルした限定コレクションのほか、店舗ごとに提供する縫製・アップサイクルサービス、地元の食材を使った料理の提供。

地域ごとのパートナーシップはすべて「IWAY Must」(IWAY必須要件)を満たしているか監査を受けます。国際パートナーはすべてIWAYの要件を満たしています。IWAYについて詳しくは[46ページ](#)をご覧ください。

これらのパートナーシップはビジネス原則に基づいています。パートナーの社会的企業は、品質とサプライチェーン原則に関する知識を深めることにより、製品の輸出能力を高めながら成長します。そこで働く従業員は、定期的に安定した収入を得て、自分や家族にとってよりよい生活を築けます。イケアは、手芸製品やサービスの品ぞろえを増やし、経済的なエンパワーメントという力強いストーリーでお客様にアピールできます。私たちは一部のパートナーシップに関して、社会的影響力の測定を始めました。

いくつかのパートナーシップは、使用済みの素材や商品を再利用し、循環型のビジネスになるというイケアの目標にも貢献しています。循環型のビジネスになるという目標について詳しくは[22ページ](#)をご覧ください。

FY18、私たちは社会的企業との国際的なパートナーシップや地域レベルのパートナーシップを拡大しました。

- **国際パートナーシップの1つ、インドのRangsutra社**は、テキスタイル製品を世界中のイケアに供給できるようになりました。同社は、限定コレクションから世界規模の販売へと転身を遂げたパートナーの第1号です。
- 私たちは3つの国際限定コレクションをローンチし、25カ国、180店舗で販売しました。私たちのシングルオリジンホワイトナイルコーヒーは、2019年2月から、世界中で販売されています。現在、1万2960人の農家の人々が、PÅTÅR/ポートルホワイトナイルコーヒーの生産に貢献しています。イケアがこのコーヒーの生産を開始した2017年当時、プロジェクトに参加した農家の人は約8,000人でした。

- Jordan River Foundationとのパートナーシップから生まれたTILLTALANDE/ティルタランデコレクションは、ヨルダンの首都アンマンとアメリカのブルックリンの2店舗でローンチされました。このパートナーシップはこれまで約150人の女性に仕事を創出し<sup>28</sup>、地元ヨルダンの女性とシリア難民の女性が一緒になって生産に取り組んでいます。TILLTALANDE/ティルタランデコレクションはFY19に、ヨーロッパや中東各地の店舗でも販売される予定です。詳しくは[こちらから](#)動画をご覧ください。

私たちの社会起業家との取り組みは、ほかの団体や企業からも関心を集めています。私たちはこのプログラムの拡大に向けて力を貸してくれる新たな企業をこれからも探し続けます。



Rangsutra  
職人



Yalla Trappan、職人  
NEIRE KERIMOVSKA



コーヒー豆  
イケアのシングルオリジンホワイトナイルコーヒーに使用

私たちは、FY18にIKEA Social Entrepreneurship B.V.を設立しました。この新団体は、生計手段、平等、インクルージョンに焦点を当てながら、以下の活動を通じ、世界的な社会起業家活動の成長と支援を目指しています。

- 支援金、融資、インパクト投資を通じて経済的支援を提供する
- アクセラレータープログラムとコワーカーの協力を通じ、技能訓練と知識の増強を実現、共有する
- イケアのバリューチェーンの外にある社会的企業やイケアのバリューチェーンと密接に関わる社会的企業の双方と世界中で協力し、規模の拡大と市場へのアクセスを促進する
- 既存のパートナーシップの社会的インパクトを試験的に評価した際に得た知見を用いて、すべての社会的企業とのパートナーシップが及ぼす社会的インパクトとビジネスインパクトをモニターする枠組みを開発する

IKEA Social Entrepreneurship B.V. は、イケアのバリューチェーンの内外で、弱い立場や不利な立場に置かれている人々に支援が届くよう、慈善事業とビジネスを結ぶあらゆる範囲での活動を拡大しています。

私たちはこの新たなイニシアティブにおける最初の一歩を踏み出したところで、手始めとなる試験的なパートナーシップを進め、このイニシアティブをリードするコアチームのメンバーを募集しています。今後の進捗状況についてはまたご報告します。

## イケアと地元コミュニティ

イケアブランドを掲げるどの企業も、世界のあちこちで、独自性を備えたコミュニティに所属しています。私たちは地元のコミュニティにポジティブな影響を与えられるよう、コミュニティのニーズや課題の理解に取り組んでいます。

IConductにはイケアのフランチャイズ加盟企業に対する要件が定められています。フランチャイズ加盟企業はコワーカーに対して、積極的にコミュニティに貢献する活動に参加するよう働きかけたり、社会的インパクト目標を設定・測定したりすることを求められています。

たとえば、東南アジアのイケアのフランチャイズ加盟企業のIkanoグループは、タイにある革新的な

Mechai Bamboo Schoolの支援に500万ユーロを投じました。コワーカーも、FY18のHealth Weekの期間中に、支援活動を通じて追加資金を調達しました。Mechai Viravaidya Foundationは、各学校を生涯学習センターに変え、社会と経済の発展のためのコミュニティの拠点として機能させています。生徒たちは数学や農業経営の授業を受講しながら、基本的なライフスキル（生活技能）やリーダーシップスキルも学んでいます。

FY18のイケアのフランチャイズ加盟企業のコミュニティ活動には、ほかにも以下のものがあります。

- IKEA Retail Jordan<sup>29</sup>のコワーカーが、地元の2つの児童養護施設に住む4~15歳の子どもたちと一緒に、イケアストアでラマダンのイフタール（断食後の最初の食事）をとりました。
- Let's Play for Change (LET'S PLAY すべての子どもに遊ぶ自由) の一環としてIKEA Retail Kuwait<sup>29</sup>は、自閉症や精神障害の子どもたちのために数回にわたって朝食を提供しました。
- ラマダン期間中、IKEA Retail Morocco<sup>29</sup>は、農村部に住む恵まれない家庭に2,745個のバスケットを届け、カサブランカ通りに住む人々に1日あたり110食を届けました。

IKEA Industry Community Involvement ManualにはIKEA Industryのユニットがコミュニティ活動に従事する際の標準的アプローチが記されています。FY18には、IKEA Industryのコワーカーの15%が208のコミュニティ活動に参加しました。たとえば、アメリカのIKEA Industry Danvilleでは、近隣の低所得地域にあるコミュニティセンターに家具を提供しました。スロバキアのIKEA Industry Malackyは、地元の4つの学校の子どもたちに水と廃棄物の管理に関する授業を行い、アースデー（地球環境について考える日）を祝いました。



<sup>29</sup> フランチャイズ加盟企業のAI-Homaiziグループが運営しています。

## イケアのコミットメント

### 平等を推進する

公正で平等な社会を築くリーダーとなるために、私たちはほかの人々と積極的に関わり、必要に応じて難しい話題について話し合い、自らの影響力を知り、自分たちの成果を共有し、祝う必要があります。イケアは自らの目標や価値観、信念のために立ち上がり、変化を提唱しています。私たちはほかの人々と協力し、世界の発展に貢献できるパートナーシップづくりの機会を模索します。

FY18に平等を促進するためにイケアが提唱し、行った活動事例は、本レポートのあちこちで紹介しています。ここでは、対話と協働を通じて、より公正で平等な社会を実現する取り組みのなかでも、特に重要なものをご紹介します。



### 責任ある採用

Leadership Group for Responsible Recruitment (LGRR) の創設メンバーとして、イケアは世界的な慣習を体系的かつ長期的に変化させるには、政府やサプライヤー、人材紹介会社とオープンに話し合うことが必要だと認識しています。人材採用手続きは複雑で、採用は国境を超えて行われることもあり、多くの当事者が関係します。あらゆる方面から変化を促す圧力をかけない限り、許容すべきでない慣習が気づかれず、指摘されないまま継続される危険性があります。

イケアは、倫理に背く人材採用や移民労働者、現代の奴隸制度の問題について声を上げていくことに力を入れています。FY18には、イケアは、ほかのLGRRメンバーとともに以下を始めとする複数のイベントに参加し、講演を行いました。

- バンコクとクアラルンプールで開催された **Government and Business Dialogues for Collective Action on Driving Responsible Recruitment**（責任ある人材採用を推進するための協働に向けた政府・企業間の対話）：政府代表とNGO、多国籍企業が「Employer Pays Principle」（雇用にかかる費用はすべて雇用主が負担するという規則）について建設的に話し合うユニークな機会となりました。
- バンコクとクアラルンプールで開催されたラウンドテーブルイベント：企業、サプライヤー、人材紹介会社が一堂に会し、今後の可能性や課題について話し合いました。

話し合いは実り多いものでした。イケアは今後も同様のイベントに参画する予定です。

### 社会起業家

イケアの社会起業家との取り組みが広がるにつれ、ほかの企業や団体も関心を示すようになってきました。FY18に、私たちは以下を実行しました。

- イケアのアプローチを世界規模の衣料品会社と共にしました。
- 國際的な2つのNGOとともにトレーニングプログラムの可能性について話し合いました。
- 海洋プラスチックおよび他社から出た廃棄テキスタイルを別な目的で利用することについて、初期段階の話し合いを行いました。

### 男女平等

FY18に、フランチャイズ加盟企業のIngkaグループは、男女平等に取り組み、職場環境をあらゆる人々にとってよりよいものとすることを優先事項とした。もっとも力を注いだのは、IKEA South East Europe (SEE) でした。社会における男女平等の促進に企業はどんな貢献ができるかを知るため、IKEA South East Europeは、3カ国の首都で3つのマルチステークホルダーミーティングを開催したほか、コミュニケーションキャンペーンをローンチし、国際女性デーに向けてイケアストアにおける平等に関するメッセージを発信しました。

# SDGインデックス

国際連合の持続可能な開発目標（SDGs）は、貧困、男女平等、気候変動など、地球規模の問題に人々が共同で取り組むための力強い枠組みを規定しています。イケアはSDGsを事業開発、新規目標の設定、パートナーとの協働の指針として活用しています。また、私たちはイケアのブランドやバリューチェーンが持つ世界

的な影響力を活用しながら、SDGsの達成に貢献するために重要な役割を担っていることを認識しています。

各目標に向けたイケアの取り組みについて詳しくは以下の表をご参照ください。

持続可能な開発目標	イケアの貢献内容	持続可能な開発目標	イケアの貢献内容
 1 貧困をなくそう	あらゆる場所、あらゆる形態の貧困を根絶する イケアのバリューチェーン全体を通じて、適切かつ有意義な労働の提供と支援に取り組む、 <a href="#">46~50ページ</a> 。 社会起業家と連携して社会変革を促進、実現する、 <a href="#">55~56ページ</a> 。	 6 安全な水とトイレを世界中に	すべての人々に水および衛生サービスの利用可能性と持続可能な管理を提供する イケアのバリューチェーン全体で水の使用量を削減する、 <a href="#">41ページ</a> 。 WWFと共に、ウォータースチュワードシップ（責任ある水管理）を推進する、 <a href="#">41ページ</a> 。
 2 飢餓をゼロに	より健康的で持続可能な食品を選択肢として提供する、 <a href="#">15ページ</a> 。 イケアのレストラン、ビストロ、カフェで廃棄される食品を最小限に抑える、 <a href="#">25ページ</a> 。 お客様が食品廃棄物を削減できる商品や対策を提供する、 <a href="#">13~14ページ</a> 。	 7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに	すべての人々に現代的で信頼性が高く、持続可能なエネルギーサービスを確実に提供する 新たな設備を設置する形で、再生可能エネルギーへの投資を行い、イケアのバリューチェーン全体で100%再生可能エネルギーを目指す、 <a href="#">32~34ページ</a> 。 Inter IKEAの事業でのエネルギー効率を高める、 <a href="#">32~33ページ</a> 。
 3 すべての人に健康と福祉を	ヘルシーな暮らしを保証し、あらゆる年齢の人の福祉向上する 健康的でサステナブルな暮らしを提唱、実現する、 <a href="#">19~20ページ</a> 。 安全で健全な職場をコワーカーに提供し、サプライヤーも同様の環境が実現できるようサポートする、 <a href="#">48ページ</a> 。 子どもの遊ぶ権利をサポートする、 <a href="#">52~53ページ</a> 。	 8 働きがいも経済成長も	息の長い、包摂的で、持続可能な経済成長を促進し、完全かつ生産的な雇用を実現し、より働きがいのある仕事をすべての人々に提供する イケアのバリューチェーン全体（イケアブランドのもので働く20万8000人のコワーカーを含む）を通じて、適切かつ有意義な労働の提供と支援に取り組む、 <a href="#">46~50ページ</a> 。
 4 質の高い教育をみんなに	多様性に富むインクルーシブな職場環境を実現、促進する、 <a href="#">51~57ページ</a> 。 子どもの遊ぶ権利をサポートする、 <a href="#">52~53ページ</a> 。 若者やシニアに雇用機会を提供し、サプライヤーが同様の機会提供ができるよう支援する、 <a href="#">54ページ</a> 。 価値観に基づく人材採用アプローチを採用し、コワーカーに学習の継続と成長の機会を提供する、 <a href="#">49~50ページ</a> 。	 5 ジェンダー平等を実現しよう	イケアのバリューチェーンの行動規範（IWAY）を通じて、イケアのバリューチェーンの環境的条件・社会的条件を改善する、 <a href="#">46~47ページ</a> 。 責任ある賃金体系に向けた包括的アプローチを開発する、 <a href="#">49ページ</a> 。 責任ある採用への取り組みを拡大する、 <a href="#">50ページ</a> 。
	多様性に富むインクルーシブな職場環境を実現、促進する、 <a href="#">51~57ページ</a> 。 主に農村部の女性を職人として雇用する社会的企業と提携し、農村部の女性たちに安定した収入を得る能力を与える、 <a href="#">55~56ページ</a> 。		イケアのバリューチェーン内の在宅労働者に適切な労働環境を提供する、 <a href="#">50ページ</a> 。 多様性に富むインクルーシブな職場環境を実現、促進する、 <a href="#">51~57ページ</a> 。 弱い立場に置かれている人々を雇用する社会的企業と提携し、弱い立場の人々が生活に困らないだけの収入を持続的に得られるようにする、 <a href="#">55~56ページ</a> 。

持続可能な開発目標	イケアの貢献内容	持続可能な開発目標	イケアの貢献内容
 <b>9 産業と技術革新の基盤をつくる</b>	<p>強靭なインフラを整備し、包摂的で持続可能な産業化を推進するとともに、技術革新の拡大を図る</p> <p>イケアのサプライヤーと協力し、資源効率やエネルギー効率の改善に取り組む、<a href="#">34ページ</a>。</p> <p>低炭素社会を実現するための方針転換を提唱する、<a href="#">20ページ</a>。</p> <p>イケアのビジョンを共有する起業家と提携するなど、共同で持続可能な未来に向けたソリューションを開発する、<a href="#">18ページ</a>。</p>	 <b>13 気候変動に具体的な対策を</b>	<p>気候変動とその影響を軽減する緊急対策を講じる</p> <p>気候への影響を軽減し、家庭でよりサステナブルな暮らしを実現するきっかけとなる製品やソリューションを開発する、<a href="#">13~15ページ</a>。</p> <p>住宅用太陽光発電の販売を始め、家庭で再生可能エネルギーを生成できる製品やサービスを多くの人々に提供する、<a href="#">14ページ</a>。</p> <p>イケアのビジネスを成長させながら、イケアのバリューチェーンの排出量を上回る量の温室効果ガス（GHG）排出量を削減し、クライメットポジティブになるよう取り組む、<a href="#">27~36ページ</a>。</p> <p>再生可能エネルギーへの投資、エネルギー効率の向上、再生可能エネルギーの現地での生成と新設を促進する、<a href="#">32~34ページ</a>。</p>
 <b>10 人や国の不平等をなくす</b>	<p>国内および国家間の格差を是正する</p> <p>移民労働者、在宅労働者、社会起業家といった、私たちのサプライチェーンの先にいる特定グループの支援などを行い、人権を尊重する、<a href="#">51~56ページ</a>。</p> <p>責任ある賃金体系に向けた包括的アプローチを開発する、<a href="#">49ページ</a>。</p> <p>イケアのバリューチェーンを通じ、子どもの権利の確保に努める、<a href="#">52~53ページ</a>。</p>	 <b>14 海の豊かさを守ろう</b>	<p>持続可能な開発のために海洋と海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する</p> <p>イケアのビストロ、レストラン、スウェーデンフードマーケットでは、ASCまたはMSCの認定を受けた魚介類、シーフードを責任を持って仕入れる、<a href="#">42ページ</a>。</p> <p>使い捨てのプラスチック製品を段階的に廃止し、海洋や河川へのプラスチックの流出防止に取り組む、<a href="#">23ページ</a>、<a href="#">41ページ</a>。</p>
 <b>11 住み続けられるまちづくりを</b>	<p>都市と人が暮らす場所を、包摂的で、安全で、活気に満ちた、持続可能なものにする</p> <p>廃棄物の削減と循環型の経済の実践、<a href="#">25ページ</a>。</p> <p>人々が家庭でよりサステナブルな暮らしを実現するきっかけとなる製品やソリューションを開発する、<a href="#">13~15ページ</a>。</p> <p>イケア周辺のコミュニティの空気汚染を低減する、<a href="#">34ページ</a>。</p> <p>安全を最優先した製品づくりを行う、<a href="#">15ページ</a>。</p>	 <b>15 土の豊かさを守ろう</b>	<p>陸域生態系の保護・回復・持続可能な利用を推進し、持続可能な森林管理を行い、砂漠化に対処し、土地の劣化の阻止と土地の回復に努め、生物多様性の損失を阻止する</p> <p>WWFとの提携などを通じて、より持続可能な調達先から綿花や木材などの主要原材料を調達する、<a href="#">37~40ページ</a>。</p> <p>持続可能な森林管理方法の適用を促進し、森林の破壊や劣化を食い止めるなど、森林ポジティブになる、<a href="#">37~39ページ</a>。</p> <p>IKEAカタログの印刷にFSC認証紙のみを使用。IKEAカタログは世界中で過去最大のFSC認証紙を使った印刷物に、<a href="#">24ページ</a>。</p>
 <b>12 つくる責任、使う責任</b>	<p>持続可能な消費と生産のパターンを確保する</p> <p>サステナブルな暮らしを実現する商品を提供し、コワーカーとお客様が家庭でよりサステナブルな暮らしを実現するきっかけを提供する、<a href="#">13~15ページ</a>。</p> <p>循環型の経済への移行をサポートしながら、循環型の企業へと変化する、<a href="#">22ページ</a>。</p> <p>お客様に商品のリサイクルサービスを提供したり、商品に第二の人生を与えることする、<a href="#">17ページ</a>。</p> <p>イケア製品に再生やリサイクルが可能な素材とリサイクル素材を使用する、<a href="#">22~24ページ</a>。</p> <p>再生やリサイクルが可能な素材とリサイクル素材を地球規模でより多く利用できるように協働する、<a href="#">38ページ</a>。</p>	 <b>16 平和と公正をすべての人に</b>	<p>持続可能な開発に向けて平和で包摂的な社会を推進し、すべての人に司法へのアクセスを提供するとともに、あらゆるレベルにおいて効果的で責任ある包摂的な制度を構築する</p> <p>多くの人に利益をもたらす、公正で平等な社会をつくるリーダーになることを約束する、<a href="#">44ページ</a>。</p> <p>倫理的なアプローチによるビジネスを徹底する、<a href="#">51~56ページ</a>。</p>
		 <b>17 パートナーシップで目標を達成しよう</b>	<p>持続可能な開発を推進する手段を強化し、グローバルパートナーシップを活性化する</p> <p>健康的でサステナブルな暮らしをめぐる社会のポジティブな変化を提唱する、<a href="#">19~20ページ</a>。</p> <p>より公正で平等な社会を提唱する、<a href="#">57ページ</a>。</p>